

can-am™



2007 オペレーターズガイド

セーフティビークルおよびメンテナン
ス情報を含みます

OUTLANDER™ MAX 400




警告

このガイドをよく読んでください。安全に関する重要な情報が載せられています。

運転者の推奨最低年齢：運転者：16 歳。同乗者：12 歳。車両からの「オペレーターズガイド」を持ち出さないでください。

この『オペレーター・ガイド』では、特別な情報を強調するために次のような警告記号を用います。

 安全喚起記号は、人がけがをする恐れがあることを示します。

 警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

注意: 指示に従わなかった場合は、ウォータークラフトの構成部品に重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

注記: 指示内容を完全に実行するために必要な補足情報を示します。

警告

この車両の運転には危険が伴います。適切な注意を怠ると、方向転換や起伏のある場所での運転、または障害物の乗り越えなどのごく普通の運転でも、衝突や急激な横転の原因になることがあります。

あなた自身の安全のため、『オペレーター・ガイド』、車両の警告ラベルなどに示されているすべての警告文を理解し、それに従ってください。これらの警告が守られないと、重大なケガや死亡事故につながるおそれがあります。この『オペレーター・ガイド』は、つねに車両とともに保管するようにしてください。

警告

この『オペレーター・ガイド』、セイフティ・ビデオカセット、および製品の警告ラベルに含まれる安全のための注意事項や指示事項を無視すると、死亡の可能性を含めて人身事故の原因になることがあります。

安全にかかわる全文書は、販売時に必ず車両に保管する必要があります。

「安全性に関する情報」の項のすべての内容は、読者により警告として解釈される必要があり、これらの情報に従わないと、死亡の可能性を含め重大なケガにつながる可能性があります。

カナダでは、製品の流通とサービスは Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) が行います。

米国内では、製品の流通は BRP US Inc が行います。

以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc.に帰属します：

Can-Am™

XP-S™

Outlander™

TTI™

Rotax®

はじめに

新製品の Can-Am™ ATV をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この車両の保証は、BRP 社が請け負い、必要なパーツ、サービス、アクセサリーのすべては、Can-Am の正規ディーラーのネットワークが供給します。

ディーラーは、お客様に必ずご満足いただけるよう努めてまいります。すべてのディーラーは、お手元にお届けする前に必要な初期セットアップ、点検、最終調整のすべてをとりおこなえるように訓練を受けております。車両をお渡しするときに、ディーラーから、操作方法、メンテナンス、安全上の注意事項についての説明があったことと思えます。この説明には必ず従っていただきますよう、お願い申し上げます。サービスについてのご希望の場合は、お客様のディーラーにお問い合わせください。

納車の際、保証の範囲についての説明を受け、ランディングシートレションフォーム（保証登録書）を書き込み、弊社宛てにご発送いただいたことと思えます。ほどなく、保証カードがお手元に郵送されます。このカードは、保証登録が受け付けられたことを確認するためのものであり、保証の適用をお受けになる場合、あるいはリコールが発生した場合などに必要となります。

Can-Am の正規ディーラーによって問題を解決できない場合、Consumer Services Group までお問い合わせください。

この『オペレーター・ガイド』は、他言語に翻訳される可能性があります。内容が英語版の内容が正しいものと見なされます。本書では、男性または女性を代表して表すために男性の表現が使用されています。

『オペレーター・ガイド』の追加を参照または印刷を希望される場合は、次のウェブサイト www.operatorsguide.brp.com にアクセスしてください。また本ガイドは各種言語に翻訳されております。

本書に記載されている情報およびコンポーネント/システムの説明は、本書が発行された時点で正しいことが確認されています。ただし、BRP は、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。従って、本書作成後に発行された変更により、本書の記述または仕様もしくはその両方の内容と一致しない場合があります。BRP は、いつでも仕様、設計、機能、モデル、または機器の中止または変更の義務を負う権利を保有しています。

本書で使われているイラストは異なるアセンブリの一一般的な構造を示しており、特定部品の完全な詳細や正確な形状でない場合もあります。しかし、それらは同様または類似の機能を持つ部品を代表しています。

右や左の表現が使用されている場合は、つねに運転席位置（座席に座った状態）から見た場合の右側、左側を指しています。

仕様の数値は国際メートル法で示され、括弧内に SAE の U.S. 単位系に換算した値を併記します。特に精度が要求されない個所では、実用上の利便性を優先して換算値の端数を四捨五入している場合があります。

パーツあるいはアクセサリーを交換する場合には、BRP 純正パーツを使用することを強く推奨いたします。BRP 純正パーツは、BRP の設計に設計、製造され、BRP の標準を満たしております。

完全な整備とメンテナンスに関する情報、および修理に関するより詳しい情報をご希望の方には、別途『ショッ
プマニュアル』をご用意していま
す。

目次

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

安全に関する情報

安全性に関する特別メッセージ	11
運転に関する警告	15
ATV の操縦について	44
運転前のチェック	45
衣服	47
荷物/同乗者の積載	48
トレーラーのけん引 (装備されている場合)	48
ATV を使った作業	48
レクリエーション運転	49
環境	49
設計の限界	50
オフロード運転	50
一般的な操作と安全に関する注意事項	50
上り坂の運転	51
下り坂の運転	51
坂の横断	51
がけ	51
運転テクニック	52
定期メンテナンス	59
タグ	60
車体貼付ラベル	61

ATV についての情報

あなたの ATV を識別する方法	66
エンジン登録番号および車両登録番号の位置	66
コンプライアンスラベル	67
騒音制御装置規制	68
排出規制	69
慣らし運転期間	70
エンジン	70
ベルト	70
10 時間点検	70

コントロール / 計器 / 備品	71
1) スロットルレバー	73
2) 2WD/4WD セレクター	73
3) ブレーキレバー	73
4) パーキングブレーキ	74
5) トランスミッションレバー	74
6) マルチファンクションスイッチ	75
7) スピードメーター	78
8) 12 ボルト電源アウトレット	80
9) イグニッションスイッチ	81
10) 燃料タンクキャップ	81
11) 燃料ゲージ	81
12) 燃料バルブ	82
13) ブレーキペダル	83
14) フットペグ	83
15) グラブハンドル	83
16) 同乗者シート/ストレージボックス	83
17) 運転者シート	85
18) アクセスポネル	86
19) リアストレージコンパートメント	86
20) カーゴラック	86
21) トレーラーヒッチ	87
22) ラジエーターキャップ	87
23) ヒューズ	87
24) ツールボックス	88
25) リワインドスターターハンドル	88
26) デイップスティック	88
27) ウインチ	89
28) ウインチコントロールスイッチ	89
29) ローラーフェアリーダー	89
30) ウインチリモートコントロール	89
31) ウインチリモートコントロール接続部	90
液体類	91
燃料	91
エンジン/トランスミッションオイル	91
エンジン冷却液	93
ブレーキオイル	94
バッテリー	95
操作の説明	96
一般的事項	96
運転前のチェック	96
エンジンの始動方法	97
エンジンの停止	98
トランスミッションのシフト	99
2WD/4WD セレクター	99

ウインチの操作.....	100
エンジンの停止.....	100
運転後の手入れ.....	100
特殊作業の手順.....	101
転倒.....	101
ATV の浸水.....	101
荷物の積載と本車両の運搬.....	102
トラブルシューティング.....	104
仕様.....	109

メンテナンス情報

メンテナンスチャート.....	116
全般.....	121
エンジン/トランスミッション.....	122
オイルおよびオイルフィルターの交換.....	122
オイルストレーナの清掃.....	123
冷却液の交換.....	123
エアフィルター.....	124
エアボックスドレン.....	125
ドライブベルト.....	126
バルブの調整.....	126
スパークアレスター.....	126
ラジエーター.....	127
キャブレタ.....	128
燃料システム.....	129
スロットルケーブルの潤滑.....	129
スロットルレバーの調整.....	130
電気システム.....	132
スパークプラグ.....	132
バッテリー.....	132
ヒューズ.....	133
バルブの交換.....	133
ドライブトレイン.....	136
ドライブシャフトブーツ / プロテクター.....	136
ホイール.....	136
ホイールベアリングのコンディション.....	136
タイヤ / ホイール.....	137
サスペンション.....	139
潤滑.....	139
点検.....	139
調整.....	139

ブレーキ	140
フロントおよびリアブレーキ	140
ブレーキオイルの交換	140
ボディ / フレーム	141
エンジン周辺	141
ヒッチ / トレーラーボールのコンディション	141
シャーシのねじ類	141
シートファスナー	141
車両の清掃と保護	141
保管、シーズン前の準備	142

保証

BRP 北米限定保証:2007 CAN-AM™ ATV	144
BRP 国際限定保証:2007 CAN-AM™ ATV	148
プライバシーに関する情報	153
住所と所有権の変更	154

必ずお読みください

オーナーあるいは運転者に、車両の各種コントロール、メンテナンス、安全な操作を説明するために、本『オペレーター・ガイド』が用意してあります。本『オペレーター・ガイド』は、本製品を正しくお使いいただくために必要不可欠なものです。

本『オペレーター・ガイド』には、以下に示す記号が使用されています。



指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

注意: 指示に従わなかった場合は、ウォータークラフトの構成部品に重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

注記: 指示内容を完全に実行するために必要な補足情報を示します。

これらの情報を表面的に読んだだけでは、危険を完全に取り除くことはできません。完全に理解して実施してこそ、正しい車両操作が実現できます。

4 輪車を運転するすべての人が理解し、遵守しなければならない基本的なルールがあります。4 輪車の楽しさを最大限に引き出すためには、これに必ず従わなければなりません。

はじめに

お買い上げの新しい車に、運転したい機能や、安全運転のために必要な知識や技術を身につけてください。運転する前に、取扱説明書や、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。

初めて運転する方は、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。

運転する際は、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。

運転条件は場所に依り異なります。これらの運転条件は天候条件や季節の経過とともに大きく変化します。

砂上での運転は、雪上での走行や森や湿地を通る走行とは異なります。それぞれの場所では、十分な注意が必要となります。必ず事前に必要な判断を行い、安全運転を心がけてください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。

乗る際には、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。

本『オペレーター・ガイド』は、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。

オーナーあるいは運転者に、車両の各部分の構造や、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。

弊社は、本『オペレーター・ガイド』は、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。また、運転する前に、運転免許の取得に関する法令を確認してください。

安全に関する情報

警告

運転者:

- 16歳未満の子供には、この車両を運転させないでください。
- このモデルには(2)人以上の同乗者を乗せないでください。
- 同乗者は指示された同乗者席に必ず座り、常にGrabハンドルをつかんでください。
- 運転者には、同乗者の安全に対する責任があります。安全を確認できない場合、操縦前に降車させてください。
- 同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。
- また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。
- まず同乗者を乗せないでこの『オペレーター・ガイド』に記載されている操縦方法を練習して、次に乗せて練習してください。
- 安全な運転に関する基本的なルールを同乗者に知らせます。
- (リアシートの代わりに) ストレージボックスを取り付ける場合、同乗者を乗せないでください。

同乗者:

- 同乗者は12歳以上であり、この車両に乗るとき常に足をフットレストに置き、手でGrabハンドルをつかめなければなりません。
- 同乗者は、同乗者リアGrabハンドルから手を離さないでください。決して、運転者につかまらないでください。
- 同乗者は、車両と運転者の操縦に注意を払ってください。
- 同乗者は、丈夫なチンガード付きの認定ヘルメットをかぶり、適切な保護服を着用してください。
- 同乗者は、運転中常に手と足を相応しい場所に置いてください。
- 運転中、決して立ち上がらないでください。激しい動きにより、コントロールを失うおそれがあります。

ここで推奨されている事柄を遵守しない場合、車両のハンドリングに影響があり、同乗者または運転者の死亡の可能性を含めて重傷事故の原因になることがあります。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

安全性に関する特別メッセージ

この車両は玩具ではありません。運転には危険が伴います。

ATVは、モーターサイクルや自動車を含むその他の車両とは異なる操縦性を示します。適切な注意を怠ると、方向転換や起伏のある場所での運転、または障害物の乗り越えなどのごく普通の運転でも、衝突や急激な横転の原因になることがあります。

次のような取扱い上の注意が守られていないと、重大なケガや死亡事故の原因になることがあります。:

△ 『オペレーター・ガイド』および車両に貼付されているすべての警告ラベルを注意深く読んで、記載されている操作手順に従ってください。運転前に、セーフティビデオカセットを注意深くご覧ください。

△ 適切な指導を受けずに、このATVを運転しないでください。トレーニングコースを受講してください。全運転者は、認定インストラクターからトレーニングを受ける必要があります。詳細については、最寄りのCan-Am正規ディーラーに問い合わせてください。米国とカナダのみ:最寄のトレーニングコースに関する詳細は次までお尋ねください。Specialty Vehicle Institute of America (SVIA) 電話 1 800 877-2887、またカナダではCanada Safety Council (CSC) 電話 1 (613) 739-1535 内線227。

△ 必ず推奨年齢を守ってください:16歳未満の子供には、この車両を運転させないでください。

△ このモデルには(2)人以上の同乗者を乗せないでください。この車両への同乗者は12歳以上であり、座るとき常に足をフットレストに置き、手でクラブハンドルをつかめなければなりません。

△ 同乗者は指示された同乗者席に必ず座り、常にクラブハンドルをつかんでください。指示されていない場所に同乗者を座らせないでください。

△ 同乗者のシートやストレージボックスを正しく取り付けないまま、ATVを運転しないでください。

△ (リアシートの代わりに) ストレージボックスを取り付ける場合、ATVに同乗者を乗せないでください。

△ 同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。十分前もってブレーキをかけてください。

△ 歩道、私道、駐車場、街路を含めATVで舗装面を走行しないでください。

△ 公道、一般道路、または高速道路を未舗装、砂利道であってもATVで走行しないでください。

△ ATVを運転する際には、必ず適切なサイズの認定されたヘルメットを着用してください。運転者と同乗者は、目の保護具(ゴーグルやフェイスシールド)、手袋、ブーツ、長袖のシャツまたはジャケット、長ズボンを着用するようにしてください。同乗者は、丈夫なチンガード付きの認定ヘルメットをかぶってください。

△ ATVを運転する前、または運転中に、アルコールや薬物を服用しないでください。

△ スピードを出しすぎないようにしてください。つねにその場の地形、視界、そして運転条件とあなたの経験に応じて適切な速度で走行してください。

△ ウィリー、ジャンプなどの曲乗りは絶対に行わないでください。

△ 安全な走行が可能な状態にあることを確認する。ATVの点検を行って、必要に応じて整備を行う。『オペレーターズマニュアル』に従って、走行の準備を整え、乗車を安全に運転する。

△ 運転者と乗者は、運転中に、常に両手をハンドルに握り、必要に応じて、両足を踏む。

△ 慣れるまで、慎重に運転する。走行速度を落とす、急ブレーキを踏む、急ハンドルを切るなど、急激な操作は避ける。必要に応じて、ATVの性能を十分に理解する。

△ 極度に荒れた場所では、ATVの性能を十分に理解し、必要に応じて、ATVの性能を十分に理解する。

△ 『オペレーターズマニュアル』に従って、ATVの性能を十分に理解し、必要に応じて、ATVの性能を十分に理解する。

△ ATVの性能を十分に理解し、必要に応じて、ATVの性能を十分に理解する。

△ 『オペレーターズマニュアル』に従って、ATVの性能を十分に理解し、必要に応じて、ATVの性能を十分に理解する。

△ 『オペレーターズマニュアル』に従って、ATVの性能を十分に理解し、必要に応じて、ATVの性能を十分に理解する。

△ 『オペレーターズマニュアル』に従って、ATVの性能を十分に理解し、必要に応じて、ATVの性能を十分に理解する。

△ 運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、降車させてください。まず同乗者を乗せないでこの『オペレーター・ガイド』に記載されている操縦方法を練習して、次に乗せて練習してください。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があります。同意することを忘れないでください。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。この車両を運転者単独では容易に使用できても、同乗者がいると容易でない状況もあります。常識を働かせましょう！

△ ATV の安全に関する詳細を最寄のトレーニングコースで入手するには、Can-Am 正規ディーラーにお問い合わせください。

米国とカナダのみ：連絡先、Specialty Vehicle Institute of America (SVIA) 電話 1 800 877-2887、またカナダでは Canada Safety Council (CSC) 電話 1 (613) 739-1535 内線 227.

運転に関する警告

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

次の警告と形式は米国消費者製品安全委員会により義務付けられており、すべてのATVの『オペレーター・ガイド』に含めることが要求されています。

注記: 警告の中に示されているイラストはATVの代表例です。お手元のモデルとは異なっている可能性があります。

警告



V00A0AQ

危険な行為

適切な指導を受けずに、このATVを運転する。

起こり得ること

運転者が同乗者を乗せてあるいは乗せないで、さまざまな状況、さまざまな種類の地形でATVを正しく運転する方法を知っていないと、事故を起こす危険性が著しく増加します。

危険を避けるには

初心者や経験を積んでいない運転者は、トレーニングを最後まで受けてください。そして、コースで学ぶスキルや『オペレーター・ガイド』に記載されている運転テクニックを定期的に練習してください。

トレーニングコースに関する詳細は、Can-Am 正規ディーラーまでお尋ねください。



V00A1AQ

危険な行為

このATVの年齢推奨を守らない。

起こり得ること

推奨年齢に達していない子供がATVを運転すると、重大なケガや死亡事故につながる可能性があります。

そのATVの推奨年齢に達していても、運転者にATVを安全に運転するために必要な技術、能力、または判断力が備わっていないと、重大な事故に巻き込まれるおそれがあります。

危険を避けるには

16歳未満の子供には、ATVを運転させないでください。



警告



V00A1BQ

危険な行為

この ATV の同乗者の年齢推奨を守らない。

起こり得ること

12 歳未満の子供には ATV を安全に運転する能力は備わっておらず、重大な事故に巻き込まれるおそれがあります。

危険を避けるには

12 歳未満の子供には、ATV を運転させないでください。



警告

危険な行為

同乗者の身体的制約を考慮しない。

起こり得ること

同乗者がフットレストに完全に足を置くことができない場合、傾いた地形では振り落とされるおそれがあります。

危険を避けるには

同乗者はこの車両に座るとき常に足をフットレストに置き、手でグラブハンドルをつかめなければなりません。



V00A1CQ

危険な行為

この車両に 2 人以上の同乗者を乗せる。

起こり得ること

2 人以上の同乗者を乗せると、この ATV のバランスと操縦性が大きく損なわれます。

事故の原因となり、あなたや同乗者またはその両方がケガを負うおそれがあります。

危険を避けるには

2 人以上の同乗者を乗せないでください。シートが前後に長いのは、運転中必要に応じて運転者が乗車位置を変えられるようにするためです。2 人以上の運転者と 2 人以上の同乗者を乗せるためではありません。同乗者は、乗車時指定されたシートを使用します。

(リアシートの代わりに) ストレージボックスを取り付ける場合、車両は 1 人乗り車両となり (1-UP モデル)、同乗者は乗れません。



V00A2DQ

危険な行為

指定された同乗者シート以外の位置に同乗者が座る。

起こり得ること

同乗者が指定された同乗者シート以外の位置に座るなら、次のことが起きるおそれがあります：

- 車両の安定性が損なわれ、コントロールを失うおそれがあります。
- 硬い表面への衝撃から負傷するおそれがあります。

事故の原因となり、あなたや同乗者またはその両方がケガを負うおそれがあります。

危険を避けるには

同乗者は常に指定された同乗者シートに座り、両足をフットレストにしっかりと置いて、グラブハンドルから手を離さないようにしなければなりません。



V00A1DQ

危険な行為

この ATV で舗装面を走行すること。

起こり得ること

タイヤはオフロード専用に設計されており、舗装面の使用に適していません。舗装路面は車両のハンドリングとコントロールに重大な影響を及ぼし、車両が制御不能となるおそれがあります。

危険を避けるには

歩道、私道、駐車場、街路を含め ATV で舗装面を走行しないでください。



V00A1EQ

危険な行為

この ATV を公道、一般道路、または高速道路で運転する。

起こり得ること

他の車両と衝突する可能性があります。

危険を避けるには

公道、一般道路、または高速道路を未舗装、砂利道であってもATVで走行しないでください。多くの州では、この ATV を公道、一般道路、または高速道路で運転することは違法です。



V00A1FQ

危険な行為

認定されたモーターサイクル用ヘルメット、目を保護するゴーグル、保護能力の高い衣服を着用せずに、このATVを運転する。同乗者は、丈夫なチンガード付きの認定ヘルメットもかぶってください。

起こり得ること

次の項目は、運転者と同乗者に関係します：

- 認定されたヘルメットを着用せずに乗車するなら、事故時に頭部の重大な負傷や死亡をまねくおそれが高まります
- 目の保護具を着用せずに乗車するなら事故につながり、事故時に重大な負傷をまねくおそれが高まります
- 保護能力の高い衣服を着用せずに乗車するなら、事故時に重大な負傷をまねくおそれが高まります。

危険を避けるには

適切なサイズの認定されたヘルメットをつねに着用してください。また、次のような衣服や装備を着用するようにしてください：

- 目を保護するゴーグルやフェースシールドなど
- 丈夫なチンガード (同乗者に推奨)
- 手袋とブーツ
- 長袖のシャツまたはジャケット
- 長ズボン



V00A07Q

危険な行為

アルコールや薬物を服用した後でこの ATV を運転する。

起こり得ること

同乗者が振り落とされる可能性があります。

判断力に大きな影響が生じる可能性があります。

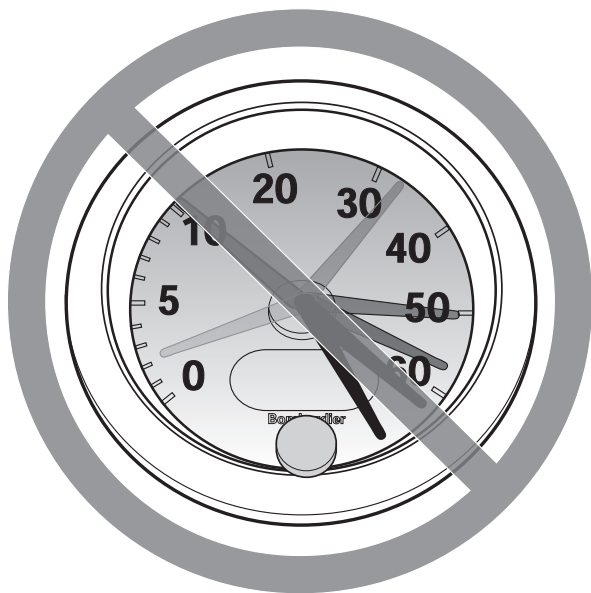
反応速度が通常より遅くなる可能性があります。

平衡感覚や知覚に影響が生じる可能性があります。

事故や同乗者または運転者の死亡をまねく可能性があります。

危険を避けるには

運転者と同乗者は ATV を運転する前、または運転中に、アルコールや薬物を服用しないでください。



V00A08Q

危険な行為

過大な速度でこの ATV を運転する。

起こり得ること

ATV のコントロールを失い、事故につながる可能性が高くなります。

危険を避けるには

つねにその場の地形、視界、そして運転条件とあなたの経験に応じて適切な速度で走行してください。

同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。



V00A1GQ

危険な行為

ウィリー、ジャンプなどの曲乗りを試みる。

起こり得ること

運転者と同乗者にとって転倒を含む事故を起こす可能性が高くなります。

危険を避けるには

ウィリー、ジャンプなどの曲乗りは絶対に行わないでください。曲乗りによって自分の運転技術を誇示しようとしてはいけません。

 **警告**

危険な行為

運転する前に ATV の点検を行わない。

ATV の適切なメンテナンスを行わない。

起こり得ること

事故や車両損傷の可能性が高まります。

危険を避けるには

毎回 ATV を使用する前に点検を行って、ATV が安全に走行できる状態にあることを確認してください。

『オペレーター・ガイド』に記載されている点検およびメンテナンスの手順とスケジュールに従ってください。

 **警告**

危険な行為

凍結した水路の上を運転する。

起こり得ること

氷が割れて ATV や運転者また同乗者が転落し、重大なケガや死亡事故の原因になることがあります。

危険を避けるには

ATV とその負荷ばかりでなく、走行中の ATV によって生じる力を支持できるだけの厚みと強度が氷にあることを確認する前に、この ATV を凍結した面で運転してはいけません。



V00A1HQ

危険な行為

走行中に運転者がハンドルバーから、また同乗者がグラブハンドルから手を離したり、足をフットレストから外したりする。

起こり得ること

片手を離したり、足を外したりすると、あなたのATVをコントロールする能力が損なわれ、バランスを崩してATVから転落するおそれがあります。また、足をフットレストから外すと、足や脚部がリアタイヤに接触する可能性があり、ケガや事故の原因になることがあります。

危険を避けるには

運転者と同乗者は走行中は必ず両手をATVのハンドルバーかグラブハンドルに添え、フットレストに両足を乗せておいてください。



V00A11Q

危険な行為

特別な注意を払わずに、不慣れな場所を走行する。

起こり得ること

隠れている岩、隆起、穴などに遭遇し、反応が間に合わない場合があります。

これにより ATV が転倒したり、同乗者が転落したり、コントロールを失う可能性があります。

危険を避けるには

未知の場所を走行する場合は、十分に速度を落とし、特別な注意を払ってください。

ATV を運転する際には、つねに地形条件の変化に注意を怠らないようにしてください。

運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。



V00A1JQ

危険な行為

特別な注意を払わずに、極度に荒れた場所、滑りやすい場所や崩れやすい場所を走行する。

起こり得ること

車両が自力で進めなくなったり、コントロールを失ったりして、転倒や同乗者の転落を含む事故につながる可能性があります。

危険を避けるには

極度に荒れた場所、滑りやすい場所、または崩れやすいような場所では、そうした地形でのATVの運転に必要な技術を習得している場合を除いて、走行を避けてください。

そのような地形に対してはつねに特別な注意が必要です。

運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、そのような地形で走行する前に降車させてください。



V00A1KQ

危険な行為

不適切な方向転換を行う。

起こり得ること

ATV のコントロールを失い、衝突や転倒、同乗者の転落の原因となる可能性があります。

危険を避けるには

『オペレーター・ガイド』に記載されている方向転換の正しい手順に従ってください。高速での方向転換を試みる前に、低速で方向転換の練習をしてください。

運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。同乗者を乗せてこの操縦をしないでください。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

速すぎる速度で方向転換を行わないでください。



V00A1LQ

危険な行為

勾配の急すぎる斜面を走行する。

起こり得ること

勾配の急な斜面では、平地や緩やかな斜面よりもはるかに車両が転倒しやすくなります。

危険を避けるには

そのATVやあなたの技術に対して、急すぎる斜面を走行しないでください。

勾配の急な斜面の登坂を試みる前に、まず同乗者を乗せてないで、次に乗せて緩やかな斜面で十分に練習を積んでください。

急な斜面を登ることはできますが、同乗者を乗せて登坂することは推奨されていません。その前に必ず降車させてください。適切な判断をしてください。



V00A1MQ

危険な行為

不適切な運転で坂を登る。

起こり得ること

コントロールを失ったり、同乗者が転落したり、ATVが転倒したりする可能性があります。

危険を避けるには

『オペレーター・ガイド』に記載されている登坂の正しい手順に従ってください。

斜面を登り始める前に、地形を注意深く確認してください。運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、登坂前に降車させてください。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

表面が極端に滑りやすかったり、崩れやすいような斜面は登らないでください。

運転者と同乗者の体重移動を利用して重心を前寄りに移しましょう。

急激にスロットルを開けたり、急激なギアチェンジをしないでください。ATVが仰向けに転倒する可能性があります。

斜面の頂上付近を減速せずに走り抜けてはいけません。向こう側には障害物、急な勾配、または車両があったり、人がいたりするかもしれません。



V00A1N0

危険な行為

不適切な運転で坂を下る。

起こり得ること

コントロールを失ったり、同乗者が転落したり、ATVが転倒したりする可能性があります。

危険を避けるには

『オペレーター・ガイド』に記載されている坂の下り方の正しい手順に従ってください。注：下り斜面でのブレーキングには特別なテクニックが必要です。

斜面を下り始める前に、地形を注意深く確認してください。運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、斜面を下りる前に降車させてください。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

運転者と同乗者の体重移動を利用して重心を後寄りに移しましょう。グラブハンドルをしっかりと握ってください。

下り坂では速度を出しすぎないようにしてください。

車両の左右のどちらか一方に大きく傾くような角度で下り坂を走行するのは避けてください。下り坂は可能な限りまっすぐに降りるようにします。



V00A10Q

危険な行為

不適切な運転で斜面を横断したり、斜面で方向転換する。

起こり得ること

コントロールを失ったり、同乗者が転落したり、ATVが転倒したりする可能性があります。

危険を避けるには

同乗者が乗っている場合、この操縦を試みないでください。操縦実施前に、同乗者を降車させてください。

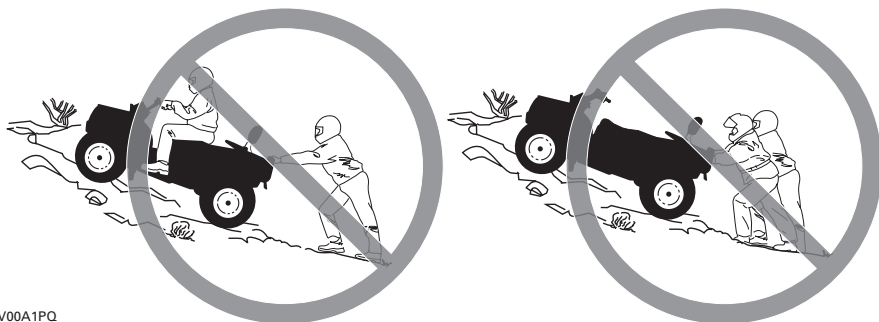
『オペレーター・ガイド』に記載されている方向転換の技術を平地でマスターするまでは、斜面での方向転換を試みないでください。斜面での方向転換は特に慎重に行ってください。

急な斜面での横断はできるだけ避けてください。

斜面を横断する場合：

『オペレーター・ガイド』に記載されている斜面横断の正しい手順に従ってください。

表面が極端に滑りやすかったり、崩れやすいような斜面は避けてください。運転者と同乗者の体重移動を利用して、重心をATVの山側に移します。



V00A1PQ

危険な行為

上り坂の途中でのエンスト、後退、または不適切な降車。

起こり得ること

ATV の転倒につながる可能性があります。

危険を避けるには

斜面を登る時は適切なギアを使用し、できるだけ速度を一定に保ってください。

前進中にとまりそうになった時は：

運転者と同乗者は、重心を山側に維持します。急激にスロットルを開けたり、急激なギアチェンジをしないでください。ATV が仰向けに転倒する可能性があります。

ブレーキを掛けてください。

車両が停止したら、パーキングブレーキを掛けてロックしてください。

初めに同乗者を降車させてから、車両が斜面の上を向いている場合は、運転手は山側が車両の左右のどちらかに降車してください。

後向きに下がり始めた時は：

運転者と同乗者は、重心を山側に維持します。急激にスロットルを開けたり、急激なギアチェンジをしないでください。ATV が仰向けに転倒する可能性があります。

後向きに下がっている時は絶対にリアブレーキを掛けないでください。

少しずつフロントブレーキを掛けます。

完全に停止したところでリアブレーキを掛け、パーキングブレーキを掛けてロックしてください。

初めに同乗者を降車させてから、車両が斜面の上を向いている場合は、運転手は山側が車両の左右のどちらかに降車してください。

『オペレーター・ガイド』に記載されている手順に従って、ATV の向きを変えてから再乗車してください。



V00A10Q

危険な行為

不適切な運転で障害物を乗り越える。

起こり得ること

コントロールを失ったり、同乗者が転落したり、衝突の原因となる可能性があります。

また、ATVが転倒する原因となる可能性があります。

危険を避けるには

運転者には、同乗者の安全に対する責任があります。安全を確認できない場合、障害物を乗り越える前に降車させてください。同乗者を乗せると、車両のハンドリングと安定性に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

未知の地域を走行する前に、障害物がないことを確かめてください。

大きな岩や倒木など、大きな障害物を乗り越えようとししないでください。

障害物を乗り越えなければならない場合は、『オペレーター・ガイド』に記載されている正しい手順に従ってください。



V00A1RQ

危険な行為

不適切な運転で車両を横滑りやスリップさせる。

起こり得ること

ATV のコントロールを失う可能性があります。

また、横滑りした後で急激に接地力が回復し、ATV が転倒するまたは同乗者を落下させる可能性があります。

危険を避けるには

同乗者を乗せて横滑りやスリップさせないでください。同乗者を乗せると、車両のハンドリングと安定性に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

平らで滑らかな場所を探し、低速で練習しながら、スリップや横滑りを安全にコントロールする方法を学んでください。

氷などの極端に滑りやすい表面の上では、できるだけ速度を落とし、車両が滑ったりスリップして制御できなくなることがないように最大限の注意を払ってください。



V00A1SQ

危険な行為

この ATV で水深の深いところや流れの速い川を横断する。

起こり得ること

タイヤが浮いて接地力とコントロールを失い、事故につながる可能性があります。

危険を避けるには

流れの速い川や、『オペレーター・ガイド』で指定された水深よりも深い水の中では、ATV を走らせないでください。

水深のあるところや流れのある川を横断する前に、水深と流れを確認してください。フットレストよりも上に水がきてはいけません。

ブレーキが濡れると、制動力が低下する可能性があることを忘れないでください。水から上がった後、ブレーキのテストを行ってください。もしそうする必要があれば、何度かブレーキを掛けてみて、摩擦熱でパッドを乾かしてください。同乗者を乗せている場合、制動距離を長めにとってください。



V00A1TQ

危険な行為

不適切な運転で後退する。

起こり得ること

後方の障害物や人と衝突し、重大なケガにつながるおそれがあります。

危険を避けるには

リバースギアに入れる場合は、後方の障害物や人の存在を確認してください。安全を確認した上で、ゆっくりと後退しましょう。同乗者が運転者の視界を妨げる可能性があることを考慮に入れてください。



V00A00Q

危険な行為

この ATV に不適切なタイヤを装着したり、不適切または不均等なタイヤ空気圧で走行する。

起こり得ること

この ATV に不適切なタイヤを装着したり、タイヤ空気圧が不適切または不均等な状態で走行すると、コントロールを失ったり、バンクやリム周りでタイヤが回るおそれがあり、事故の危険性が高まります。

危険を避けるには

『オペレーター・ガイド』で指定された形式とサイズのタイヤを使用してください。

このガイドで指定されている正しいタイヤ空気圧を維持してください。

損傷したホイールやタイヤをすぐに交換してください。



V00A26Q

危険な行為

この ATV に不適切な改造を施して走行する。

起こり得ること

不適切なアクセサリーを取り付けたり、車両を改造したりすると、操縦性が著しく変化したり、場合によっては事故につながる可能性があります。

危険を避けるには

不適切なアクセサリーを取り付けたり、ATV を改造したりしないでください。この車両に追加する部品やアクセサリーは、BRP が認可した部品であることが望ましく、取扱説明書に従って正しく取り付け、使用されなければなりません。ご不明な点は、最寄りの Can-Am 正規ディーラーへお問い合わせください。

同乗者席を取り付けたり、同乗者を乗せるラックを取り付けたりしてはいけません。

速度や性能の向上を図るために車両を改造するなら、車両限定保証の契約条項に違反するおそれがあります。また、エンジンやエキゾーストコンポーネントの取り外しを含む一部の改造はたいていの法律では違法行為とみなされます。



V00A1UQ

危険な行為

この ATV に過大な荷重を与えたり、不適切な方法で荷物を積んだり、けん引したりする。

起こり得ること

車両の操縦性が著しく変化する可能性があり、事故につながるおそれがあります。

危険を避けるには

表示されている ATV の荷重制限を超えないようにしてください。これには運転者と同乗者、その他の荷物と追加アクセサリを含みます。

荷物を積む場合は、バランスよく配分して、しっかりと固定してください。

荷物を運んだり、トレーラーをけん引したりする場合は、普段よりも速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。

『オペレーター・ガイド』に記載されている荷物の運搬、またはトレーラーのけん引に関する注意事項に従ってください。

 警告



V03M01Q

危険な行為

可燃物または爆発する可能性がある危険物を輸送する。

起こり得ること

重大なケガや死亡事故の原因になることがあります。

危険を避けるには

可燃物または危険物を輸送してはいけません。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

 警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

ATV の操縦について

ATV の楽しさを最大限に引き出すために、ATV を運転する前に、理解し、遵守しなければなりません。基本的なルールがあり、一部の人にとっては新しい内容でも、他の人にとっては常識的でも、たまたまのことにかかわらず、ATV を運転する前にこの『オペレーター・ガイド』をよくお読みください。

『オペレーター・ガイド』に記載されている情報には限りがあります。地域の機関、ATV クラブなどの組織から詳細な情報を得たり、Can-Am 正規ディーラーにお問い合わせください。

米国とカナダのみ: 最奇のトレッキングコースに関する詳細は次までお尋ねください。Specialty Vehicle Institute of America (SVIA) 電話 1 800 877-2887、またカナダでは Canada safety Council (CSC) 電話 1 (613) 739-1535 内線 227。

米国消費者製品安全委員会および全 ATV 製造業者は、16 歳未満の子供が 90 cc を超えるエンジンの ATV を運転することを推奨いたしません。この車両への同乗者は 12 歳以上であり、置座るとき常に足をフットレストかめたき、手でクラブハンドルをつかまなければなりません。子供の安全のために、この推奨事項も従うことを強く推奨します。危険性を判断し、車両を安全に運転するために、運転者の能力を判定するのは読者に依

存しています。思考能力が不足していたり、身体に障害を抱えている人、または危険を冒す人は、転倒や衝突にさらされる可能性が高くなり、死亡の可能性を含め重大なケガにつながる可能性があります。

オフロード条件の場所を走行する前に、操作可能なコントロールを熟知して、一般的な運転を完全に熟知して、危険のない適切な場所で運転の練習を行い、各コントロールの応答を感じ取ってください。低速で運転し、高速での運転には、多くの経験、知識、および適切な運転条件が必要です。

同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出ます。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。

必ずしもすべての車両が同じというわけではありません。それぞれの車両が独特の性能特性、コントロール、および機能を備えています。また、運転性と操作性が異なります。

どこでも車両を安全に運転できると考えてはいけません。穴、くぼみ、土手、軟らかいまたは硬い「地盤」、または他のものでこの地形の急な変化により、ATV がひっくり返ったり、不安定になるおそれがあります。このような危険を避けるには、速度を落とし、車両の先の地形を必ず確認し、車両がひっくり返るのを避けるために、横転し始めた場合は、直ちに車両から降りることをお奨めします。

運転前のチェック

警告

運転前のチェックは、非常に大切な前にも、重要なエンジン、ブレーキ、ステアリング、サスペンション、タイヤ、オイル、冷却液、燃料、エンジン/トランスミッション、およびドライブシャフトのコンポーネントからのオイル漏れを必ず確認してください。

運転の前に、次の点を必ず確認してください：

- パーキングブレーキを掛け、正常に作動しているかをチェックしてください。
- タイヤの空気圧およびコンディションをチェックしてください。
- ホイールおよびホイールベアリングの磨耗および損傷をチェックしてください。
- コントロール類の位置および正しく作動するかをチェックしてください。
- ステアリングがスムーズに動くかをチェックしてください。
- スロットルコントロールレバーを数回動かして、スムーズに作動するかをチェックしてください。放した時に自動的にアイドリング位置に戻らなければなりません。
- フロントブレーキレバーおよびリアブレーキフットペダルを作動させて、ブレーキが効くことを確認してください。レバーおよびペダルは、放した時に自動的に元の位置に戻らなければなりません。
- トランスミッションレバーが機能することを確認し、PARK位置に戻します。
- 燃料、オイル、冷却液のレベルをチェックしてください。
- エンジン/トランスミッション、およびドライブシャフトのコンポーネントからのオイル漏れをチェックしてください。

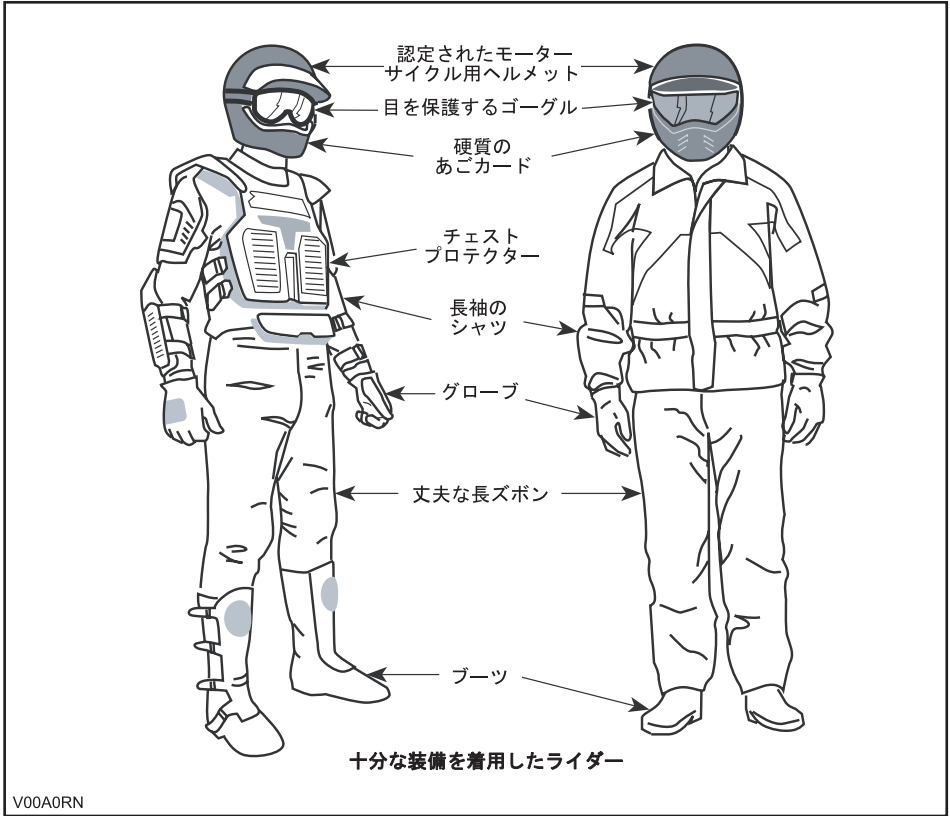
- 燃料バルブを完全に開の位置 (ON) にすることを忘れないでください。
- ヘッドライトとテールランプを清掃します。
- フロントアクセスコンパートメントカバーとリアストレージコンパートメントのラッチがしっかりと掛かっているかをチェックしてください。
- 運転者および同乗者のシートまたはストレージボックスが正しい位置に取り付けられ、ラッチがしっかりと掛かっていることを確認してください。
- 荷物を運搬する場合は、許容積載重量を守ってください。荷物がしっかりと固定されていることを確認してください。
- トレーラーなどをけん引する場合は、タンクの許容荷重および許容けん引荷重を守ってください。トレーラーがしっかりと固定されていることを確認してください。
- エンジン停止状態で、ゆるんでいるパーツがないかを目視および触る感覚でチェックしてください。ねじ類をチェックしてください。
- これから走行しようとしている経路に、障害物あるいは人がいないかを確認してください。
- イグニッションスイッチ、スタートボタン、エンジンストップスイッチ、ヘッドライトスイッチ、テールランプ、インジケータランプが正常に作動するかをチェックしてください。
- 同乗者のシートと背もたれの状態を確認してください。
- グラブハンドルの状態を確認してください。
- 安全な運転に関する基本的なルールを同乗者に知らせます。
- 同乗者が1人の場合、指定された同乗者シートに座っていることを確認してください。

- (リアシートの代わりに) ストラージボックスを取り付けている場合、ラッチがしっかりと掛かっているかを確認してください。
- エンジンを始動し、ゆっくり前方に1m程度運転して、すべてのブレーキを別々に掛け、効き具合をチェックしてください。
- 2WD/4WD セレクターの作動を確認してください。

以上のチェックで何らかの問題が発見されたら、調整してください。必要に応じて、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

衣服

実際の天候条件に応じて、どのような衣服を着用するべきかを決める。ATVを運転する際には、必ずヘルメット、ゴーグル、保護服を着用し、必要に応じてグローブ、ブーツ、チェストプロテクター、ハードアゴカードを装着する。また、長袖のシャツと丈夫な長ズボン、認定されたモーターサイクル用ヘルメット、目を保護するゴーグル、硬質のあごカード、チェストプロテクター、長袖のシャツ、グローブ、丈夫な長ズボン、ブーツを装着する。サングラスは、必要に応じて着用する。



V00A0RN

荷物/同乗者の積載

車両のキャリアラックに積み込まれた荷物は車両の安定性とコントロールに影響を与えます。このため、車両のメーカーが指定する積載制限を超えてはいけません。荷物がしっかりと固定されていることと、正しいコントロールを妨げないことを必ず確認してください。荷物が滑ったり、落下したりして、事故が発生する可能性があることについて注意してください。荷物が道に、突き出て茂みや他の障害物に当たったり、からんだりしないようにしてください。荷物をヘッドランプやテールライトが隠れたり、ジャマになつたりしないようにしてください。ストレージコンパートメントのラッチが閉じられていることを常に確認してください。荷物を積載するために取り外し可能なコンパートメントカバーを取り外す場合、荷物がしっかりと固定され、小さな荷物が“飛び”ことがないよう確認してください。コンパートメントカバーを固定します。

この車両は、運転者と同乗者1人専用で設計されました。同乗者は指示された同乗者席に必ず座り、常にグラブハンドルをつかんでください。同乗者席をBRPが推奨する1つ以外に取り付けしないでください。同乗者を乗せるために、ラックやその位置を使用しないでください。同乗者を2人以上乗せると、車両の安定性やコントロールに影響が出ることもあります。(リアシートの代わりに)ストレージボックスを取り付ける場合、車両は1人乗り車両となり(1-UPモデル)、同乗者は乗れません。

トレーラーのけん引(装備されている場合)

このATVをトレーラーとともに運転すると、特に斜面でひっくり返る可能性が著しく増加します。ATVの後部でトレーラーを使う場合は、トレーラーのヒッチがATVのヒッチと互換性があることを確認してください。トレーラーが車両とともに水平であることを確認します。(ATVのヒッチに特殊なエクステンションを取り付けなければならない場合があります)。トレーラーをATVに固定するには、セキユリティエーンを使用してください。このATVは、重たい負荷をけん引している場合、特に傾斜面、そして同乗者が乗っているとき追加の停止距離が必要になる場合があります。スリップや横滑りを起こさないように注意してください。停車または駐車する場合、ATVとトレーラーのホイールをブロックして動かないようにしてください。トレーラーに積んだ荷物がバランスよく配分されていることを必ず確認してください。荷物を周りの人に倒れてくる可能性があります。速い速度で方向転換を行わないでください。低速ギアを使って、速度を十分に落としてください。

ATVを使った作業

このATVは、除雪、木材のけん引、または荷物の運搬などさまざまな軽作業を支援することができます。Can-Am正規ディーラーから種々のアクセサリを購入することができます。ただし、車両の許容荷重と容量を必ず守ってください。ATVが過負荷になると、部品に過大な応力がかかり、故障を起こす可能性があります。ケガをしないように、アクセサリに付属の手順書や警告に従うことも重要です。重い荷物を持ち上げたり、引っ張ったり、ATVを縦したりする時に、体を痛めないようにしてください。(以下のリクリエーション運転を引き続きお読みください)。

レクリエーション運転

ほかの人の権利や制限を尊重しましょう。他の種類のオフロード用途に指定されている地域には近づかないでください。これには、スノーモービルコース、乗馬コース、クロスカントリースキークース、マウンテンバイクコースなどがあります。コースにほかのユーザーがいないと考えてはいけません。必ずコースの右側を走行し、コースの片側からもう一方の側へジグザグ走らしてはいけません。コースの別の使用者が前方に現われた場合は、停止したり、端に寄せる準備をしてください。

最寄りのATVクラブに入会しましょう。ATVクラブは、地図やアドバイスを提供したり、走行できる場所を知らせてくれます。住んでいる地域にクラブがない場合は、会の発足を支援しましょう。グループによる運転やクラブの活動は、楽しい、社会的な体験を提供してくれます。

他のライダーとの安全な距離を必ず保ってください。速度、地形条件、天候、車両の機械的条件の判断および周りの他のライダーの“判断に対する信頼”は、適切な安全走行間隔をうまく選択するのに役立ちます。このATVは、他の原動機付き車両と同様に“すぐには”止まりません。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。

運転の前に、走行する予定の場所と予定帰着時間を誰かに伝えてください。ATVを運転する前、または運転中に、アルコールや薬物を服用しないでください。

運転の距離に応じて、追加のツールや非常用の機器を携帯してください。補給用のガソリンやオイルを入手できる場所を見つけておいてください。発生する可能性のある条件に対して準備をしてください。応急処置用品を必ず用意してください。

環境

このATVの利点の1つは、ほとんどの地域社会の踏みならされた道を外れて走行できることにあります。ただし、自然や自然に親しんでいる他の人の権利を必ず尊重する必要があります。環境に敏感な地域で走行してはいけません。ATVで森の作物や低木を踏み付けて走行したり、木を折ったり、フェンスを壊してはいけなければならず、ホイールをスピンスさせたり、地形を破壊してはいけません。“環境にやさしく運転しましょう”。

多くの地域では、野生生物を追いかけるのは違法です。野生生物は、原動機付きの車両で追いかけられると疲れて死んでしまう可能性があります。コース上で動物に遭遇した場合は、停車し、静かに注意して見守ってください。この経験は、人生の貴重な思い出の1つになることでしょう。

規則を守りましょう...「持ってきた物は持ち帰ってください」。ごみを捨ててはいけません。許可されていない限り、キャンプファイアをしてはいけません。許可されている場合のみ、乾燥した場所から離れて行ってください。コース上であなたが起こした危険により、その日以降であっても、他の人やあなた自身がケガする可能性があります。

農地は尊重しなければなりません。個人の土地を走行する前に、土地の所有者の許可を必ず得てください。農作物、家畜、土地の境界線を尊重してください。閉じられたゲートがあった場合は、通過した後に再び自分自身で閉じてください。

最後に、小川、湖、川を汚してはいけません。エンジンやマフラーシステムを改造したり、車両の部品を取り外してはいけません。

設計の限界

このATVは、そのクラスの中でも並外れて丈夫ですが、定義によってライトビークルに分類されており、ATVの運転は正しい目的に制限されなければなりません。

車両の何らかの部分に重量を追加すると、重力的安定性が変わり、性能が変化します。

オフロード運転

オフロード運転の本質は危険です。車両が走行するよう特に用意されていない地形は、傾斜度、地形の内容、正確な勾配を予測できない特有の危険があります。地形自体は、絶えることのない危険要素を備えています。地形の上を走行する人は誰でもこのことを意識して受け入れなければなりません。

ATVをオフロードで操作する運転者は、最も安全な経路の選択とその先の地形を注視することに最大限の注意を払う必要があります。どのようなことがあっても、ATVに適用可能な運転手順に完全に慣れていない人がATVを運転してはいけなければならず、急勾配の地形や不安定な地形で運転してはいけません。

一般的な操作と安全に関する注意事項

配慮、注意、経験、運転技能は車両運転の危険に対する最善の予防になります。

障害物や地形の特定の部分を乗り越えられるかどうか少しでも疑わしい場合は、必ず別な経路を選択してください。

オフロード運転では、速度ではなく、パワーと接地力が重要です。視認性や許される安全な経路を選択するあなた自身の能力以上に速く運転してはいけません。

勾配や、岩または切り株などの障害物の急な変化がないか、その先の地形をつねに監視します。これらの障害物により、安定性が失われ、ひっくり返ったり、横転したりする原因になることがあります。

同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。

コントロール類が正常に機能しない場合は、ATVを運転してはいけません。

後退している時は、後方の経路に人や障害物がないことを確認してください。ゆっくりと進み、急に方向転換をしないでください。同乗者が運転者の視界を妨げる可能性があることを考慮に入れてください。必要なら、降車させてください。

停車または駐車する場合は、必ずパーキングブレーキを掛けてください。斜面で駐車する時は、パーキングブレーキを掛けることが特に重要です。勾配の急な斜面や荷物を積んでいる場合は、ホイールを岩やレンガでブロックする必要があります。燃料バルブを閉の位置にすることを忘れないでください。

上り坂の運転

ATVは、上り坂ではその構成により、すぐれた登坂性能を発揮します。したがって、接地力を失う前にひっくり返る可能性があります。例えば、坂の上側で勾配が極めて急に立ち上がった位置まで坂の上側が侵食されている地形状況に遭遇することがよくあります。このATVは、そのような条件を乗り越えることができますが、乗り越える時、車両のフロント側がその位置をさしかかると、車両のバランスが変化し、後方にひっくり返る可能性があります。

同じ状況は、地面に埋められている物体により車両のフロント部が必要以上に上がった場合にも当てはまります。このような場合は、別な経路を選択してください。斜面を横断するのは危険なことに注意してください。

坂や土手の反対側の地形条件を理解することも必要です。このような場所には、乗り越えたり、下ったりできない急な斜面が存在することがよくあります。

下り坂の運転

このATVは、安全に下ることが出来る以上に急勾配の斜面を登ることができません。このため、斜面を登る前に下りの安全な経路が存在することを確認することが極めて重要です。

滑りやすい下り坂を通り抜けている時に減速すると、ATVが滑り落ちる可能性があります。一定速度を維持するか、少し加速したりして、コントロールを回復させてください。

坂の横断

可能な限り、坂での横断は避けなければなりません。万が一必要な場合は、十分すぎるほどの注意を払ってください。この操作を行う前に、同乗者を降車させてください。急な斜面を横断すると、横転につながる可能性があります。加えて、滑りやすい面や不安定な面では、横滑りをコントロールできなくなる可能性があります。下り坂でATVを滑らせて方向転換させてはいけません。ATVの片側が反対側よりも持ち上がりやすくなって、横転につながるような障害物やくぼみは必ず避けてください。

がけ

このATVは、フロントまたはリアホイールががけにさしかかると、底が地面について通常は停止します。がけが急な場合や深い場合、ATVは落ちてひっくり返ります。



がけを通り抜けようとしてはいけません。後退して、別の経路を選択してください。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

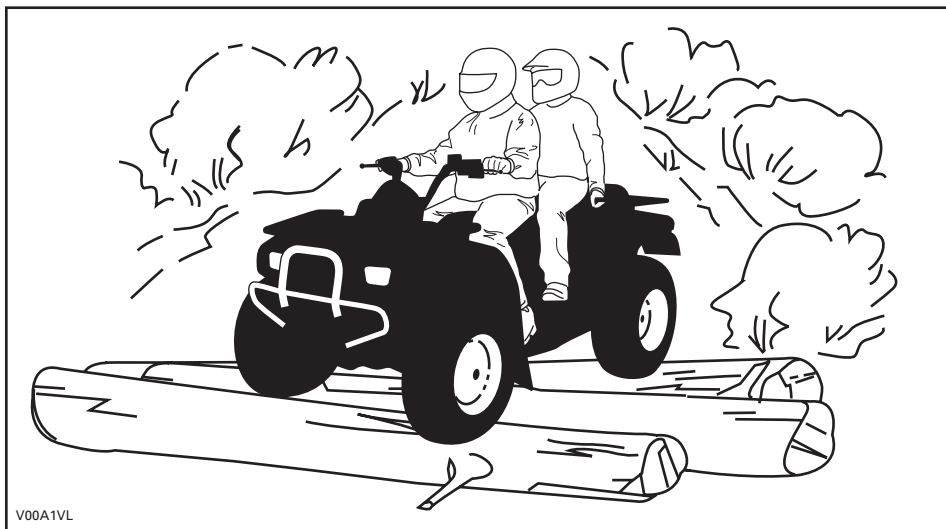
指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

運転テクニック

条件に合わない速度で運転をすると、ケガにつながる可能性があります。安全に走行できる程度にスロットルレバーを操作してください。通常、統計によると、高速での方向転換で事故やケガが発生しています。このATVは重いことをつねに覚えておいてください。ATVが倒れて運転者がはさまると、ATVの重量だけで運転者は動けなくなってしまいます。

このATVはジャンプできるように設計されていないばかりでなく、ATVや運転者はジャンプなどの大きな衝撃のエネルギーを緩和することはできません。「ウィリー」を行うと、ATVが運転者にひっくり返ってくる可能性があります。あなたにとっても、また同乗者にとってもジャンプやウィリーは極めて危険であり、このような運転は避けなければなりません。

正しいコントロールを維持するために、ハンドルバーに手を掛けていて、すべてのコントロール類に簡単に手が届くようにしておくことを強く推奨します。同じことは足にも当てはまります。脚部や足がケガをする可能性を最小限度に抑えるために、足をフットレストの上につねに置いてください。つま先を外側に向けてはいけないうばかりでなく、方向転換しやすいように足を外側に置いたりしてはいけません。障害物を通過する時に足が当たったり、ひっかかったりしたり、ホイールに接触したりする可能性があります。同乗者は手をグラブハンドルから離さず、足をフットレストの上につねに置いてください。

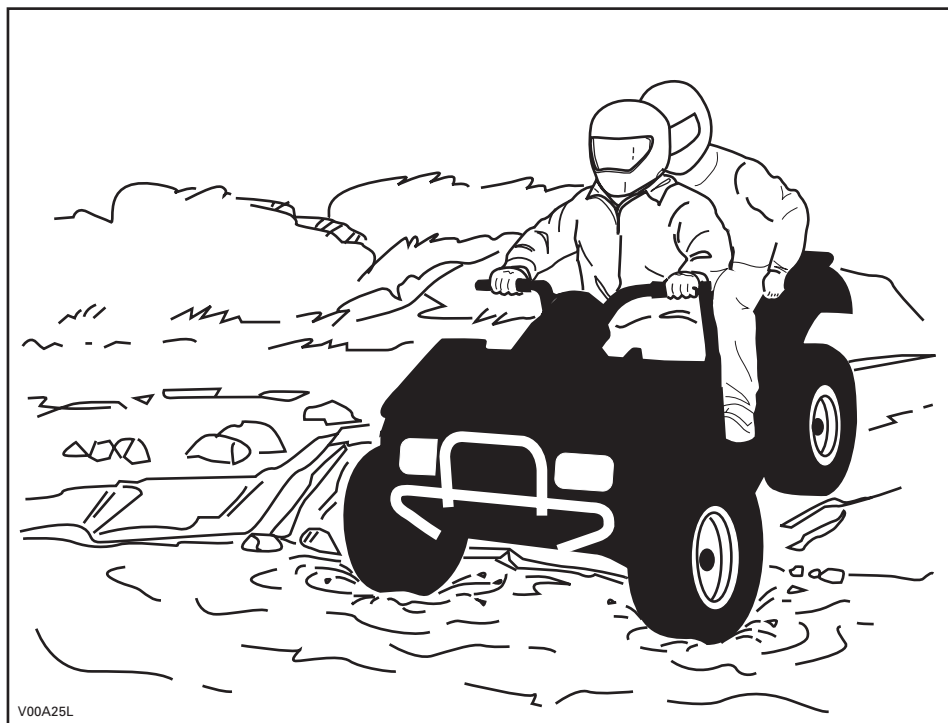


V00A1VL

このATVには、適切なサスペンションシステムが装着されていますが、「洗濯板」状の地形や荒地条件では、乗り心地が悪く感じたり、背中を痛めたりします。身をかがめた姿勢や運転が必要になることが多くあります。速度を落とし、曲げた脚部で衝撃を緩和するようにしてください。

このATVは一般道路または高速道路で運転するよう設計されていません。(多くの地域では違法行為です)。ATVを一般道路または高速道路で運転するならば、他の車両と衝突する可能性があります。このATVのタイヤは舗装面の使用には適していません。舗装は車両のハンドリングとコントロールに重大な影響を及ぼすおそれがあります。一般道路や軟路肩を走行するおそれがあります。ライトを点灯している場合に他の車両運転者を混乱させるおそれがあります。道路を横断する必要がある場合は、先頭の運転者が車両から降りて、確認し、他の運転者に指示を与える必要があります。最後の運転者は横断した後、先頭の運転者が横断するのを支援します。歩道を走行してはいけません。歩道は歩行者用に設計されています。

水には独特の危険があります。水深が深すぎると、ATVが「浮いたり」、倒れる可能性があります。水深のあるところや流れのある川を横断する前に、水深と流れを確認してください。フットレストよりも上に水が注ぎ注意してください。水の中や浅瀬では、岩、草、丸太などの滑りやすい面に入らないでください。接地力が失われる可能性があります。速い速度で水に入らないでください。水がブレーキのように作用して、運転者が投げ出されるおそれがあります。



V00A25L

水は ATV のブレーキ能力に影響を及ぼします。ATV が水から出たら、ブレーキを数回掛けてブレーキを乾かすようにしてください。同乗者を乗せると、車両の制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。

水辺では、ぬかるみや湿地がある場合があります。突然「穴」や深さの変化に注意してください。植物で部分的に隠れた岩や丸太などの危険に注意することも大切です。

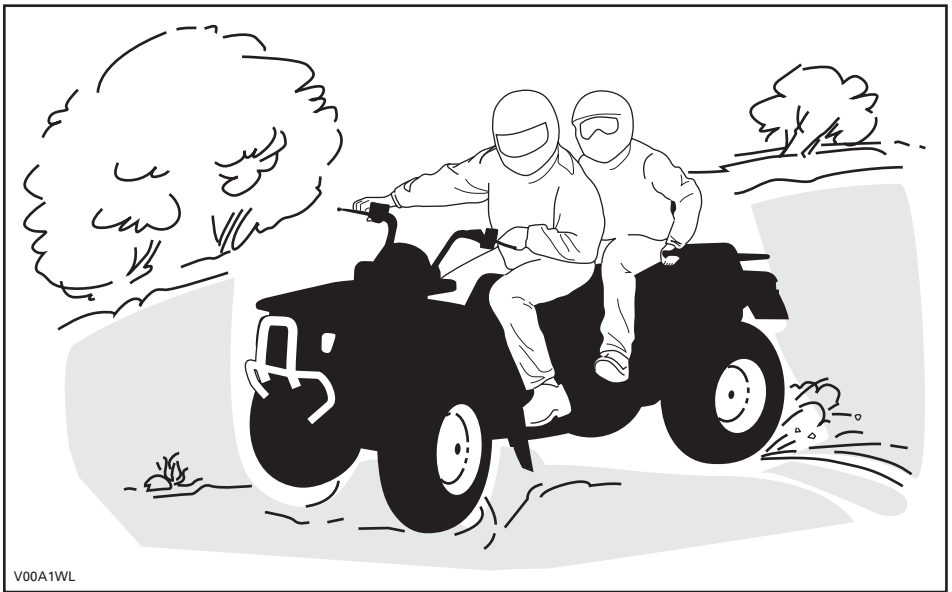
凍結した河川を横断する場合は、氷が運転者、同乗者、ATV、および荷物の合計重量を支持できるだけの十分な厚みと強度を備えていることを確認してください。氷が割れて水面が見える場合は、氷の厚みが変化している印です。運転者には、同乗者の安全に対する責任があります。疑わしい場合は、横断しないようにしてください。

氷は ATV のコントロールにも影響を及ぼします。速度を落とし、スロットルを急に開けてはいけません。スロットルを急に開けると、タイヤがスピンし、ATV がひっくり返る可能性があります。急ブレーキは避けてください。急ブレーキでも、コントロールできない滑りが生じたり、車両がひっくり返る、また同乗者が転落する可能性があります。雪解ける場所は、ATV の操作やコントロールを妨げる可能性があるため、必ず避ける必要があります。同乗者を乗せてこの操縦を試みないでください。同乗者を乗せると、車両のハンドリングと安定性に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

砂地や砂丘または雪の上は別な独特の経験ですが、守らなければならない基本的な注意事項がいくつかあります。湿った、深いまたは細かい砂や雪によって ATV の接地力が失われ、滑ったり、はまり込んだり、立ち往生する可能性があります。このような現象が起こった場合は、安定した地盤を探してください。ここでも、速度を落とし、条件に十分注意することをお奨めします。同乗者を乗せて走行するとき、ゆっくり走行してください。

砂丘で運転する時は、アンテナ型のセーフティフラグを装着するをお奨めします。セーフティフラグを装着すると、次の砂丘を越える他の人から慎重に確認しやすくなります。前方にセーフティフラグが見える場合は、慎重に進んでください。アンテナ型のセーフティフラグは引っかけた場合、体中のじゃまになったり、跳ね返る可能性があるため、低く垂れ下がった枝や障害物がある場合は使用してはいけません。同乗者を乗せると、車両のハンドリングと安定性に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

浮石や浮いた小石の上を運転するのは、氷の上を運転するのと同様に危険です。このような条件は ATV のステアリングに影響を及ぼし、特に速い速度です。滑ったり、同乗者が転落したり、ひっくりかえったりする可能性があります。加えて、制動距離に影響があります。スロットルを急に開けたり、滑りが発生すると、浮石が後方に飛び、別のライダーの行く手に飛び込んだりします。決して故意にこのような行為をしてはいけません。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。



V00A1WL

滑りや横滑りが発生した場合は、コントロールが回復するまでハンドルバーを横滑りの方向に向けることが適切です。無理にブレーキを掛けてホイールをロックさせてはいけません。

コースに掲げられているすべてのサインを遵守してください。これらのサインは、すべての人の役に立つように取り付けられています。

「コース」の障害物は慎重に越える必要があります。障害物には、浮石、倒木、滑りやすい面、フェンス、ポスト、土手、くぼみなどがあります。可能な限り、これらの障害物は避ける必要があります。一部の障害物は乗り越えるには大きすぎたり、危険すぎたりして、避けなければならないことを忘れてください。運転者には同乗者の安全に関して責任があります。安全を確認できない場合、障害物に取り組む前に降車させてください。小さい岩や倒木は安全に乗り越えられる可能性があります。これらの障害物には、90度の角度で接近してください。ひざを曲げてフットレスト上に立ちます。勢いを失わずに速度を調整し、スロットルを急に開けてはいけません。ハンドグリップをしっかり保持します。運転者と同乗者の体を後ろ側の位置に移動して進んでください。フロントホイールを地上から持ち上げようとしてはいけません。障害物が滑りやすくないか、横断中に動いたりしないか注意してください。

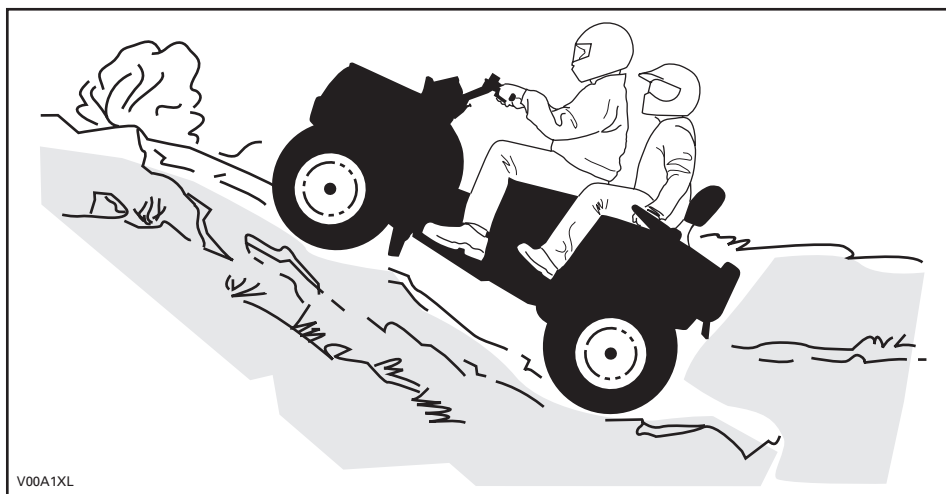
坂や斜面を運転する時は、滑りやすい面や地形の変動および障害物に対する準備をすることと、正しい位置に体を移動することの2点が極めて重要です。運転者には同乗者の安全に関して責任があります。安全を確認できない場合、障害物に取り組む前に降車させてください。

上り坂

運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、登坂前に降車させてください。同乗者を乗せると、全車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

同乗者を乗せたままにすると決めた場合、同乗者は運転者と同じように行動する必要があります。

運転者と同乗者は体重移動を利用して、重心を坂の頂上側に移します。足をフットレストの上に置き、口をギアにシフトして加速します。坂を登る時に必要に応じてすばやくギアを変えます。速度を速くしてはいけません。速度が速すぎると、ATVのフロント地面から持ち上がり、ひっくりかえって運転者に覆い被さる可能性があります。坂が急な場合に、進むことができません。後方に下がりはじめた場合は、滑らないように注意し、ブレーキを掛けてください。同乗者をATVから降車させて、「U」ターンして、「K」ターンしてください（後方にゆっくり下がりながら、車両の上部に立ち、ブレーキレバーを手をかけて、ゆっくりと車両のリア側の上部側に向けてから、下り坂を運転して下ります）。車両と回転しているホイールから離れて、必ず斜面の上側を歩くか、斜面の上側に降車してください。ATVが倒れそうになったら、支えようとししないでください。ATVから離れる速度で坂の頂上を越えないでください。険しいがけなど障害物がある可能性があります。ATVが安全な場所に戻ってから、同乗者を乗せます。



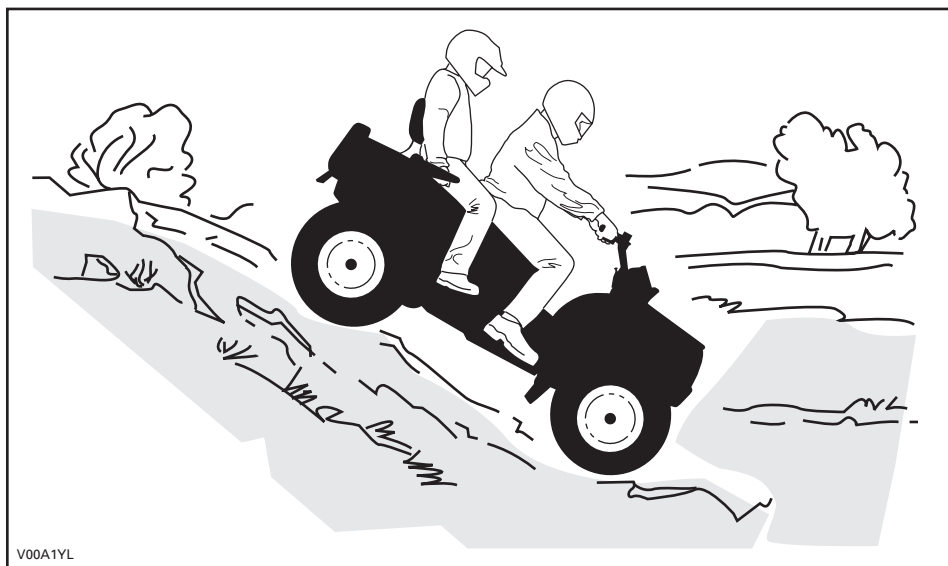
V00A1XL

下り坂

運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、斜面を下りる前に降車させてください。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

同乗者を乗せたままにすると決めた場合、同乗者は運転者と同じように行動する必要があります。

運転者と同乗者は、重心を後ろ側に維持します。横滑りしないようにブレーキは少しずつ掛けます。エンジンブレーキだけやニュートラルギアを使って斜面を「惰性」で下ってはいけません。



V00A1YL

坂の横断

運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、進行前に降車させてください。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

同乗者を乗せたままにすると決めた場合、同乗者は運転者と同じように行動する必要があります。

ATVのバランスが急に変わる可能性があるため、坂の横断は最も危険な運転の種類の一つです。可能な限り、この運転は避けなければなりません。ただし、万が一必要な場合は、体重移動を利用して、重心を斜面の上側に移すことが重要です。また、ATVがひっくり返りそうになったら、斜面の上側に降りる準備をしておくことが重要です。車両を停止しようとしたり、損傷から守ろうとしないでください。



V00A1ZL

定期メンテナンス

運転を終えたら、ATVに付いた雪、氷、泥、汚れを除去することをお奨めします。ATVの寿命が延びて、売る時の条件がよくなるばかりでなく、次回ATVを運転する時の危険性が少なくなります。温かい石鹸水でATVを洗車し、放置して乾燥させてください。（タオルが役に立ちます）。凍るような天候の時に、屋外で車両を洗車してはいけません。メンテナンスの項で説明されているように、適切に潤滑を行ってください。

安全に対する責任の一部には、『オペレーター・ガイド』の内容を遵守することも含まれます。『オペレーター・ガイド』には、ATVのお手入れの方法についての貴重なアドバイスが記載されています。さらに支援が必要な場合は、Can-Am正規ディーラーがいつでもお手伝いいたします。

速度や性能の向上を図るために車両を改造するなら、車両限定保証の契約条項に違反するおそれがあります。また、エンジンやエキゾーストコンポーネントの取り外しを含む一部の改造はたいていの法律では違法行為とみなされます。

ホイールやタイヤのサイズを変更すると、車両の安定性に影響を及ぼす可能性があります。タイヤの空気圧が間違っていると、タイヤが破裂したり、リムの周りでタイヤが動いてなくなったり、損傷したりする可能性があります。ホイールやタイヤが損傷した場合は、必ず交換してください。

同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。

運転者には、同乗者の安全に対する責任があります。安全を確認できない場合、操縦前に降車させてください。常識を働かせましょう！

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください



指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

タッグ

このATVには、タッグとラベルが付いており、安全上の重要な事項が記載されています。

このATVを運転する人は、運転の前に必ずタッグおよびラベルの内容をよく読んでください。

2-UP モデル

16才未満は運転できません
才未満は同乗できません

2人以上の同乗者を乗せないで
ください

このATVはオフロード専用です。

BOMBARDIER 2-UP ATV 安全トレーニングは必須です。

『セーフティビデオカセット』を必ず見てください。運転前に、『オペレータ・ガイド』およびこの車両に貼付されているすべての警告ラベルを読んで、理解します。

ディーラーと相談して、ATV 走行に関連する法令の詳細を学んでください。

販売前にこの品質表示票を取り外さないでください。

V00M0BL

警告

ATV を不適切に使用すると、重大なケガや死亡事故につながるおそれがあります。



運転者と同乗者は認定されたシートベルト用ヘルメットと保護具をつねに着用してください。

公道で使用しては2人以上の同乗者を乗せないでください。

薬物やアルコールを服用して運転しないでください。

次のような運転をしてはなりません：

- 適切な 2-UP ATV トレーニングや指導を受けずに運転する。
- 運転者の能力や条件に対して速すぎる速度で運転する。
- 公道で運転する一他の車両と衝突する可能性があります。

は、次の事柄を必ず遵守してください

- 正しい運転技術を使用して、坂や荒地および方向転換での車両の横転を防止してください。
- 舗装面を避けてください。舗装は操縦性とコントロールに重大な影響を及ぼす可能性があります。
- 同乗者を乗せるときは、常に減速して、特に注意を払います。状況によっては同乗者を降車させます。
- 同乗者がこのラベルおよび同乗者の安全に関するラベルを読んで、理解したことを確かめます。

『オペレータ・ガイド』をよくお読みください。
すべての注意事項と警告に従ってください。

販売前にこの品質表示票を取り外さないでください。 704900906

米国とカナダのみ

ATV のエンジンに関する説明:

XXXXXX

EPA 認定

NER (正規化排出率) = $\frac{X}{A}$

A は 0 から 10 の間で表示され、0 が最も清浄です

* 販売前に剥がさないでください



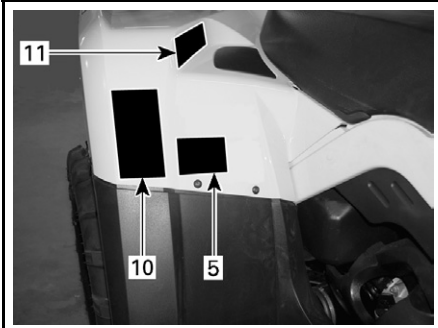
704901107

vmo2006-005-009_en

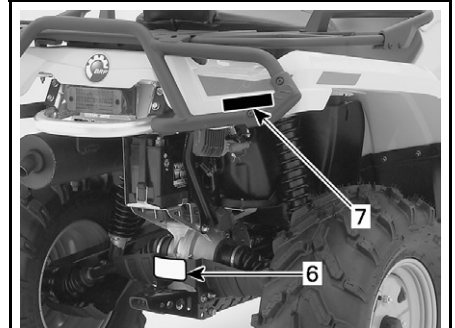
車体貼付ラベル

あなたの ATV には、以下に示すラベルが剥がれにくい場所に貼付されています。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

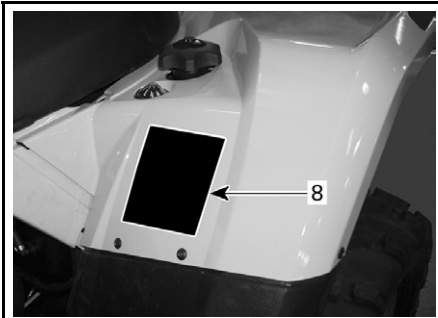
注記: この『オペレーター・ガイド』で使用されているイラストは ATV の代表例です。お手元のモデルとは異なっている可能性があります。



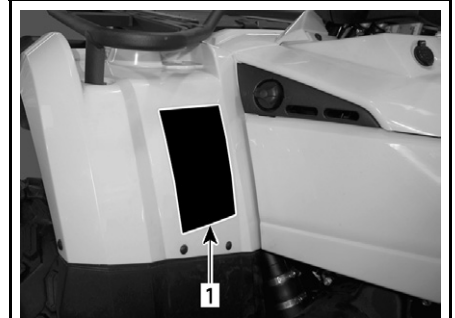
vmo2007-011-002_a



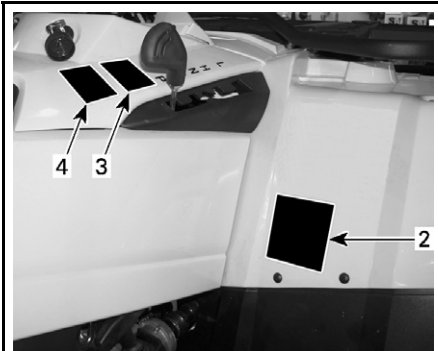
vmo2007-003-006_a



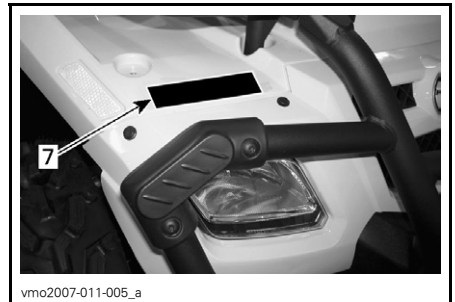
vmo2007-011-003_a



vmo2007-011-004_a



vmo2007-011-001_a




vmo2007-011-005_a


ラベル 1

警告


ATVを不適切に使用すると、重大なケガや死亡事故につながるおそれがあります。




運転者と同乗者は認定されたモーターサイクル用ヘルメットと保護具をつねに着用してください。



公道で使用してはいけません。



2人以上の同乗者を乗せてはいけません。



薬物やアルコールを服用しないでください。

次のような運転をしてはなりません：

- 適切な 2-UP ATV トレーニングや指導を受けずに運転する。
- 運転者の能力や条件に対して速すぎる速度で運転する。
- 公道で運転する一他車の車両と衝突する可能性があります。

は、次の事柄を必ず遵守してください

- 正しい運転技術を使用して、坂や荒地および方向転換での車両の横転を防止してください。
- 舗装面を避けてください。舗装は機械性とコントロールに重大な影響を及ぼす可能性があります。
- 同乗者を乗せるときは、常に減速して、特に注意を払います。状況によっては同乗者を降車させます。
- 同乗者がこのラベルおよび同乗者の安全に関するラベルを読んで、理解したことを確かめます。

『オペレータ・ガイド』をよくお読みください。
すべての注意事項と警告に従ってください。

704900004

V00M0CY

ラベル 2

警告

16 歳未満の運転者

16 歳に満たない子供がATVを運転すると、重大なケガや死亡事故につながる可能性が高くなります。

16 歳未満の子供はこのATVを運転してはなりません。

2 人以上の同乗者を乗せないでください。

704 900 515

V01M0RY

ラベル 3

注意

- シフトレバーを動かす前に ATV を停車しなければなりません。
- パーク (P) およびニュートラル (N) 位置からシフトする前に、必ずフットブレーキを掛けてください。

704 900 470

V07M06Y

ラベル 4

注意

4WD スイッチを切り替えるには、ATV を停車しておかなければなりません。

走行中にスイッチを切り替えると、機械的損傷が発生する可能性があります。


704 900 471

V07M07Y


ラベル 5

警告


重傷事故や死亡事故の危険を減らすために同乗者の安全を図ってください



12 歳未満は同乗できません



2 人以上の同乗者を乗せないでください



薬物やアルコールを服用して運転しないでください

荷足をフットレストにしっかりと置いて、ハンドホルドから手を離さないようにできない、小さな同乗者を決して乗せないでください。

同乗者は、次の事柄を必ず遵守してください：

- 認定されたモーターサイクル用ヘルメットを保護具をつねに着用してください。
- ハンドホルドから手を離さないようにして、荷足をフットレストにしっかりと置いてください。
- 事故に思いついた場合は、運転前に減速または停止するよう伝えてください。状況によっては降車してください。

704 901 115

vmo2006-008-003_aen

ラベル 6

警告

トレーラーの不適切な負荷により、車両のコントロールが失われ、重大なケガや死亡事故につながるおそれがあります。

- 最大牽引重量: xxx lb (xxx kg).
- 最大トング重量: xx lb (xx kg).

704900766

vmo2006-016-008_en

ラベル 7

米国およびカナダモデル

警告

- このキャリア絶対に同乗者を乗せないでください
- 最大フロント荷重: X lb (X kg) 均等に配分します。
- 最大リア荷重: X lb (X kg) 均等に配分します。
- (適用される場合、トレーラーリングの重量を含みます)

704 001 009

vmo2006-005-010_en

フロントおよびリアフェンダ

国際モデル

警告

- このキャリア絶対に同乗者を乗せないでください
- 最大フロント荷重: X lb (X kg) 均等に配分します。
- 最大リア荷重: X lb (X kg) 均等に配分します。
- (適用される場合、トレーラーリングの重量を含みます)

704 001 009

vmo2006-005-010_en

フロントフェンダのみ

ラベル 8

警告

不適切なタイヤ空気圧または過負荷により、車両のコントロールが失われ、重大なケガや死亡事故につながるおそれがあります。

荷重	冷間タイヤ空気圧
最大 XXX kg (XXX lb)	フロント 最大値: XX.X kPa (X.X psi) 最小値: XX.X kPa (X.X psi)
	リア 最大値: XX.X kPa (X.X psi) 最小値: XX.X kPa (X.X psi)

表に示されている適切なタイヤ空気圧を維持してください。
荷物を運搬するときは、空気圧を最大にしてください。
タイヤの空気圧を最小値以下に設定してはなりません。タイヤがリムから外れる可能性があります。
運転者、荷物、アクセサリ、およびトレーラーリングの重量が車両積載能力の XXXX kg (XXXX lb) を超えてはなりません。

ATVの積載荷重とトレーラーの牽引

- 荷物の積載やトレーラーの牽引は車両のハンドリングおよび安定性に影響を与える可能性があります。荷物はラック上に正しく取り付けます。
- 荷物の積載や同乗者の搭載またはトレーラーの牽引時は、次の点に注意してください:
 - 速度を下げます。
 - より長い制動距離を確保してください。
 - 荒れや坂地での運転を避けてください。

704901120

vmo2006-008-004_aen

ラベル 9

EMISSION CONTROL INFORMATION

THIS VEHICLE IS CERTIFIED TO OPERATE ON UNLEADED GASOLINE AND MEETS TO [XXXX] U.S., EPA AND CALIFORNIA REGULATIONS FOR ATV SI ENGINES.

ENGINE FAMILY	XXXXX.XXXXXX	エンジンファミリ
CERTIFICATION STANDARD (FEL)	XXXXXXXXXXXXXXXX	認証基準 (FEL)
ENGINE DISPLACEMENT	XXXXXXXXXX	エンジン排気量
EXHAUST EMISSION CONTROL SYSTEM	XXXX	排気物質制御システム

排気ガス規制に関する情報
この船舶は無鉛ガソリンでの作動が認められており、海上SIエンジンのための [XXXX] U.S. EPA およびカリフォルニア州排出規制に準拠しています。

SEE OPERATOR'S GUIDE FOR MAINTENANCE SPECIFICATIONS
メンテナンス仕様の詳細については、「オペレーターガイド」を参照してください

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

vmo2007-002-002

場所はシート下、フレームのアンバーの上です

ラベル 10

DA

FIND OG LÆS BRUGERVEJLEDNINGEN, OVERHOLD ALLE INSTRUKTIONER OG ADVARSLER.

NL

ZOEK DE GEBRUIKERSHANDLEIDING OP EN LEES HEM, HOUD U AAN ALLE AANWIJZINGEN EN WAARSCHUWINGEN.

FR

LOCALISER ET LIRE LE GUIDE DE L'OPÉRATEUR. SUIVRE TOUTS LES CONSIGNES ET AVERTISSEMENTS.

FI

PAIKANNA JA LUE KÄYTTÄJÄN OPAS. NOUDATA KAIKKIA KÄYTTÖOHJEITA JA VAROITUKSIA.

DE

BETRIEBSANLEITUNG AUSFINDIG MACHEN UND LESEN. ALLE ANWEISUNGEN UND WARNHINWEISE BEFOLGEN.

EL

ΒΡΕΨΤΕ ΚΑΙ ΔΙΑΒΑΣΤΕ ΤΟΝ ΟΔΗΓΟ ΧΕΡΕΣΤΗ, ΑΚΟΛΟΥΘΗΣΤΕ ΟΛΕΣ ΤΙΣ ΟΔΗΓΙΕΣ ΚΑΙ ΠΡΟΕΙΔΟΓΜΗΧΕΙΣ.

IT

LEGGERE IL MANUALE DELL'OPERATORE. SEGUIRE TUTTE LE ISTRUZIONI E AVVERTENZE.

PT

LOCALIZAR E LER O GUIA DE OPERAÇÃO, OBSERVAR TODAS AS INSTRUÇÕES E MENSAGENS DE AVISO.

ES

UBICAR Y LEER LA GUÍA DEL OPERADOR. ATENVERSE A TODAS LAS INSTRUCCIONES Y MENSAJES DE ADVERTENCIA.

SV

TA REDA PÅ INSTRUKTIONSBOKEN OCH LAS DEN. UPPMÄRKSAMMA ALLA ANVISNINGAR OCH VARNINGAR.

704 901 177

vmo2006-014-003_a

警告

- このキャリア格列に同乗者を乗せないでください。
- 最大フロント荷重: X lb (X kg) 均一に配分します。
- 最大リア荷重: X lb (X kg) 均一に配分します。
- (適用される場合、トレーアートの重量を含みます)

vmo2006-005-010_en

リアフェンダのみ

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

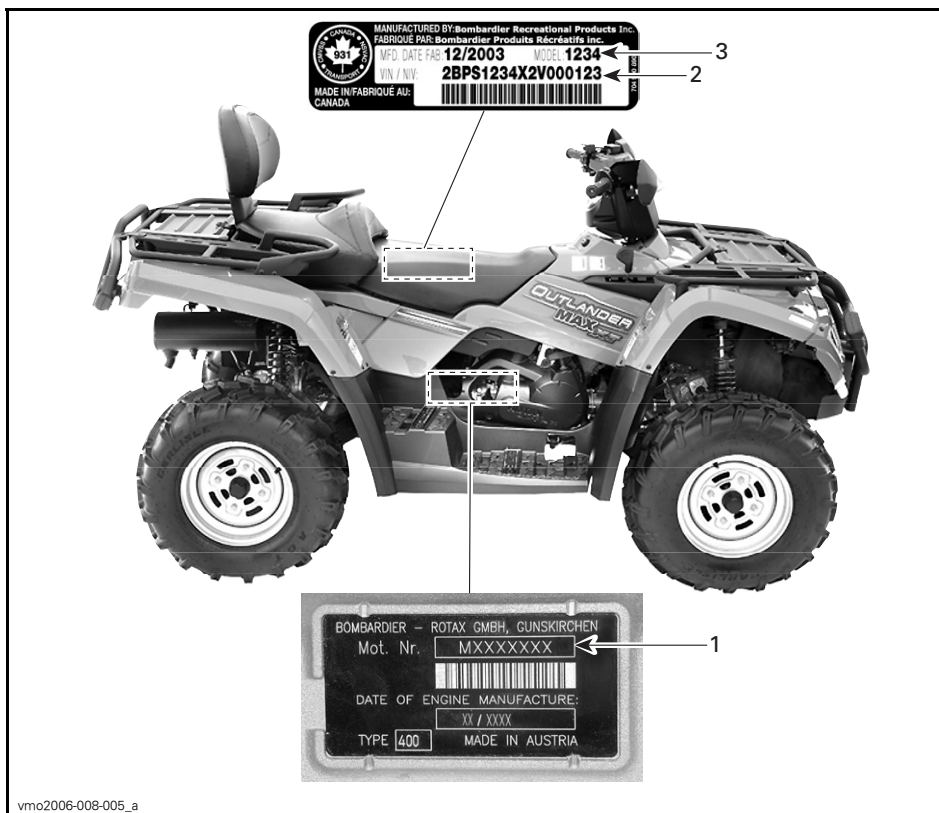
指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

ATV についての情報

あなたの ATV を識別する方法

ATV の主要な部品（エンジンおよびフレーム）は、すべての車両において異なる機番により識別されています。時として、この番号の確認が必要になることがあります。例えば、保証の適用、あるいは盗難に遭って捜索の必要が生じた場合などです。Can-Am 正規ディーラーは、保証要求を履行する際にこの番号を必要とします。どのような形であれ、エンジン登録番号（EIN）あるいは車両登録番号（VIN）が消されている場合、あるいは判読不能な状態にある場合は、BRP Inc. は保証を一切履行いたしません。あなたの ATV に付けられている機番をすべて記録し、保険会社に伝えておくことを強くお勧めいたします。

エンジン登録番号および車両登録番号の位置



vmo2006-008-005_a

代表的な例

1. EIN（エンジン登録番号）
2. VIN（車両登録番号）
3. モデル

コンプライアンスラベル

このラベルは、多くの国での ATV の適合性を示しています。

ラベルの場所	
Outlander MAX シリーズ	シート下、フレーム のアンダーバーの上



米国とカナダ



他の国々

騒音制御装置規制

米国とカナダのみ

騒音防止装置の改造は禁止されています。

米国連邦法とカナダ州法は、次の行為または原因となる事柄を禁止することもあります：

1. 如何なる人であれ、最終購入者への販売か納入前あるいは使用中に、ノイズコントロールを目的として新しい車両に組み込まれた装置または設計の要素を、メンテナンス、修理または交換以外の目的で、取り外したり動作不能とすること。
2. 何者かによって装置や設計の要素を取り外したり、作動不能にした後に車両を使用すること。

次に示す行為が、改造とみなされる行為に含まれます：

1. マフラーやエンジン排気ガスを排出する他のエンジンコンポーネントの取り外し、改変、または穴開け。
2. 吸気システムの取り外し、改変、または穴開け。
3. 車両の可動部品そして排気または吸気システムの部品を、製造業者指定以外の部品と交換すること。
4. メンテナンスを適切に実施しないこと。

排出規制

米国のみ

カリフォルニア大気資源委員会 (CARB) は、あなたの車両が耐用年数中、使用説明に従って操縦、メンテナンスされるとき関連排気物質基準に適合することを要求します。

ノンコンプライアンスレッドラベル (グリーンラベルも) は、カリフォルニア車両登録中に毎年取得します。適切なラベルが車両登録番号 (8番目の文字、詳細はここで説明) に表示されます。

車両カテゴリー	VIN 8番目の文字
非適合 レッドラベル	C または 3 で表示
適合 グリーンラベル	C または 3 以外の全アルファベット文字

慣らし運転期間

エンジン

10 時間の馴らし運転が終了するまでは、フルスロットルで走行しないでください。

注意: 燃料とオイルを混合してはなりません。この ATV のエンジンは 4 ストロークです。オイル注入が必要なのはエンジンベースのみです。

馴らし期間中は、スロットル開度 3/4 以下で走行してください。しかしながら、瞬間的なフル加速や速度を変えながらの走行は、効果的な馴らし運転となります。継続的な高开度加速度、長時間に及ぶ巡航速度、エンジンの過熱などは、馴らし運転には逆効果になります。

ベルト

新しいベルトは、50 km (30 mi) の馴らし運転期間が必要です。馴らし運転期間中は、急な加速/減速、荷物の牽引、高速での定常走行を避けてください。

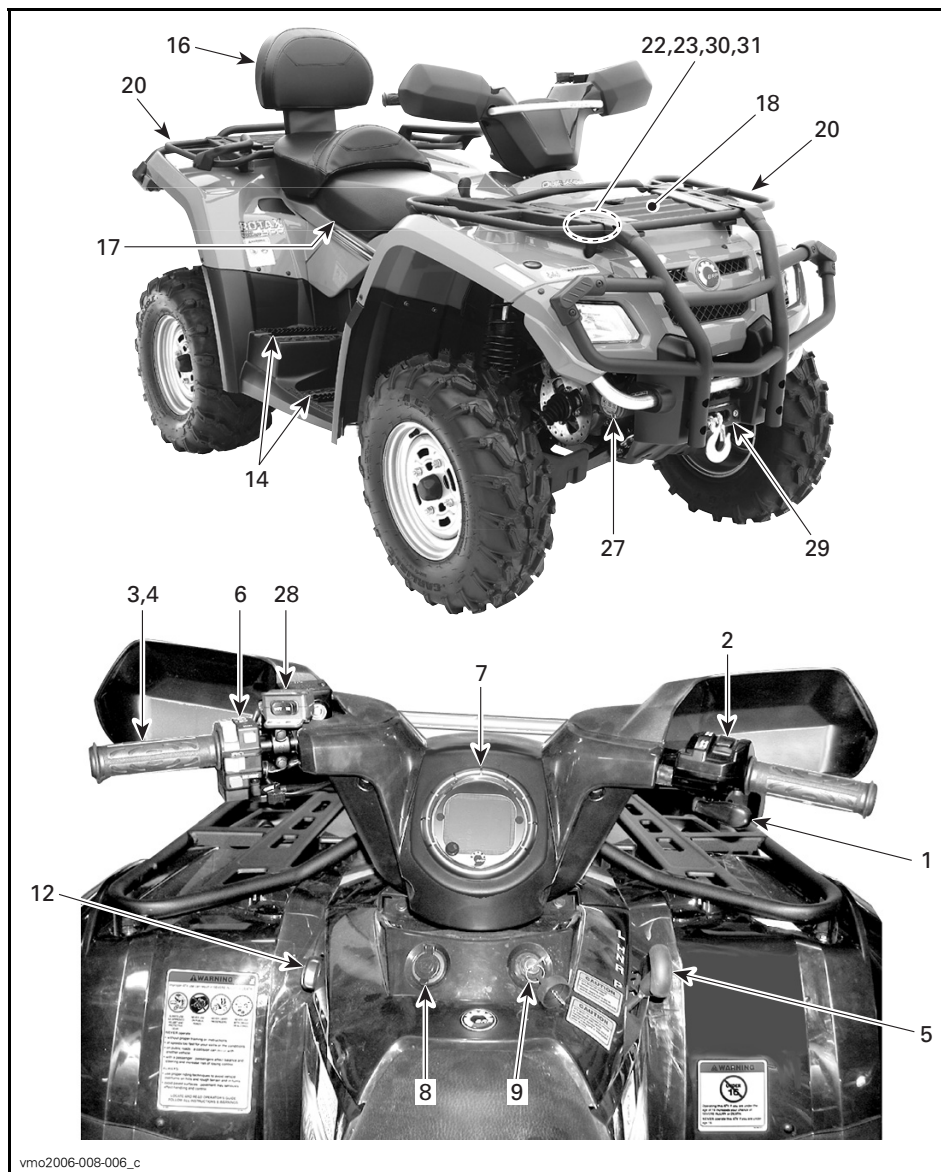
10 時間点検

注記: 10 時間点検の費用は、車両のオーナーの負担となります。

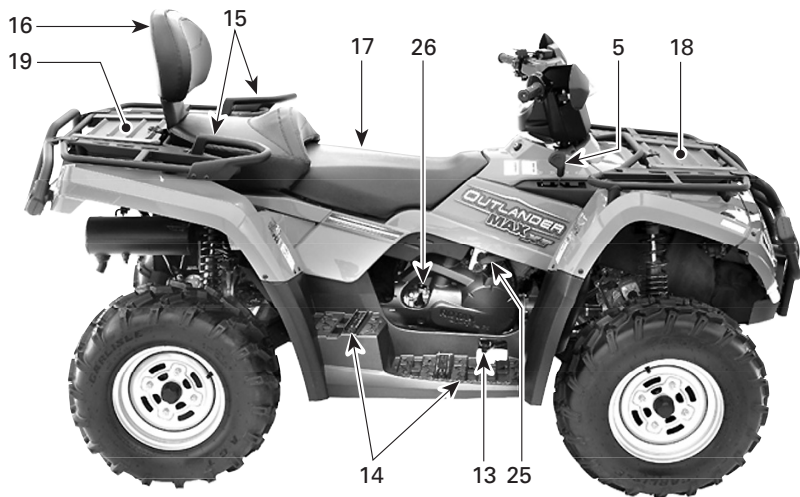
購入してから 10 時間、300 km (185 mi) または購入後 30 日の経過後のいずれか早い時点で、Can-Am 正規ディーラーに点検を依頼してください。この機会に、この ATV を使い始めてから生じた疑問点などをお尋ねください。

コントロール / 計器 / 備品

注記: 一部のコントロール / 計器 / 備品はオプションです。



vmo2006-008-006_c



vmo2006-008-007_b

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

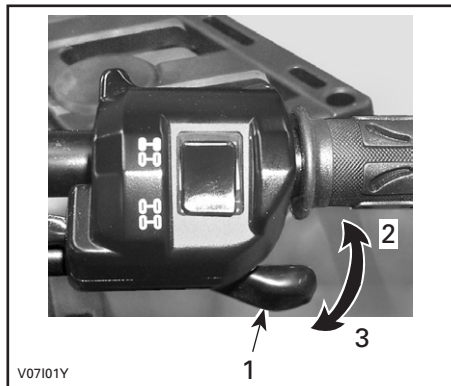
指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

注記: この項では、あなたのATVの各種コントロールが持つ基本的機能を説明します。ある一つのコントロールを他のいくつかのコントロールと併用する場合の使用の詳細については、この『オペレーター・ガイド』に記載されている「操作の説明」のセクションを参照してください。

1) スロットルレバー

これを押しとエンジンスピードが上昇し、エンジンの回転が、選択されたギアのトランスミッションに伝達されます。

スロットルレバーを放すとエンジンスピードは自動的に下降してアイドルリング状態になり、車両は徐々にスピードダウンします。

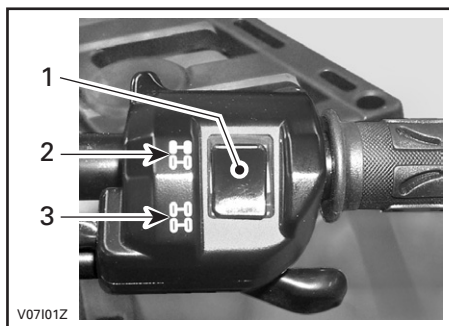


代表的な例

1. スロットルレバー
2. 加速時
3. 減速時

2) 2WD/4WD セレクター

このセレクターにより、2WDと4WDを選択します。



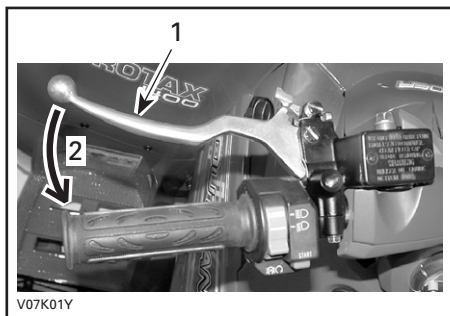
代表的な例

1. セレクター
2. 2WD 位置
3. 4WD 位置

3) ブレーキレバー

これを握ると、フロントブレーキとリアブレーキが掛かります。また、これを放すと自動的に元の位置に戻ります。ブレーキの効き具合はレバーを握る力に比例しており、地形のタイプあるいは状態によって異なります。

注記: 他のホイール付き車両と同様に、ブレーキ時は車両重量がフロントホイールに伝達されます。大きな停止効果を得るために、ブレーキシステムがフロントホイールにより大きなブレーキ力を配分します。強くブレーキを掛けると、これによりATVのハンドリングとステアリングコントロールが影響を受けます。ブレーキを掛けるときは、この点を考慮してください。



V07K01Y

代表的な例

1. ブレーキレバー
2. ブレーキを掛けるとき

4) パーキングブレーキ

ロックを掛けると、ATVは動かなくなります。例えば、輸送中やKターンをするときやATVを運転しないときなど、ブレーキをロックする必要がある場合に役立ちます。



警告

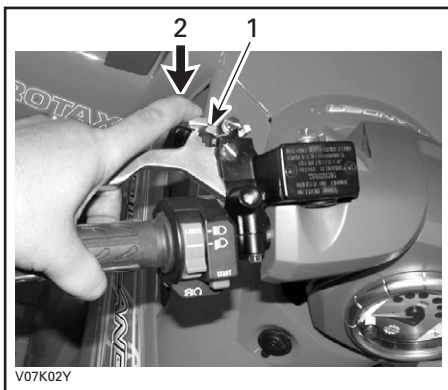
ATVを運転しない場合は、パーキングブレーキを使用し、トランスミッションレバーをPARK位置にシフトしてください。



警告

ATVを運転する前に、パーキングブレーキが完全に解除されていることを確認してください。ATVを運転するときに、レバーに継続して力が加かってブレーキがひきずられると、ブレーキシステムが損傷し、ブレーキ能力が失われるか、火災が発生する可能性があります。

ブレーキ機構を効かせるには: レバーロックを動かしながら、ブレーキレバーを握ります。ブレーキレバーが圧縮され、すべてのブレーキが掛かります。



V07K02Y

代表的な例

1. ブレーキレバーロック
2. パーキングブレーキを掛けるとき

ブレーキ機構を放すには: ブレーキレバーを握ります。レバーロックが自動的に元の位置に戻ります。ブレーキレバーが休止位置に戻ります。運転する前に必ずパーキングブレーキを解除してください。

5) トランスミッションレバー

5ポジションレバー: P、R、N、H、L。

トランスミッションレバーの位置を変えるには、車両を完全に停止し、レバーを必要な位置に動かします。レバーを無理に押しはなりません。シフトできない場合、ATVを前後に動かしてトランスミッションのギアを動かし、もう一度試してください。



V07D07Y

シフトパターン

注意: 車両を完全に停止し、トランスミッションレバーを動かす前にブレーキを掛けてください。

P: パーク

この位置ではトランスミッションがロックされ、ATV が動かないようにします。ATV を運転しないときに必ず使用してください。ある場合には、ATV を前後に動かしてトランスミッションのギアを動かし、パーク位置にかみ合うようにする必要があります。

R: リバース

この位置にして、ATV を後方に動かします。ATV の速度は制限されます。

警告

リバースで車両を運転する前に、後方の経路に人や障害物がないことを確認してください。座ったままでいてください。

N: ニュートラル

この位置では、トランスミッションのかみ合いが解除され、手で押してATV を動かすことができます。

H: ハイギア

この位置では、ギアボックスの伝達の高速レンジが選択されます。これは、通常の運転速度範囲です。この位置では、ATV の最大速度に達することができます。

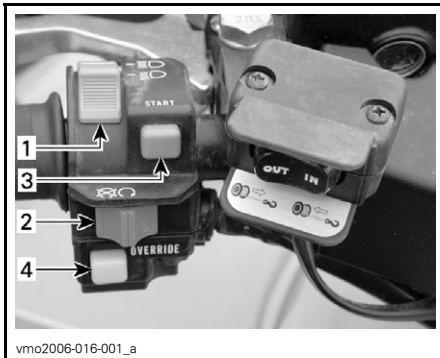
L: ローギア

この位置では、ギアボックスの伝達の低速レンジが選択されます。このレンジは作業で使用する位置です。この位置では、ATV の最大接地力と馬力で低速で運転することができます。

注記: 荷物を引っ張ったり、急な坂を上る場合にこのギアを使用してください。

6) マルチファンクションスイッチ

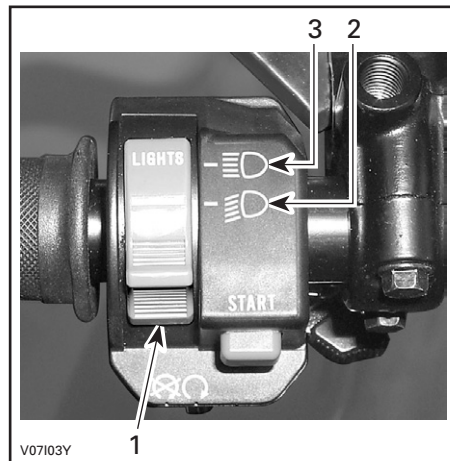
このマルチファンクションスイッチの上部に設置されているコントロールには次があります:



代表的な例 — マルチファンクションディスプレイ

1. ヘッドライトスイッチ
2. エンジンストップスイッチ
3. エンジンスタートボタン
4. オーバーライドボタン

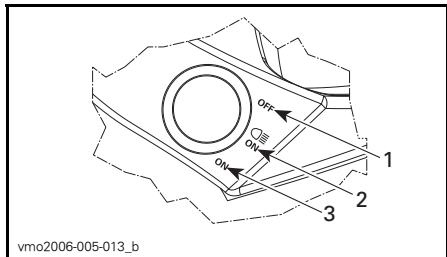
ヘッドライトスイッチ



代表的な例

1. ヘッドライトスイッチ
2. ロービームおよびテールランプ
3. ハイビームおよびテールランプ

注記: 「ライト消灯で」 ON 位置にイグニッションスイッチを切り替えると、ヘッドランプは消灯します。



イグニッションスイッチ位置

1. OFF
2. 「ライト点灯で」 ON
3. 「ライト消灯で」 ON

エンジンストップスイッチ

このスイッチはエンジンを停止するためと、非常用コントロールとして使用できます。

エンジンを停止するには、スロットルレバーを完全に戻してからエンジンストップスイッチを使用してください。

注記: エンジンはイグニッションキーを OFF の位置に回して停止できますが、エンジンストップスイッチでエンジンを停止することをお奨めします。



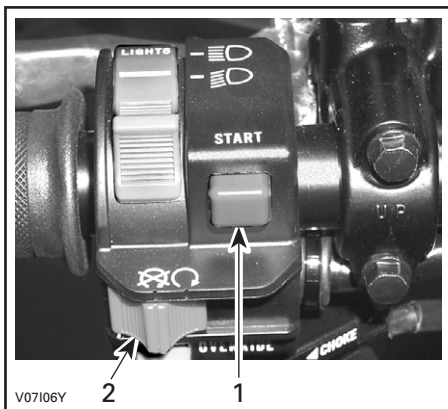
代表的な例

1. エンジンストップスイッチ

エンジンスタートボタン

エンジンを始動するには、エンジンストップスイッチを RUN 位置にします。

スタートボタンを押したままにします。エンジンが始動したら、すぐに放します。



代表的な例

1. エンジンスタートボタン
2. エンジンストップスイッチ

注記: エンジンストップスイッチを OFF 位置に回さないと、クランクは回りますがエンジンは始動しません。

オーバーライドボタン

このボタンは、リバーススピードリミッターシステムを取り消すためと、駆動力を使ったバックアップの間に使用します。オーバーライドボタンを押し続け、次にスロットルレバーを少しずつ押します。

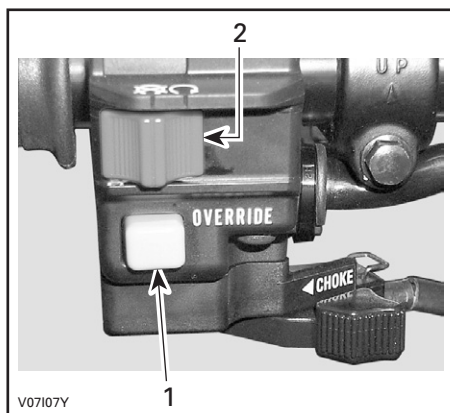
警告

コントロールが失われ、重大なケガや死亡事故になることがあるので、スロットルを開いているときにオーバーライドボタンを作動させてはなりません。



オフ位置のチョークレバー

エンジンの温度が低いときに、フルチョークの位置を使用します。



代表的な例

1. オーバーライドボタン
2. エンジンストップスイッチ

チョークレバー

マルチファンクションスイッチの底部に設置されています。このデバイスの特徴は、常温での始動を簡単にするための可変レバーです。

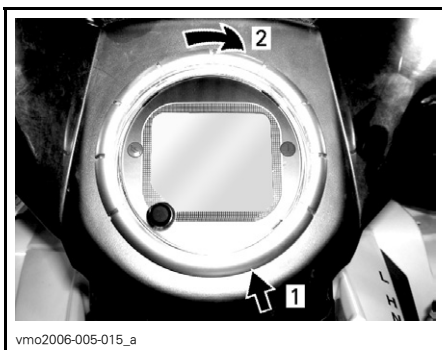
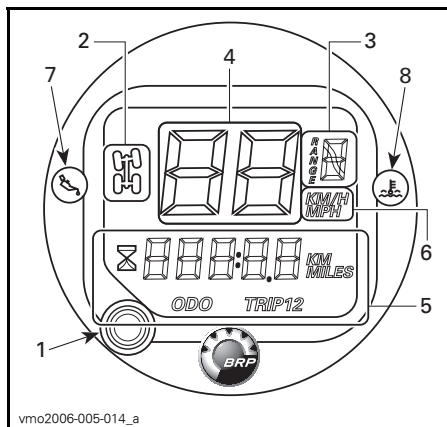
オフの位置は、エンジンを暖機した場合の通常の使用向けです。



フルチョーク位置のチョークレバー

OFF と FULL 位置の間にある他の位置は、エンジンの温度に応じて使用されます。

7) スピードメーター



vmo2006-005-015_a

1. ロッキングタブを解除するために持ち上げます
2. 時計方向に回してスピードメーターを解除します

代表的な例

1. ディスプレイセクターボタン
2. 4WD システムディスプレイ
3. トランスミッションポジションディスプレイ
4. ATV 速度ディスプレイ
5. マルチファンクションディスプレイ
6. ユニットディスプレイ
7. 油圧インジケーターランプ
8. エンジン温度インジケーターランプ

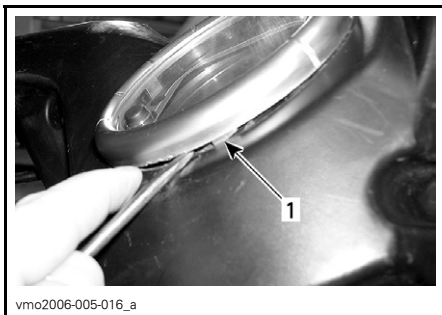
表示単位の変更 (MPH vs km/h)

スピードメーターは、工場出荷時にマイル表示で設定されていますが、キロメートル単位の表示に変更することができます。

イグニッションスイッチを OFF 位置に回します。

小さなロッキングタブがステアリングカバーから解除されるまで、小型マイナスドライバーを使って下部のスピードメーターを少し持ち上げます。

ステアリングカバーから外れるまで、スピードメーターを時計方向に回します。



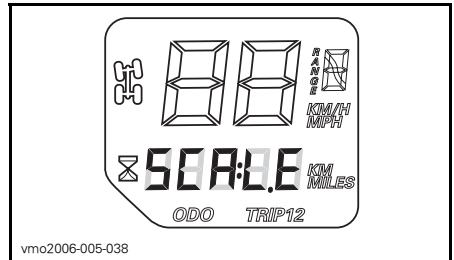
vmo2006-005-016_a

1. ロッキングタブ

コネクターをプラグ接続して、単位をマイルからキロメートルに変更します。プラグを抜いて、マイル表示に戻します。

新しいロッキングタイで配線をハーネスに固定します。

スピードメーターに SCALE 表示



マルチファンクションディスプレイのスピードメーターにSCALEが表示された場合、電気系が作動したときディスプレイセクターボタンが下がった位置にあるか、押されていることを意味します。

ディスプレイセクターボタン

セクターボタンを使用すると、スピードメーターをお望みのモードに変更できます：

- アワーメーター (リセット可能)
- オドメーター
- トリップメーター 1 (リセット可能)
- トリップメーター 2 (リセット可能)

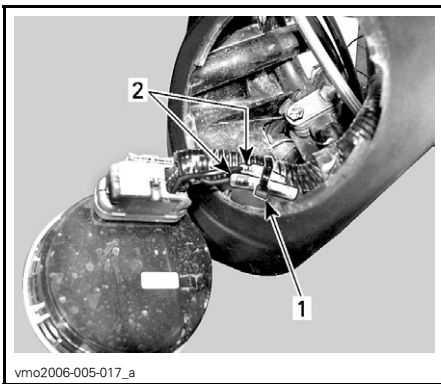


1. セクターボタン

マルチファンクションディスプレイ

オドメーター (ODO)

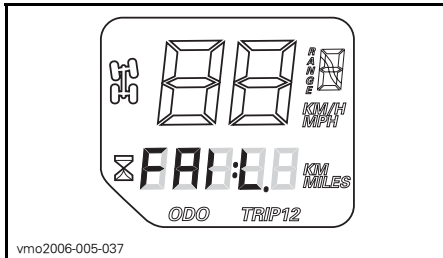
オドメーターは、走行した合計距離をマイルまたはキロメートル単位で記録します。



1. ロッキングタイ
2. 単位を変更するコネクタ

スピードメーター表示コード

スピードメーターに FAIL 表示



マルチファンクションディスプレイのスピードメーターにFAILが表示された場合、電気系で電圧レギュレータの取り外しや故障に起因する 18 ボルトをスピードメーターが感知したことを意味します。

電圧レギュレータの接続を確認するか、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに電圧レギュレータの交換を依頼してください。


トリップメーター (TRIP 1/TRIP 2)
スピードメーターには2つのトリップメーターが装備されています。

トリップメーターは、リセットされたからの走行距離を記録します。走行距離は、マイルまたはキロメートルで表示されます。


トリップメーターは、燃料タンクの航続距離や2つの地点間の距離を決めるのに使用できます。


ディスプレイセクションボタンを2秒間押したままにすると、トリップメーターがリセットされます。


アワーメーター

 アワーメーターは、エンジンの運転時間を時間と分で記録します。


トランスミッションポジション (範囲)

 トランスミッションがパーキング位置にあることを示します。

 トランスミッションがリバース位置にあることを示します。


 トランスミッションがニュートラル位置にあることを示します。

4 輪駆動システム

 このインジケーターがONのとき、4WDシステムが有効になっていることを意味します。


インジケーターランプ

油圧警告灯 (赤色)

 このインジケーターライトがONのとき、エンジンの油圧が低いことを意味します。

注意: エンジンを始動した後にこのランプが消灯しない場合は、エンジンを停止してください。エンジンオイルレベルをチェックしてください。必要があれば補充します。オイルに問題がなければ、Can-Am 正規ディーラーにご相談ください。修理が完了するまで、ATV を使用しないでください。

エンジン温度 (赤色)

 このインジケーターライトがONのとき、エンジンがオーバーヒートしています。エンジンがオーバーヒートしている場合、特殊な手順のエンジンのオーバーヒートを参照してください。

注意: エンジンを始動した後にこのランプが消灯しない場合は、エンジンを停止してください。最寄りのCan-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。修理が完了するまで、ATV を使用しないでください。

8) 12 ボルト電源アウトレット

コンソールに設置されています。

この電源アウトレットは、携帯型スポットライトやほかの携帯型の備品に役立ちます。

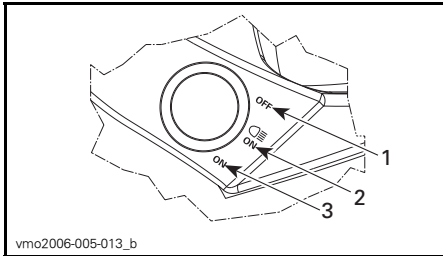
電源アウトレットを使用するには、保護キャップを取り外します。使用後は保護キャップをもう一度取り付けて、天候に対して保護してください。

定格容量を超えて使用してはなりません。詳細は、「仕様」のセクションを参照してください。

追加のアクセサリを接続するための補助装置を入手することができます。ATV のリア側のワイヤリングハーネスに2本の配線が隠れて取り付けられています。詳細は、Can-Am 正規ディーラーにお問い合わせください。

9) イグニッションスイッチ

キーで作動する、3-ポジションスイッチです: OFF、ON (点灯)、ON (消灯)。



イグニッションスイッチ位置

1. OFF
2. 「ライト点灯で」 ON
3. 「ライト消灯で」 ON

スイッチにキーを挿入し、必要な位置に回します。キーを取り外すには、キーを OFF 位置に回して抜きます。

ライト点灯で ON 位置では、エンジンが運転されていてもいなくても、すべてのライトが点灯します。エンジンを運転しないでライトを点灯させると、バッテリーが放電することに注意してください。エンジンを停止したら、必ずイグニッションキーを OFF 位置に回してください。

注記: エンジンはイグニッションキーを OFF の位置に回して停止できませんが、エンジンストップスイッチでエンジンを停止することをお奨めします。

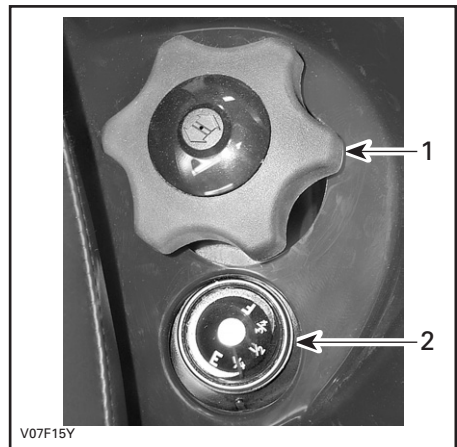
10) 燃料タンクキャップ

注意: 燃料タンクのキャップの上に物を置いてはなりません。燃料タンクのキャップの上部にあるベントホールが塞がれて、エンジンが失火する可能性があります。

キャップを反時計方向に回して取り外し、燃料を補充してから時計方向にしっかりと締め付けます。

⚠ 警告

燃料を補充する前に、必ずエンジンを停止してください。キャップはゆっくり開けてください。キャップに差圧がかかっている (燃料タンクのキャップをゆるめるときにヒューヒュー音が聞こえる) ことに気付いた場合は、さらに作業をする前に ATV を点検するか、修理してください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。裸火を明らかにして燃やしてはなりません。確かめるのは絶対にやめてください。燃料タンクの周辺で喫煙したり、火気を使ったり、火花を飛ばしてはなりません。必ず十分換気されている場所で行ってください。ATV を暖かい場所に置く前に、燃料タンクに燃料を補充してはなりません。気温が上昇すると燃料が膨張し、タンク外にあふれてしまう可能性があります。こぼれた燃料は必ずきれいにふき取ってください。



1. 燃料タンクキャップ
2. 燃料ゲージ

11) 燃料ゲージ

ゲージは、タンク内のおおよその燃料量を示します。



ON

キャブレタへ燃料が流入します。これは ATV の走行用の通常的位置です。

RES (リザーブ)

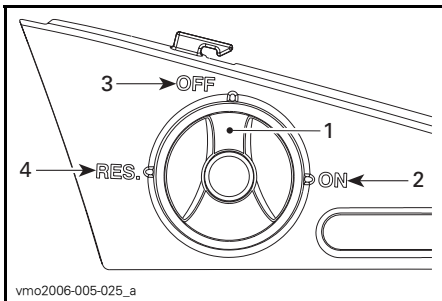
ON 位置のときに燃料タンク内の燃料が空になる場合、ノブを RES に回すと燃料が緊急供給されます。リザーブには、燃料タンクの約 12% の容量があります。ON による燃料が空のときのみ、この位置を使用します。

リザーブまで下がったとき、できるだけ早く給油してください。給油後、ON 位置にバルブを必ず戻してください。

注意: 燃料バルブの開け方が不適切な場合、燃料の流れが悪くなります。バルブが走行中完全に開いていることを確認してください。

12) 燃料バルブ

これは 3-ポジション回転バルブです: OFF、ON、RES。ノブを回して、ポイントを OFF、ON、RES に合わせます。



1. このポイントを希望の位置に合わせる
2. ON
3. OFF
4. RES (リザーブ)

OFF

キャブレタへの燃料供給を停止します。

注意: 車体が走行、移動していないとき、バルブを OFF 位置に回します。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください



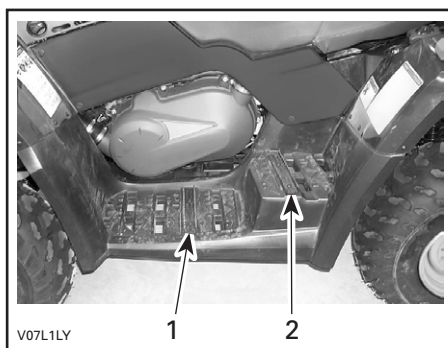
指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

13) ブレーキペダル

ブレーキペダルを踏み込むとリアブレーキが掛かります。放すと元の位置に戻ります。ブレーキの効き具合はペダルを踏み込む力に比例しており、地形のタイプあるいは状態によって異なります。

注記: ブレーキは、ドライブレインを介してフロントホイールにも影響を与えます。

ブレーキペダルはリアブレーキだけに作用します。メインブレーキシステムが故障した場合は、ブレーキペダルを踏み込んでリアブレーキを掛けることができます。



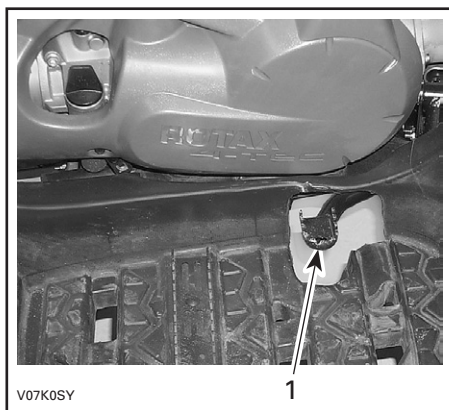
1. 運転者のフットペグ
2. 同乗者のフットペグ

15) グラブハンドル

同乗者はATV走行中にグラブハンドルをしっかりと握ってください。

警告

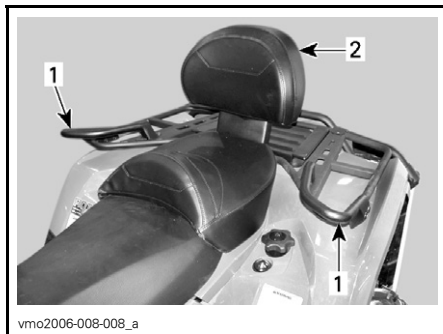
決して、運転者につかまらないでください。グラブハンドルから手を離さないでください。



1. ブレーキペダル

14) フットペグ

フットペグを使って運転者と同乗者の両足を安定させます。



1. グラブハンドル
2. 同乗者シート

16) 同乗者シート/ ストレージボックス

警告

同乗者のシートやストレージボックスを正しく取り付けないまま、ATVを運転しないでください。

同乗者シートは、(1)人の同乗者が安全で快適に楽しめるよう特別に設計されています。走行中、一体化した背もたれ部分が背中を支えます。

ストレージボックスを使用すると、2人乗りATV(2-UPモデル)は1人乗りATV(1-UPモデル)となり、積載能力も増えます。

ATVの変更は簡単です。同乗者シートを取り外してからストレージボックスを取り付ける、あるいはその逆です。下記に記載されている手順に従って、正しく取り外しと取り付けを行ってください。

警告

同乗者シートの代わりにストレージボックスを取り付ける場合、車両は1人乗り車両となり(1-UPモデル)、同乗者は乗れません。ストレージボックス上に同乗者を乗せないでください。

同乗者シートの取り外し

- 同乗者シートのラッチレバーを1つ引いてください。レバーは、シートのRHまたはLH後端下にあります。



代表的な例 — LH側

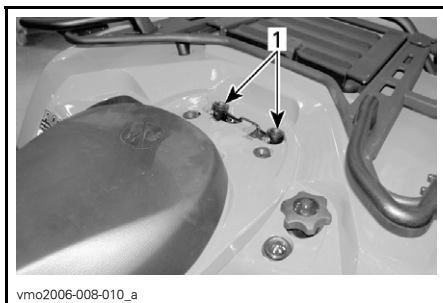
1. シートラッチ

- シートの後ろ側をゆっくりと持ち上げます。
- シートを後方に引きます。

- 同乗者シート前側のファスナーを解放できるまで引き続きシートを持ち上げ、同乗者シートを完全に取り外します。

同乗者シートの取り付け

- 同乗者シートのポジションチューブをリアフェンダ穴の中に挿入します。



1. 同乗者シートポジションチューブの穴

- シートを固定位置に取り付けたら、シートをしっかりと押し下げてラッチを掛けます。

注記: 独特の「カチッ」という感覚でラッチが掛かったことがわかります。シートをしっかりと引っ張って正しくラッチが掛かっていることを確認し、シートがしっかりと固定されていること再確認してください。

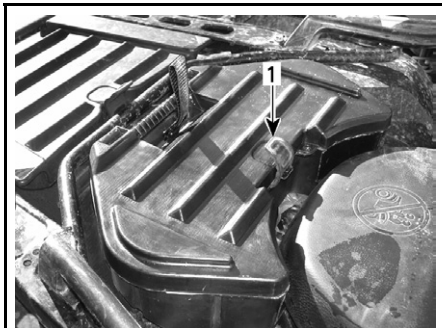
警告

乗る前に、しっかりとラッチが掛かっていることを確認してください。

ストレージボックスの取り付け

- 同乗者シートを取り外します。
- ストレージボックスをリアフェンダ上に配置します。
- ストレージボックスを固定位置に取り付けたら、しっかりと押し下げてラッチを掛けます。

- ストレージボックスを開くには、ラバーラッチのフックを外します。



vmo2006-008-012_b

1. ラバーラッチ

ストレージボックスの取り外し

- ストレージボックスのストラップを引っ張り、車体から離します。
- ストレージボックスを取り外します。
- 同乗者シートを取り付けます。



vmo2006-008-012_a

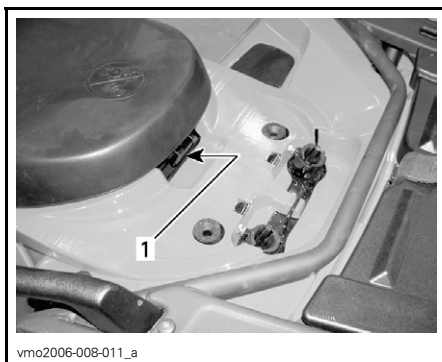
1. ストラップ

17) 運転者シート

注記: 運転者シートを取り外すには、同乗者シートかストレージボックスを取り外さなければなりません。

シートの取り外し

運転者シートを取り外すには、ラッチを前方に押します。ラッチはシートの後端の下に設置されています。



vmo2006-008-011_a

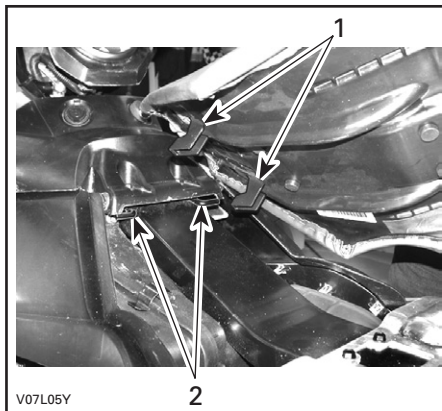
1. シートラッチ

シートを後方に引きます。シート前側のファスナーを解放できるまで引き続きシートを持ち上げ、シートを完全に取り外します。

シートの取り付け

シートのフロントタブをフレームフックの中に挿入します。シートを固定位置に取り付けたら、シートをしっかりと押し下げてラッチを掛けます。

注記: 独特の「カチッ」という感覚でラッチが掛かったことがわかります。シートをしっかりと引っ張って正しくラッチが掛かっていることを確認し、シートがしっかりと固定されていること再確認してください。



V07L05Y

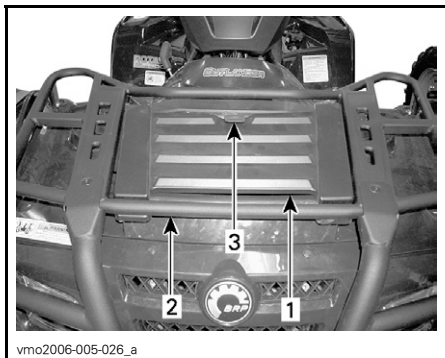
1. タブをフックに挿入します
2. フック

⚠ 警告

乗る前に、しっかりとラッチが掛かっていることを確認してください。

18) アクセスパネル

パネルを開くには、ラッチを外してパネルを持ち上げて外します。



vmo2006-005-026_a

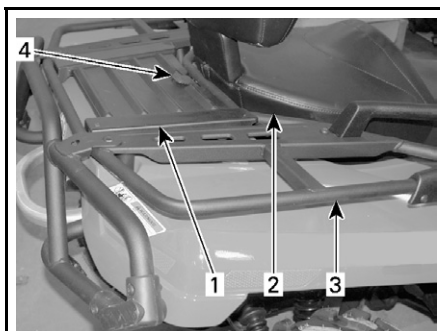
1. アクセスパネル
2. フロントラック
3. ラッチ

このパネルを外すと、サービスコンパートメントに簡単にアクセスできます。サービスコンパートメントには、リアブレーキオイルリザーバー、ラジエーターキャップ、冷却液リザーバー、およびヒューズホルダーなど、さまざまなメンテナンス用品があります。

19) リアストレージコンパートメント

リアストレージコンパートメントは、予備のスパークプラグ、応急処置用品など、個人的な品物を運ぶための便利な場所です。カバーのラッチを外し、軽く上に持ち上げてカバーを取り外してください。

このコンパートメントには、ドレンプラグが用意されています。必要な場合は、プラグを外して排水することができ、作業が完了したら、プラグを取り付けてください。



vmo2006-008-013_a

1. リアストレージコンパートメントカバー
2. シート
3. リアラック
4. ラッチ

⚠ 警告

エンジンが運転されている場合は、必ずトランスミッションレバーをPARK位置にしてからカバーを開けてください。ストレージバスケットに重い物や壊れて飛び散りやすい物を置いたままにはなりません。運転する前に、必ずカバーにラッチを掛けてください。運ぶためのスペースを増やすためにストレージカバーを外した場合は、荷物をしっかりと固定して凹凸のある地形でスピードを出して運転するとき「飛び」出ないようにしてください。スピードを落として運転してください。

20) カーゴラック

このラックは小物を運ぶのに便利です。

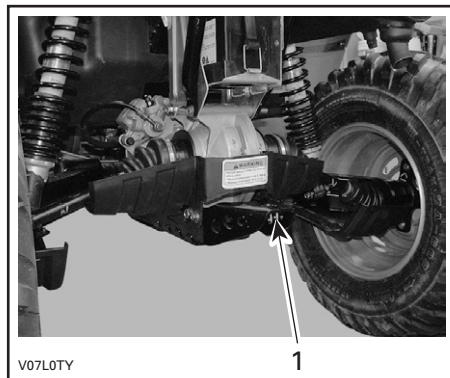
⚠ 警告

荷物がしっかりとラックに固定されていることを確認してください。荷物を積み過ぎないでください。荷物が視認性やステアリングを妨げないことを確認してください。乗員を運んではなりません。

積載荷重と積載重量配分の推奨値については、「仕様」のセクションを参照してください。

21) トレーラーヒッチ

リアアクスル付近にあります。トレーラーや他の装置を牽引するためのボールを取り付ける便利なヒッチです。トレーラーメーカーの推奨に従って、正しいサイズのボールを取り付けてください。積載荷重と牽引の推奨値については、「仕様」のセクションを参照してください。



1. トレーラーヒッチ

警告

牽引する装置に合った正しいサイズのボールを取り付けていることを確認してください。

注記: 正しい取り付け手順については、メーカーの指示に従ってください。

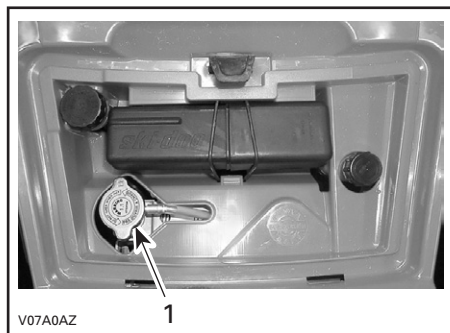
22) ラジエーターキャップ

アクセスパネルの下のサービスコンパートメントに設置されています。

警告

エンジンが暖機されているときは、やけどをしないようにラジエーターキャップを取り外してはなりません。

ラジエーターキャップを取り外すには、キャップを押しながら反時計方向に回します。取り付けは、取り外しの逆の順序で行います。



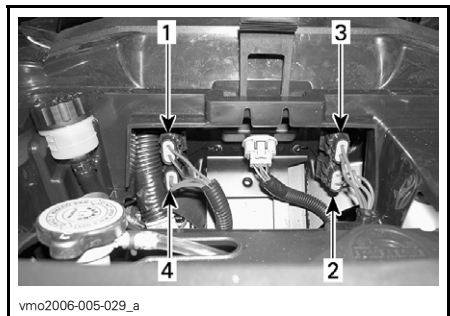
代表的な例

1. ラジエーターキャップ

23) ヒューズ

電気システムはヒューズによって保護されています。詳細は「メンテナンス」を参照してください。

ヒューズホルダーはサービスコンパートメント内にあります。



ヒューズの場所

1. アクセサリー (15 A)
2. ファン (15 A)
3. メイン (20 A)
4. 充電システム (30 A)

24) ツールボックス

ツールボックスは、リアストレージコンパートメントに設置されています。ツールボックスには、基本的なメンテナンス用の工具、この『オペレーター・ガイド』、『ATV ウィンチオペレーター・ガイド』（XTモデル）が収められています。

ツールボックスの工具は次のとおりです。

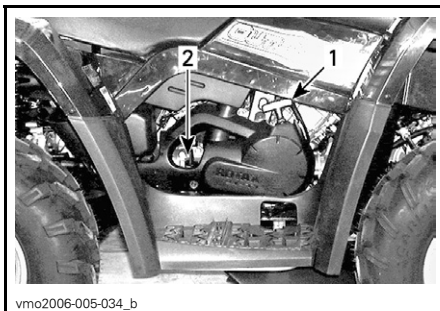
- プライヤー (1)
- スクリュードライバー (1)
- オープンレンチ 10/13 mm (1)
- オープンレンチ 15/17 mm (1)
- ソケットレンチ 10/13 mm (1)
- ソケットレンチ 16/18 mm (1)
- タイヤ空気圧ゲージ (1)
- ショックアブソーバーキー (1)
- ヒューズ 30 A (1)
- ヒューズ 20 A (1)
- ヒューズ 15 A (1)。

25) リワインドスターターハンドル

リワインドスターターハンドルは、非常用の始動装置です。

通常の始動手順に従ってください。しかし電気スターターではなくリワインドスターターを使用してください。

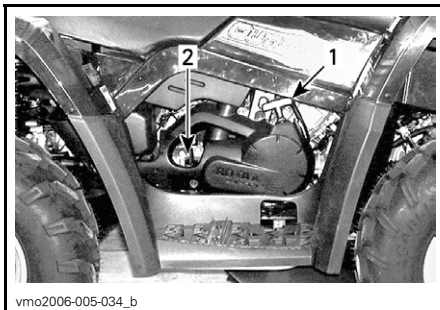
車体の右側に設置されています。自動リwindタイプ。ブレーキ機構を効かせるには、抵抗を感じるまでハンドルをゆっくりと引いて、そのまま圧縮ストロークピーク（強い回転抵抗）が過ぎるまで引き、次に強く引きます。ゆっくりとハンドルを戻します。



1. リワインドスターターハンドル
2. デイップスティック

26) デイップスティック

エンジンの右側に設置されています。エンジンのオイルレベルのチェックに使用します。

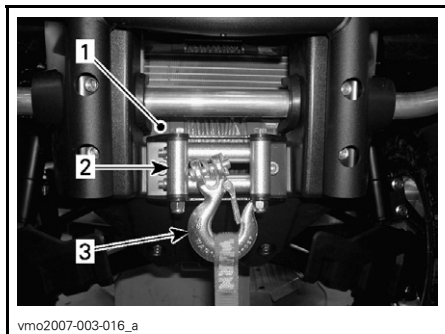


1. リワインドスターターハンドル
2. デイップスティック

エンジンオイルレベルを正しくチェックする手順については、「液体類」のセクションを参照してください。

27) ウインチ

XT モデル



1. ウインチ
2. ローラーフェアリーダー
3. ウインチフック

28) ウインチコントロールスイッチ

XT モデル

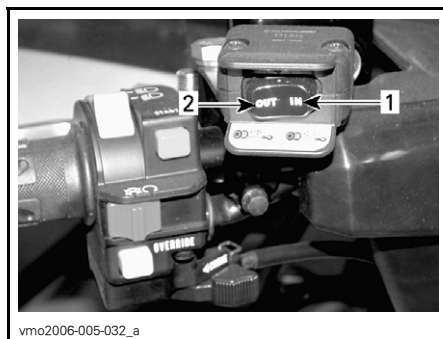
ウインチからワイヤを取り出したり、ウインチにワイヤを巻き取るために、このスイッチを使います。

ウインチからワイヤロープを取り出すには、スイッチの左側を押します。

ウインチにワイヤロープを巻き取るには、スイッチの右側を押します。

詳細については、『ATV ウインチオペレーター・マニュアル』を参照してください。

注記: ウインチ操作を簡単にするためウインチリモートコントロールも車両に装備されています。詳細は、このセクションのウインチリモートコントロールを参照してください。

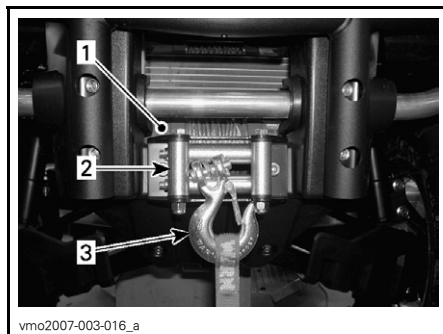


1. 取り込み
2. 取り出し

29) ローラーフェアリーダー

XT モデル

ローラーフェアリーダーは、ATV の損傷を防止するためと、ワイヤロープをウインチにガイドするために使用されます。



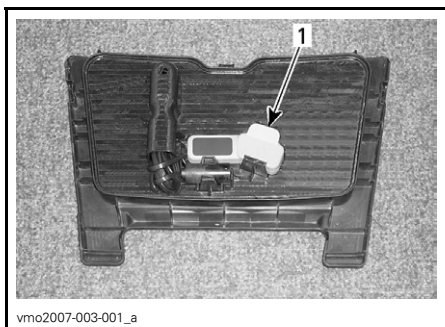
1. ウインチ
2. ローラーフェアリーダー
3. ウインチフック

30) ウインチリモートコントロール

XT モデル

ウインチ操作を簡単にするためウインチリモートコントロールも車両に装備されています。

ウインチリモートコントロールは、フロントサービスコンパートメントのアクセスパネル内に設置されています。



31) ウィンチリモートコントロール接続部

XT モデル

ウィンチ操作を簡単にするために、ウィンチリモートコントロールにプラグインするための接続部が使用されます。

vmo2007-003-001_a

フロントアクセスパネル

1. ウィンチリモートコントロール

ハンドルバーコントロールスイッチの代わりにウィンチリモートコントロールスイッチを使用するには、リモートコントロールをフロントサービスコンパートメントの接続部に接続します。

注意: 使用しないときには、リモートコントロールの接続を外して、保管します。



vmo2007-003-017_a

代表的な例 — フロントサービスコンパートメント

1. リモートコントロール接続部



vmo2007-003-017_a

代表的な例 — フロントサービスコンパートメント

詳細については、『ATV ウィンチオペレーター・マニュアル』を参照してください。

液体類

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

注記: この項では、推奨液体類およびそれらのレベルチェック手順を説明します。液体類の交換については、「メンテナンス」のセクションを参照してください。

燃料

推奨燃料

レギュラー無鉛ガソリン、エタノールまたはメタノール含有量が 10% 未満の酸素化燃料を使用してください。これらはほとんどのガソリンスタンドで購入可能です。次の推奨最小オクタン価以上のガソリンを使用してください。

オクタン価	
北米	(87 (R + M)/2)
北米以外	92 RON

注意: 他の燃料は絶対に使用しないでください。推奨以外の燃料を使用すると、ATV の性能を低下させ、燃料システムおよびエンジンの重要な部品に損傷が発生する場合があります。

注意: 燃料とオイルを混合してはなりません。この ATV のエンジンは 4 ストロークです。オイル注入が必要なのはエンジンベースのみです。

燃料レベル

警告

燃料を補充する前に、必ずエンジンを停止してください。キャップはゆっくり開けてください。キャップに差圧がかかっている（燃料タンクのキャップをゆるめるときにヒューヒュー音が聞こえる）ことに気付いた場合は、さらに作業をする前に ATV を点検するか、修理してください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。裸火を明らかにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。燃料タンクの周辺で喫煙したり、火を使ったり、火花を飛ばしてはなりません。必ず十分換気されている場所で作業をしてください。ATV を暖かい場所に置く前に、燃料タンクに燃料を補充してはなりません。気温が上昇すると燃料が膨張し、タンク外にあふれてしまう可能性があります。こぼれた燃料またはオイルは、必ずふき取ってください。

エンジン/トランスミッションオイル

推奨オイル

オイルは API が定めるサービス等級 SM、SL、SJ の要求条件に合致する、あるいはそれを超える 4 ストロークエンジンオイルを使用してください。オイルの容器に貼付されている API サービスラベルを必ずチェックし、SM、SL、SJ の文字があることを確認してください。

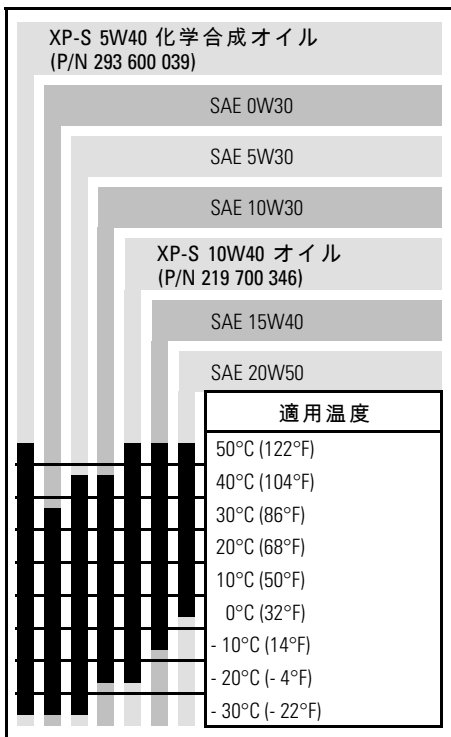
注記: 同じオイルにより、エンジンとトランスミッション両方を潤滑します。

オイルの粘度

オールシーズン用の SAE 5W30 を使用することをお奨めします。

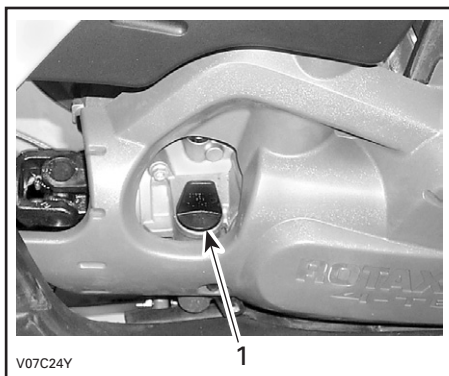
ただし、夏の最も暑い日は BRP XP-S 10W40 オイル(P/N 219 700 346) を使用可能です。

注記: 全体性能の向上とオールシーズン用途のために、XP-S 5W40 化学合成 4-ストロークオイルを使用してください(P/N 293 600 039)。



オイルレベル

注意: オイルレベルは頻繁にチェックし、必要に応じて補充してください。燃料を入れすぎた状態ではいけません。エンジン/トランスミッションをオイルを入れすぎた状態で運転すると、エンジン/トランスミッションに重大な損傷が発生する可能性があります。こぼれたオイルは必ずふき取ってください。



エンジンの右側

1. デイップスティック

オイルレベルは、車両を水平面に置いてエンジン温度が低くエンジンを停止した状態で、以下の手順に従ってチェックしてください。

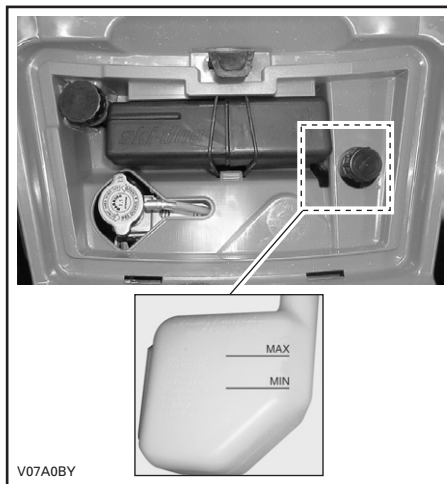
1. デイップスティックをゆるめて抜き取り、付着しているオイルをふき取ってください。
2. デイップスティックを取り付け、ネジを完全に締め付けてください。
3. オイルゲージをもう一度抜き取り、オイルレベルをチェックしてください。オイルレベルは、アップマークと同じかその近くになればなりません。

冷却液レベル

警告

冷却液レベルは、エンジンが冷めている状態でチェックしてください。エンジンが暖機されているときに、冷却液を冷却システムに注ぎ足してはなりません。

アクセスパネルを取り外します。



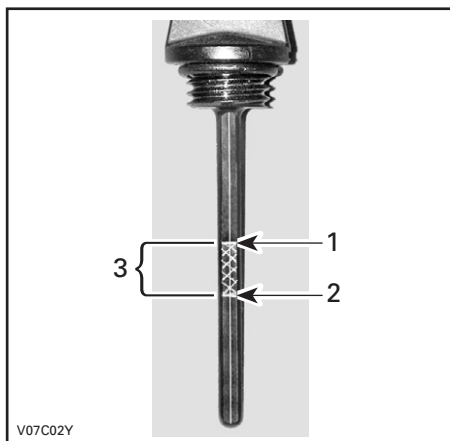
代表的な例

冷却液レベルは、車両を水平面に置いた状態で、冷却液リザーバーのレベルマーク MIN. と MAX. との間でなければなりません。

注記: 20°C (68°F) 未満の気温でチェックすると、冷却液レベルは MIN. マークよりも若干低いことがあります。

必要に応じて、MAX. マークまで注ぎ足してください。こぼさないようにじょうごを使ってください。燃料を入れすぎではいけません。

フィルターキャップを取り付けて、しっかりと締め付けてからアクセスパネルを取り付けてください。



1. フル
2. 追加
3. 運転範囲

オイルを追加するには、ディップスティックを取り外します。じょうごをディップスティックチューブに差し込み、オイルがこぼれないようにしてください。

推奨オイルを少量補充し、オイルレベルをもう一度チェックします。

ディップスティックのアップマークにオイルレベルが達するまで、以上の手順を繰り返します。入れすぎではありません。

ディップスティックをしっかりと締め付けてください。

エンジン冷却液

推奨冷却液

内燃アルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

BRP のプリミックス冷却液(P/N 219 700 362) または水と不凍液を混合した溶液 (蒸留水 50%、不凍液 50%) で冷却システムを満たしてください。

冷却液リザーバーに冷却水を追加する場合は、ラジエーターのレベルも確認してください。必要に応じて、ラジエーターに冷却水を追加してください。

警告

やけどをしないように、エンジンが暖機されているときは、ラジエーターキャップを取り外さないでください。

注記: 頻繁に冷却液を注ぎ足す必要がある場合、冷却システムに漏れがあるか、エンジンに問題がある可能性があります。最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

冷却液の交換

「メンテナンス」のセクションを参照してください。

ブレーキオイル

推奨ブレーキオイル

必ず DOT 4 の仕様に適合するブレーキオイルのみを使用してください。

注意: ブレーキシステムに重大な損傷が発生しないように、推奨ブレーキオイル以外を使用してはならないばかりでなく、補充のために種類の異なるオイルを混合してなりません。

ブレーキオイルレベル

車両を水平面に置き、リザーバーのブレーキオイルレベルが適正であることをチェックしてください。レベルは MIN. マークよりも上でなければなりません。

必要に応じて、ブレーキオイルを補充してください。燃料を入れすぎてはいけません。

フィルターキャップを取り外す前に、汚れを取り除いてください。

注意: 密閉された容器で保存されていた DOT 4 ブレーキフルードだけを使用してください。古い容器や開封された容器に入っているフルードを使用してはなりません。

注記: ブレーキオイルレベルが低下している場合、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが磨耗している可能性があります。最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

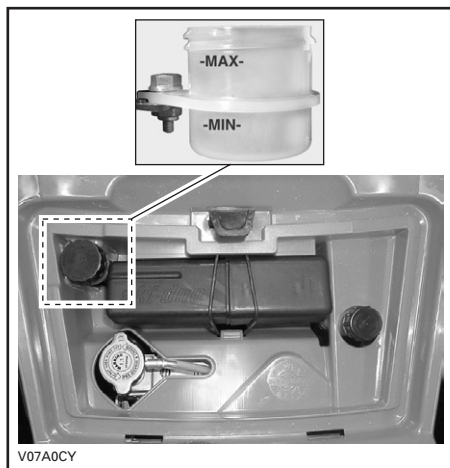
ブレーキレバーオイルリザーバー ステアリングを直進状態にして、リザーバーが水平であることを確認してください。ブレーキオイルレベルを確認してください。オイルが窓の上部に達している場合、リザーバーはいっぱいです。

レバーブーツの状態を目視で点検してください。クラック、破れなどがないかをチェックします。損傷が認められる場合は交換してください。



代表的な例

ブレーキペダルオイルリザーバー



代表的な例

バッテリー

この車両には、メンテナンスフリーのドライバッテリーが装備されています。

取り付け / 取り外しの手順については、「メンテナンス」のセクションを参照してください。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

操作の説明

一般的事項

エンジンを始動するには、トランスミッションレバーが PARK または NEUTRAL 位置でなければなりません。

注記: ユーザーの利便性を図るために、トランスミッションレバーがどの位置でもエンジンを始動できるようにするオーバーライドモードが用意されています。始動ボタンを押している間、ブレーキレバーまたはブレーキペダルを押して保持し、ブレーキを掛けてください。

エンジンを始動するには、エンジンストップスイッチを RUN 位置にし、キーをイグニッションスイッチに挿入し、ON 位置に回してから始動ボタンを押してください。

運転前のチェック

警告

運転前のチェックは、非常に大切なものです。エンジンを始動させる前に、重要なコントロール類、安全装置類、メカニカル部品などが正常に作動することをチェックしてください。ここで説明するチェックを実施しなかった場合、重大なケガあるいは死亡を伴う事故が発生する可能性があります。

運転の前に、次の点を必ず確認してください:

- パーキングブレーキを掛け、正常に作動しているかをチェックしてください。
- タイヤの空気圧およびコンディションをチェックしてください。
- ホイールおよびホイールベアリングの磨耗および損傷をチェックしてください。
- コントロール類の位置および正しく作動するかをチェックしてください。

- ステアリングがスムーズに動くかをチェックしてください。
- スロットルコントロールレバーを数回動かして、スムーズに作動するかをチェックしてください。放した時に自動的にアイドル位置に戻らなければなりません。
- フロントブレーキレバーおよびリアブレーキフットペダルを作動させて、ブレーキが効くことを確認してください。レバーおよびペダルは、放した時に自動的に元の位置に戻らなければなりません。
- トランスミッションレバーが機能することを確認し、PARK 位置に戻します。
- 燃料、オイル、冷却液のレベルをチェックしてください。
- エンジン/トランスミッション、およびドライブトレインのコンポーネントからのオイル漏れをチェックしてください。
- 燃料バルブを完全に開いた位置 (ON) にすることを忘れないでください。
- ヘッドライトとテールランプを清掃します。
- フロントアクセスコンパートメントカバーとリアストレージカバーコンパートメントのラッチがしっかりと掛かっているかをチェックしてください。
- 運転者および同乗者のシートまたはストレージボックスが正しい位置に取り付けられ、ラッチがしっかりと掛かっていることを確認してください。
- 荷物を運搬する場合は、許容積載重量を守ってください。荷物がしっかりと固定されているかを確認してください。

- トレーラーなどをけん引する場合
は、タンクの許容荷重および許
けん引荷重を守ってください。ト
レーラーがヒッチにしっかりと固
定されているかを確認してくださ
い。
- エンジン停止状態で、ゆるんでいる
パーツがないかを目視および触
感でチェックしてください。ねじ
類をチェックしてください。
- これから走行しようとしている経
路に、障害物あるいは人がいない
かを確認してください。
- イグニッションスイッチ、スタート
ボタン、エンジンストップスイッ
チ、ヘッドライトスイッチ、テー
ラランプ、インジケータランプが
正常に作動するかをチェックし
てください。
- 同乗者のシートと背もたれの状態
を確認してください。
- グラブハンドルの状態を確認し
てください。
- 安全な運転に関する基本的なル
ールを同乗者に知らせます。
- 同乗者が1人の場合、指定された同
乗者シートに座っていることを確
認してください。
- (リアシートの代わりに) スト
レージボックスを取り付けている
場合、ラッチがしっかりと掛かっ
ているかを確認してください。
- エンジンを始動し、ゆっくり前方
に1m程度運転して、すべてのブ
レーキを別々に掛け、効き具合を
チェックしてください。
- 2WD/4WD セレクターの作動を確
認してください。

以上のチェックで何らかの問題が発見されたら、調整してください。必要に応じて、最寄りの Can-Am 正規ディーラーにお問い合わせください。

エンジンの始動方法

常温での初期始動

キーをイグニッションスイッチに挿入し、ON 位置にしてください。

エンジンストップスイッチを RUN 位置にします。

0°C (32°F) 未満の寒い天候では、チョークレバーをフルに設置します。



代表的な例
1. フルチョーク位置

スタートボタンを押し、エンジンが始動するまで押し続けます。

注意: スタートボタンを 30 秒以上押し続けてはなりません。クランキングの間の待ち時間を守り、スターターの熱を冷ましてください。バッテリーが放電してしまわないように注意してください。

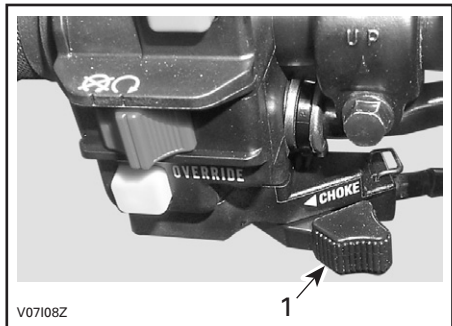
注記: スロットルを使用すると、エンジンをより早く始動できます。スロットルレバーを少し押します; 押し過ぎるとチョークシステムは作動しません。

エンジンが始動したら、エンジンスタートボタンを直ちに放します。

数秒後、エンジン回転が最高になるまでチョークレバーをフルチョーク位置から中間位置に動かします。

注記: チョークを使い過ぎると、エンジンがかぶって、始動しにくくなります。その場合、特殊な手順を参照してください。

エンジンが暖かいとき、チョークレバーを OFF 位置に押し、ブレーキを解除します。



代表的な例
1. OFF 位置

暖まっているときのエンジン始動

チョークを使用しないで上記の説明のようにエンジンを始動します。電気スターターで 2 回 5 秒間試みてもエンジンが始動しない場合、チョークレバーを ON と OFF 位置の間まで引きます。スロットルレバーを作動させずに、エンジンを始動します。数秒後、チョークレバーを OFF 位置まで押します。

非常用のマニュアル始動

警告

エンジンをマニュアルで始動する前に、必ずトランスミッションレバーを PARK または NEUTRAL 位置にします。

電気始動でもエンジンが始動しない場合、マニュアル始動を行います。

前記の始動手順に従ってください。しかしリワインドスターターを使用して始動してください。

マニュアルスターターハンドルをしっかり握って、抵抗を感じるまでゆっくりとエンジンをかけます。

この抵抗を過ぎたら、ハンドルを放します。

再びハンドルを握って、エンジンをかけます。

必要に応じて、この手順を最初から最後まで繰り返します。

エンジンの停止

警告

斜面で駐車しないでください。

スロットルを放し、車両を完全に停止させます。

ブレーキレバー上のブレーキレバーロックを使用して、パーキングブレーキをかけます。

トランスミッションレバーを PARK 位置にします。

エンジンストップスイッチを OFF 位置にします。

イグニッションスイッチのキーを OFF に回します。

イグニッションスイッチからキーを外します。

トランスミッションのシフト

エンジンをアイドル状態にして暖機します。

ブレーキを掛けて、必要なギアレンジ H または L を選択します。

注記: トランスミッションレバーを PARK 位置にしている場合は、ブレーキを掛ける必要があります。

ブレーキを放します。

注意: ATV を運転する前に、パーキングブレーキが完全に解除されていることを確認してください。

スロットルレバーをゆっくり押し、エンジン回転数を増加させます。これにより、無段変速機 (CVT) がかみ合います。

反対に、スロットルレバーを放すと、エンジン回転数が減少します。

リバースギアの使用法

注意: 前進から後退またはその逆に変更するときは、車両を完全に停止し、トランスミッションレバーを動かす前にブレーキを掛けてください。

リバースギアの使用手順は、次の点を除き、「トランスミッションのシフト」のセクションと同じです。

トランスミッションレバーを REVERSE 位置にします。

2WD/4WD セレクター

ATV 停車時、4WD モードが選択または選択解除されます。

注意: 2WD/4WD セレクターを切り替えるには、ATV を停車しておかなければなりません。走行中にセレクターを切り替えると、機械的損傷が発生する可能性があります。

注意: リアホイールがスピンしている場合、4WD モード選択前にスロットルを解除して、エンジンがアイドルリング状態に戻るまで待ちます。

セレクターを押し下げるとき、4WD モードに替わります。



4WD モード

4WD モードを選択解除するには、セレクターを 2WD で押します。



イグニッションスイッチからキーを外します。

運転後の手入れ

塩水にさらされる環境で使用（海岸で走行、あるいはボートの積み下ろしなどに使用）した場合、車両と部品の腐食を防ぐために、真水による洗浄が必要です。金属パーツへの油脂塗布が特に大切です。XP-S Lube(P/N 293 600 016) が同等品を使用してください。これは、運転した日の終わりに必ず実施してください。

泥が付着する条件で使用した場合、車両と部品の劣化を防ぎ、ライトを明るく保つために、真水による洗浄が推奨されます。

注記: ATV を洗浄するときに、高圧洗浄機を使用してはなりません。水圧を低めて使用してください（散水用ホースのように）。高圧の水は電気や機械系統の損傷につながる可能性があります。

2WD モード

セレクターが 2WD に位置していると、ATV は常に二輪駆動です。

ウインチの操作

XT モデル

『ATVウインチオペレーター・マニュアル』を参照してください。このマニュアルはツールボックスに保管し、必ず車両に残しておいてください。

エンジンの停止



警告

斜面で駐車しないでください。

スロットルを放し、車両を完全に停止させます。

パーキングブレーキを掛けてください。

トランスミッションレバーを PARK 位置にします。

エンジンストップスイッチを OFF 位置にします。

イグニッションスイッチのキーを OFF 位置に回します。

特殊作業の手順

転倒

ATV が転倒した後、あるいは側方に傾いた場合は、通常の運転状態（4輪すべてが接地している状態）に戻し、3～5分待ってからエンジンを始動してください。

エンジンを始動する前に、エンジンオイルレベルをチェックし、必要に応じて補充してください。エンジンの始動後にオイルプレッシャーランプが点灯したままの場合は、エンジンを停止させ、お早めに Can-Am 正規ディーラーにご相談ください。

ATV の浸水

ATV が浸水した場合は、できるだけ早く Can-Am 正規ディーラーに運ぶ必要があります。エンジンを始動してはなりません。

注意: ATV が浸水したときに、正しい再始動手順に従わないと、重大な損傷が発生する可能性があります。

荷物の積載と本車両の運搬

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

荷物の積載

警告

ATVにラックを積載して使用すると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響があります。このため、正しい積載と重量配分が重要です。過積載や不適切な荷物の運搬をしてはなりません。荷物が正しく固定されていることと、ラックに正しく配分されていることを確認してからATVを運転してください。荷物を積載、あるいはトレーラーを牽引する場合は、地形の条件に応じて速度を下げてください。十分な制動距離を確保してください。荷物はラック上にできるだけ低く固定して、重心が高くないようにしてください。ここに記載されている推奨事項を守らないと、車両のハンドリングが変化し、重大なケガや死亡の可能性につながる事故を招く場合があります。

荷物を積載して走行するときは、最大許容荷重を守ってください。

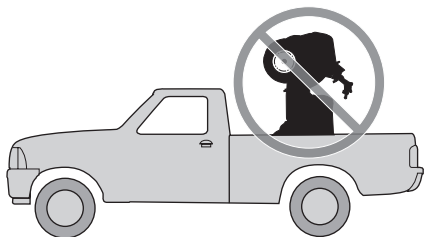
最大許容荷重

許容総荷重	235 kg (517 lb)	運転者、その他の荷物と追加アクセサリを含みます。
前部荷重	45 kg (100 lb)	均一に配分します。
後部荷重	90 kg (200 lb)	均一に配分します。 リアラック、リアストレージボックス、トングの荷重を含みます。

本車両の運搬

本車両を運転するときは、適切なタイダウンベルトを使用してトレーラーまたはピックアップボックスをしっかり固定してください。普通のロープを使用することはお奨めできません。

警告



V00A174

本車両を直立した状態で運搬してはなりません。運搬するときは、通常の運転状態（4輪すべてが接地している状態）で固定してください。

燃料バルブを OFF の位置にします。
パーキングブレーキを掛け、トランスミッションを PARK 位置にしてください。

車両のフロントバンパーとリアバンパーを固定します。

注意: これら以外の場所を固定すると、車両に損傷を与える可能性があります。

車両を運搬する前に、ラックの荷物を降ろしてください。

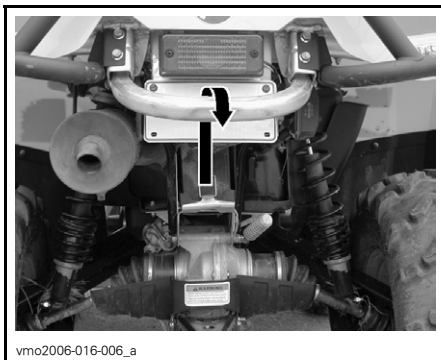
前側の場所



vmo2006-016-005_a

代表的な例

後ろ側の場所



vmo2006-016-006_a

代表的な例

警告

この車両を、自動車あるいは他のATVで牽引してはなりません。トレーラーに乗せて運搬してください。

トラブルシューティング

エンジン始動の際、クランクが回らない

1. イグニッションスイッチが **OFF** 位置になっている。
 - イグニッションスイッチを **ON** 位置にしてください。
2. トランスミッションレバーが **PARK** または **NEUTRAL** 位置になっていない。
 - トランスミッションレバーを **PARK** または **NEUTRAL** 位置にするか、ブレーキレバーを握ってください。
3. ヒューズ切れ。
 - メインヒューズのコンディションをチェックしてください。
4. バッテリーの電圧が低い、あるいは接続がゆるんでいる。
 - 充電システムのヒューズが切れていないかをチェックしてください。
 - バッテリーの接続および端子のコンディションをチェックしてください。
 - バッテリーをチェックしてください。
 - 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

エンジン始動の際、クランクは回るが始動しない

1. エンジンストップスイッチ。
 - エンジンストップスイッチが **ON** の位置にあることを確かめます。
2. 常温のエンジンを始動するには、ミクスチャーの濃さが十分ではありません。
 - 燃料タンクの残量を点検して、始動手順、特にチョークの使用を確認します。
3. エンジンがかぶっている（スパークプラグを外すと、燃料で濡れている）。
 - 何度か試みてもエンジンが始動しない場合は、プラグがかぶった可能性があります。次の手順に従ってください：
 - イグニッションスイッチを **ON** 位置に回して、チョークがかかっていることを確認してください。
 - 必ずトランスミッションレバーを **PARK** 位置にしてください。
 - スロットルレバーを完全に押し、エンジンを始動する間押し続けます。
 - エンジンが始動したら、スロットルレバーを放します。エンジンを急いで取り扱わないでください。
 - エンジンが作動しない場合：
 - スパークプラグキャップ部分を清掃し、取り外します。スパークプラグを取り外します（スパークプラグレンチはツールボックスに入っています）。
 - エンジンのクランキングを数回行ってください。シリンダーにエンジンオイルを少量加えます（カップ 1 杯分のオイルクオートに相当）。可能な場合は新品のスパークプラグを取り付けるか、スパークプラグを清掃して乾燥させます。
 - 前述の手順に従って、エンジンを始動してください。やはり同じようにプラグがかぶってしまう場合は、*Can-Am* 正規ディーラーにご相談ください。

エンジン始動の際、クランクは回るが始動しない (続き)

4. 燃料がエンジンに供給されていない (スパークプラグを外すと、乾いている)。
 - 燃料タンクの残量をチェックして、燃料バルブを ON に回します (RES も試してください)。燃料ポンプがキャブレタにトラブルが発生している可能性があります。
 - 最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。
5. スパークプラグあるいはイグニッションシステムのトラブル (火花が飛ばない)。
 - メインヒューズのコンディションをチェックしてください。
 - スパークプラグを取り外し、イグニッションコイルに接続します。
 - イグニッションスイッチとエンジンストップスイッチが ON 位置になっていることを確認します。
 - スパークプラグを、エンジンのスパークプラグホールから離れた場所に接触させ、エンジンをスタートしてください。火花が飛ばない場合は、スパークプラグを交換します。
 - それでも火花が飛ばない場合は、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。
6. エンジン圧縮。
 - リワインドスターターでエンジンを止めるので、ピストンが上死点を過ぎるとき抵抗の“サイクル”が感じられるはずですが、脈動的な抵抗が感じられない場合、大部分の圧縮が失われていることを示唆します。
 - 最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

加速力、あるいはパワーの低下

1. スパークプラグの汚れまたは損傷。
 - エンジン始動の際、クランクは回るが始動しないの項目を参照してください。
2. エンジンに十分な燃料が供給されていない。
 - エンジン始動の際、クランクは回るが始動しないの項目を参照してください。
3. キャブレタの調整。
 - 最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

4. エンジンのオーバーヒート。

- エンジンがオーバーヒートして、インジケータライトがオンのとき、次を試してください:
 - ラジエーターのフィンをチェックして、清掃します。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
 - スピードを下げますが、停止させないで、ラジエーターに空気があたるようにしてください。この状態で約 1分間待ってもオーバーヒートが解消しない場合は、車両を停止させてトランスミッションを PARK 位置にしてください。エンジンを停止させてください。
 - イグニッションスイッチを ON 位置にします (エンジンを再始動しないでください)。ラジエーターファンによって、ラジエーターが冷却されま
 - エンジンを冷却させます。冷却液のレベルをチェックし、必要に応じて補充してください。エンジン冷却液を参照してください。
 - できるだけ早く *Can-Am* 正規ディーラーに連絡をとってください。
- それでもオーバーヒートが解消しない場合は、最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

5. エアフィルター / ボックスの閉塞または汚れ。

- エアフィルターをチェックし、必要に応じて清掃してください。
- エアボックスドレンに堆積物がないことをチェックしてください。
- エアインテークチューブの位置をチェックしてください。

加速力、あるいはパワーの低下 (続き)

6. CVT の汚損または磨耗。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

バックファイアの発生

1. エキゾーストシステムの漏れ。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

2. エンジンの運転温度が高すぎる。

- 「加速力、あるいはパワーの低下」を参照してください。

3. イグニッションタイミングが適正でない、あるいはトラブルがある。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

4. キャブレタの設定間違い。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

ミスファイアの発生

1. スパークプラグのトラブル / 損傷 / 劣化。

- スパークプラグを清掃およびチェックし、熱価を確認します。必要に応じて、交換してください。

2. 燃料に水が混入。

- 燃料システムから燃料を完全に抜き取り、新しい燃料を入れてください。

最高速度の低下

1. エンジンのトラブル。

- 「加速力、あるいはパワーの低下」を参照してください。

2. パーキングブレーキが掛かっている。

- ブレーキレバーロックが完全に解除されているかを確認してください。

3. エアーフィルター / ボックスの閉塞または汚れ。

- エアーフィルターをチェックし、必要に応じて清掃してください。
- エアーボックスドレンに堆積物がないことをチェックしてください。
- エアーインテークチューブの位置をチェックしてください。

4. CVT の汚損または磨耗。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

トランスミッションレバーがスムーズに動かない

1. トランスミッションレバーが作動しない位置にトランスミッションのギアがかみ合っている。

- ATV を前後に動かしてトランスミッションのギアを動かし、もう一度トランスミッションレバーをシフトしてください。

2. エンジンのアイドル速度の設定が高過ぎる。

- アイドリング速度を調整します。仕様を参照してください。

3. CVT の汚損または磨耗。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

エンジン回転数を高くしても車両が動かない

1. トランスミッションレバーが **PARK または **NEUTRAL** 位置になっている。**

- *Reverse*、*HI*、*LO* 位置にしてください。

2. CVT の汚損または磨耗。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

3. CVT ハウジングに水が混入。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

仕様

モデル		OUTLANDER™ 400 MAX シリーズ
エンジン		
タイプ	Rotax® 400、4-ストローク。シングルオーバーヘッドカムシャフト (SOHC)	
シリンダ数	シングルシリンダ	
バルブ数	4 バルブ (機械的調整)	
排気量	400 cc (24.4 cu. in)	
ボア	規格	91 mm (3.58 in)
ストローク	62 mm (2.42 in)	
圧縮比	10.3:1	
潤滑	ウェットサンプ、交換式オイルフィルター (エンジンとトランスミッション両方を潤滑)	
デコンプ	自動	
排気システム	触媒による米国農務省森林サービス認可のスパークアレスター	
エアフィルター	2 ステージフォームフィルター	
トランスミッション		
トランスミッション	無段変速機 (CVT)	
冷却		
タイプ	液冷式	
ラジエーター	サーモスタット制御 ファン付き フロントマウント	
気化		
キャブレタ	メーカー	Mikuni BSR33
	タイプ	マニュアルチョークと ECS (Enricher Coasting System) により常に圧縮
チョーク	可変	
アイドル回転数	± 50	1300 RPM
燃料ポンプ	メーカー	Mikuni (脈動ポンプ)
	タイプ	外部 (真空作動)

モデル		OUTLANDER™ 400 MAX シリーズ
電気システム		
マグネトージェネレータ	メーカー	デンソー
	タイプ	400 W @ 6000 RPM
イグニッションタイプ		CDI (Capacitor Discharge Ignition)
イグニッションタイミング		調整不可
エンジン回転リミッター		8000 RPM (前進の任意のギア)
車両速度リミッター		後進で 15 km/h (9 MPH)
スパークプラグ	メーカー	NGK
	タイプ	DCPR8E
	ギャップ	0.7 から 0.8 mm (0.028 から 0.032 in)
スパークプラグ本数		1
バッテリー	タイプ	ドライタイプバッテリー
	ボルト	12 ボルト、 18 Ah
始動システム		電気始動とマニュアル リワインドスターター。 P、R、N、H、L 位置で始動可能 (ブレーキを掛けて)
ヘッドライト		2 x 35 W
テールランプ		8/27 W
パイロットランプクラスタ		利用不可
ヒューズ	アクセサリ	15 A (電源アウトレットと補助装置)
	ファン	20 A
	メイン	30 A
	充電システム	20 A
ドライブトレイン		
フロントデファレンシャル		シャフト駆動 / シングルオートロック ディファレンシャル (駆動ポンプ)
リアアクスル		シャフト駆動 / シングルディファレンシャル
回転半径		2.0 m (79 in)

モデル		OUTLANDER™ 400 MAX シリーズ	
サスペンション			
フロント	タイプ	独立懸架 マクファーソンタイプ	
	トラベル	178 mm (7 in)	
リア	タイプ	TTI™ 独立	
	トラベル	203 mm (8 in)	
タイヤ			
メーカー/タイプ		XT	Carlisle ACT/ラジアル
		他	オーツ/バイアス
空気圧	最大 235 kg (517 lb)	フロント	34 kPa (5 PSI) 最大 31 kPa (4.5 PSI) 最小
		リア	34 kPa (5 PSI) 最大 31 kPa (4.5 PSI) 最小
サイズ	フロント		25 x 8 x 12
	リア	XT	25 x 11 x 12
		他	25 x 10 x 12
ホイール			
サイズ	フロント		12 x 6
	リア		12 x 7.5
ホイールナット締め付けトルク		70 N•m (52 lbf•ft)	
ブレーキ			
フロント		油圧、2 ディスク	
リア		油圧、1 ディスク	
パーキング装置		トランスミッションをパー ク位置にしてパーキング。 左側ブレーキレバーにロック機構付き	

モデル		OUTLANDER™ 400 MAX シリーズ
許容荷重		
フロントラック		45 kg (45.36 kg)
リアラック (トング荷重を含む)		90 kg (200 lb)
リアストレージボックス		10 kg (22 lb)
最大積載量 (運転者、全荷物、追加アクセサリを含みます)		235 kg (517 lb)
GVWR (車両総重量)		554 kg (1219 lb)
牽引能力		500 kg (1100 lb)
タング能力		14 kg (30 lb) リアラックを含む
寸法		
乾燥質量		298 kg (657 lb)
全長		2.39 m (94 in)
全幅		1.17 m (46 in)
全高		1.14 m (45 in)
シート高		877 mm (35 in)
ホイールベース		1.45 m (57 in)
ホイールトラック	フロント	965 mm (38 in)
	リア	914 mm (36 in)
最低地上高		236 mm (9.3 in)
重量配分 (フロント / リア)		46/54%

モデル		OUTLANDER™ 400 MAX シリーズ
液体およびグリース		
エンジンオイルタイプ (エンジンとトランスミッション)		SAE 5W30 API 等級 SM、SL、SJ。「オイル粘度チャート」を参照してください。
冷却液		エチレングリコールおよび水の混合液 (50% 冷却剤、50% 蒸留水。BRP プリミックス冷却液またはアルミニウムエンジン専用冷却剤をご使用ください。
燃料	タイプ	無鉛レギュラーガソリン
	オクタン価	北米:(87 (R + M)/2) 以上 北米以外:92 RON
ディファレンシャル	フロント	BRP ディファレンシャルオイルまたは化学合成ポリエステルオイル 75W90 (API GL-5)
	リア	
ブレーキ		ブレーキオイル、DOT 4
プロペラシャフトジョイントグリース		サスペンション化学合成グリース (P/N 293 550 033)
容量		
燃料タンク		16 L (4.2 U.S. gal) リザーブ約 2 L (0.5 U.S. gal) を含む
エンジン/トランスミッションオイル		フィルタとともにオイル交換: 3 L (3.17 U.S. quarts)
冷却液		2.2 L (2.32 U.S. quarts)
ディファレンシャル	フロント	500 mL (17 U.S. oz)
	リア	500 mL (10 U.S. oz)
ブレーキフルード		250 mL (8.5 U.S. oz)

A: アンペア

Ah: アンペア時

RPM: 1 分間の回転数

USDA: 米国農務省

V: ボルト

W: ワット

BRP ではつねに製品品質の向上と技術革新に努めているため、予告なく設計および仕様の変更になったり、製品への機能の追加または改良が行われたりすることがあります。BRP は、これらの変更、追加、改良を過去の製品に遡って適用する義務を負いません。

メンテナンス情報

メンテナンスチャート

メンテナンスは極めて重要です。安全なメンテナンス作業の手順および調整手順に不慣れな場合は、Can-Am 正規ディーラーにお問い合わせください。

定期点検チャート

10 時間、30 日、300 km (185 mi) のいずれかの初期点検

(実施者は Can-Am 正規ディーラーです。初期メンテナンスは極めて重要ですので、必ず実施してください。)

25 時間または 750 km (470 mi)

50 時間または 1500 km (930 mi)

100 時間、1 年または 3000 km (1865 mi)

200 時間、2 年または 6000 km (3730 mi)

実施者

A: 調整
C: 清掃
I: 点検
L: 潤滑
R: 交換

部品/タスク

説明

エンジン/トランスミッション

エンジン/トランスミッション オイルレベル ⁽²⁾	運転毎				お客様
	R	R			お客様
エンジン/トランスミッション オイルとフィルタ	R	R			お客様
エンジン/トランスミッション オイルストレーナ				C	ディーラー
バルブの調整	I, A		I, A		ディーラー
エンジンマウントファスナー	I		I		ディーラー
エアフィルター ⁽²⁾		C ⁽⁴⁾	R ⁽⁴⁾		お客様
排気システム	I		I		ディーラー
スパークアレスター				C	お客様
シールのコンディション	I		I		ディーラー
冷却液 ⁽²⁾	I		I ⁽³⁾	R	お客様
冷却システム圧漏れテスト	I			I	ディーラー
ラジエーターのコンディション / 清掃 (ラジエーターフィン) ⁽⁴⁾	I		I		お客様
リワインドスターターロープの状態			I		ディーラー

(2) 運転前点検項目。
(3) 100 時間毎に、冷却液の濃度をチェックしてください。
(4) ほこりのある場所、砂、雪、濡れる条件や泥だらけの条件など、過酷な条件では、より頻繁に行ってください。

定期点検チャート

A: 調整
C: 清掃
I: 点検
L: 潤滑
R: 交換

10 時間、30 日、300 km (185 mi) のいずれかの初期点検

(実施者は Can-Am 正規ディーラーです。初期メンテナンスは極めて重要ですので、必ず実施してください。)

25 時間または 750 km (470 mi)

50 時間または 1500 km (930 mi)

100 時間、1 年または 3000 km (1865 mi)

200 時間、2 年または 6000 km (3730 mi)

実施者

部品/タスク

説明

燃料システム

スロットル/ハウジング/ケーブルのコンディション ⁽²⁾	I, A, L			I, A, L		ディーラー/お客様	(1) 排出ガス関連コンポーネント。 (2) 運転前点検項目。
チョークのコンディション ⁽²⁾	I			I, A		ディーラー/お客様	
燃料ライン、接続部、燃料タンクの加圧テスト ⁽¹⁾	I			I		ディーラー	
燃料タンクストレーナ					R	ディーラー	
キャブレタ	I			I, L		ディーラー	

電気システム

スパークプラグ ^{(1) (5)}	I				R	お客様	(1) 排出ガス関連コンポーネント。 (2) 運転前点検項目。 (5) スパークプラグのギャップが正しいことを確かめます。
バッテリーの接続	I			I		お客様	
ワイヤリングハーネス、ケーブル、ライン	I			I		ディーラー	
イグニッションスイッチ、エンジンスタートボタンおよびエンジンストップスイッチの状態 ⁽²⁾	I			I		お客様	
ライトシステム (HI/LO 切り替え、ブレーキランプ、ヘッドライト調整など) ⁽²⁾	I			I		お客様	
ウインチ	『ATVウインチオペレーター・マニュアル』を参照してください。					お客様	

定期点検チャート

10 時間、30 日、300 km (185 mi) のいずれかの初期点検

(実施者は Can-Am 正規ディーラーです。初期メンテナンスは極めて重要ですので、必ず実施してください。)

25 時間または 750 km (470 mi)

50 時間または 1500 km (930 mi)

100 時間、1 年または 3000 km (1865 mi)

200 時間、2 年または 6000 km (3730 mi)

実施者

A: 調整
C: 清掃
I: 点検
L: 潤滑
R: 交換

部品/タスク

説明

トランスミッション					
ドライブベルト			I		ディーラー
ドライブプーリーとドリブンプーリーの状態/清掃			I, C		ディーラー
ワンウェイベアリングインサイド CVT			I, L		ディーラー
CVT エアインレット/アウトレットダクトの状態/清掃	I		I, C		ディーラー
ドライブトレイン					
4x4 結合ユニット	I			I	ディーラー
ドライブシャフトブーツおよびプロテクター ⁽²⁾	I	I			お客様
ドライブシャフトジョイント			I		ディーラー
リアプロペラーシャフトジョイント	I		I, L ⁽⁴⁾		ディーラー
ホイールベアリングのコンディション				I	お客様
フロント / リア ディファレンシャル (オイルレベル、シール、ベント)	I			R	ディーラー
タイヤの空気圧および磨耗 ⁽²⁾				運転毎	お客様
ホイールナット/スタッド	I		I		お客様

(2) 運転前点検項目。
(4) ほこりのある場所、砂、雪、濡れる条件や泥だらけの条件など、過酷な条件では、より頻繁に行ってください。

定期点検チャート

A: 調整
C: 清掃
I: 点検
L: 潤滑
R: 交換

10 時間、30 日、300 km (185 mi) のいずれかの初期点検

(実施者は Can-Am 正規ディーラーです。初期メンテナンスは極めて重要ですので、必ず実施してください。)

25 時間または 750 km (470 mi)

50 時間または 1500 km (930 mi)

100 時間、1 年または 3000 km (1865 mi)

200 時間、2 年または 6000 km (3730 mi)

実施者

部品/タスク

説明

ステアリングシステム

ハンドルバーファスナー

				I		ディーラー
--	--	--	--	---	--	-------

ステアリングシステム
(コラム、ベアリングなど)

I				I	(4)	ディーラー
---	--	--	--	---	-----	-------

タイロッドエンド

			I			ディーラー
--	--	--	---	--	--	-------

フロントホイールのアライメント

I				I, A		ディーラー
---	--	--	--	------	--	-------

(4) ほこりのある場所、砂、雪、濡れる条件や泥だらけの条件など、過酷な条件では、より頻繁に行ってください。

サスペンション

トレーリングアーム

				I		ディーラー
--	--	--	--	---	--	-------

トレーリングアームベアリング

					I	ディーラー
--	--	--	--	--	---	-------

マクファーソンストラット

			I			ディーラー
--	--	--	---	--	--	-------

ショックアブソーバー

I			I			ディーラー
---	--	--	---	--	--	-------

A-アーム

				I, L		お客様
--	--	--	--	------	--	-----

ボールジョイント

	I					ディーラー
--	---	--	--	--	--	-------

ブレーキ

ブレーキフルード (フロントとリア)⁽²⁾

I	I				R ⁽⁶⁾	お客様
---	---	--	--	--	------------------	-----

ブレーキパッド

			I		(4)	お客様
--	--	--	---	--	-----	-----

ブレーキシステム (ディスク、ホースなど)

				I		お客様
--	--	--	--	---	--	-----

(2) 運転前点検項目。
(4) ほこりのある場所、砂、雪、濡れる条件や泥だらけの条件など、過酷な条件では、より頻繁に行ってください。
(6) ブレーキフルードの交換またはブレーキシステムの修理を Can-Am 正規ディーラーに依頼してください。

定期点検チャート

10 時間、30 日、300 km (185 mi) のいずれかの初期点検

(実施者は Can-Am 正規ディーラーです。初期メンテナンスは極めて重要ですので、必ず実施してください。)

25 時間または 750 km (470 mi)

50 時間または 1500 km (930 mi)

100 時間、1 年または 3000 km (1865 mi)

200 時間、2 年または 6000 km (3730 mi)

実施者

A: 調整
C: 清掃
I: 点検
L: 潤滑
R: 交換

部品/タスク

説明

ボディ / フレーム

エンジンコンパートメント	I	C			お客様	(4) ほこりのある場所、砂、雪、濡れる条件や泥だらけの条件など、過酷な条件では、より頻繁に行ってください。
フレーム			I		ディーラー	
ヒッチ / トレーラー ボールのコンディション (装着されている場合)				運転毎	お客様	
シャーシのねじ類			I		お客様	
グラブハンドル				運転毎	お客様	
同乗者シートカストレージボックスとファスナー				運転毎	お客様	
運転者シートとファスナー				運転毎	お客様	
車両の清掃と保護			C ⁽⁴⁾		お客様	

全般

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

警告

特に指示がない限り、メンテナンス作業中はエンジンを停止させておいてください。
車両のサービスや点検を行う前に、やけどをしないようにエンジンと排気管が冷めるまで待機してください。

警告

分解 / 組み立て作業中にロック用部品（例えば、ロックワッシャ、セルフロックねじなど）を取り外した場合は、必ず新品に交換してください。

以下に、お客様自身により実施可能なメンテナンス項目について説明します。それ以外のメンテナンスチャートの項目は、Can-Am 正規ディーラーにご依頼ください。

注記: このセクションでは、液体類の交換手順を取り扱います。レベルチェックあるいは補充の手順については、「液体類」のセクションを参照してください。

エンジン/トランスミッション

オイルおよびオイルフィルター交換

オイルおよびオイルフィルターは同時に交換してください。オイル交換は、エンジンを暖機してから行う必要があります。

⚠ 警告

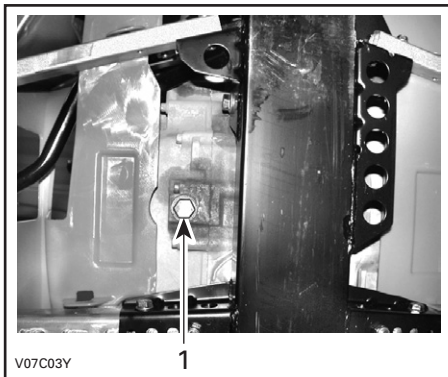
エンジンオイルは極めて高温になります。やけどをしないように、エンジンが熱いときは、エンジンドレンプラグやフィルターカバーを取り外さないでください。エンジンオイルが暖かい程度に冷めるまで待ちます。

車両を水平面上に置いてください。ディップスティックを取り外してください。

オイルドレンプラグの周辺から汚れを取り除いてください。

オイルドレンプラグ周辺の下にドレンパンを置いてください。

オイルドレンプラグをゆるめて取り外します。



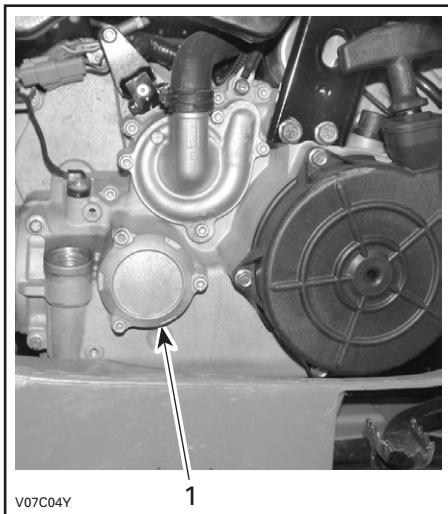
代表的な例

1. オイルドレンプラグ

しばらく放置して、オイルフィルターのオイルを完全に流れ出させてください。

右側のエンジンカバーを取り外します。

オイルフィルターカバーをゆるめて取り外します。



代表的な例

1. オイルフィルターカバー

オイルフィルターを取り外し、新品のフィルターを取り付けます。

カバーのOリングをチェックし、必要に応じて交換してください。

オイルフィルターカバーを締めます。

エンジンにオイルがこぼれた場合は拭き取ってください。

オイルドレンプラグのガスケットを交換します。エンジンとオイルドレンプラグのガスケット付近を清掃し、プラグを取り付けます。エンジンに推奨オイルを適切なレベルまで補充します。オイルの容量については、「仕様」を参照してください。

エンジンを始動し、数分間アイドルで放置します。オイルフィルターの周辺とオイルドレンプラグの周辺からオイルが漏れていないことを確認します。

エンジンを停止させてください。オイルがクランクケースに流れて下りるまでしばらく待ってから、オイルレベルをチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。

地域の環境規則に従ってオイルを廃棄してください。

オイルストレーナの清掃

オイルストレーナを 200 時間または 2 年間または 6000 km (3730 mi) 毎に清掃してください。

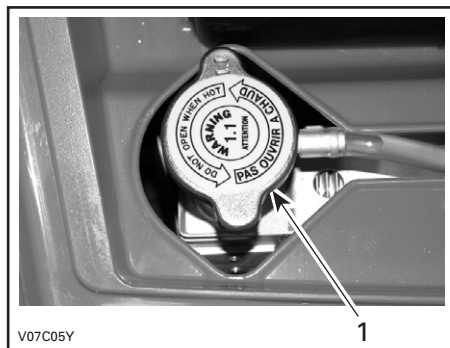
最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

冷却液の交換

⚠ 警告

やけどをしないように、エンジンが熱くなっているときはラジエーターキャップを外したり、冷却液のドレンプラグを緩めたりしないでください。

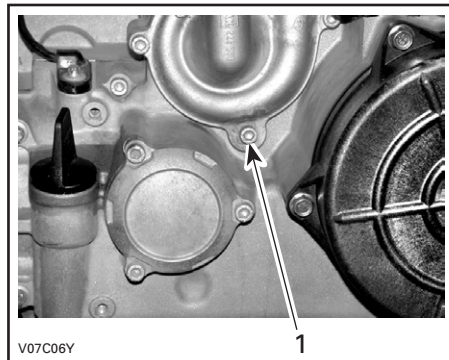
アクセスパネルを開き、ラジエーターキャップを取り外します。



1. ラジエーターキャップ

車体の右側のエンジンカバーを取り外します。

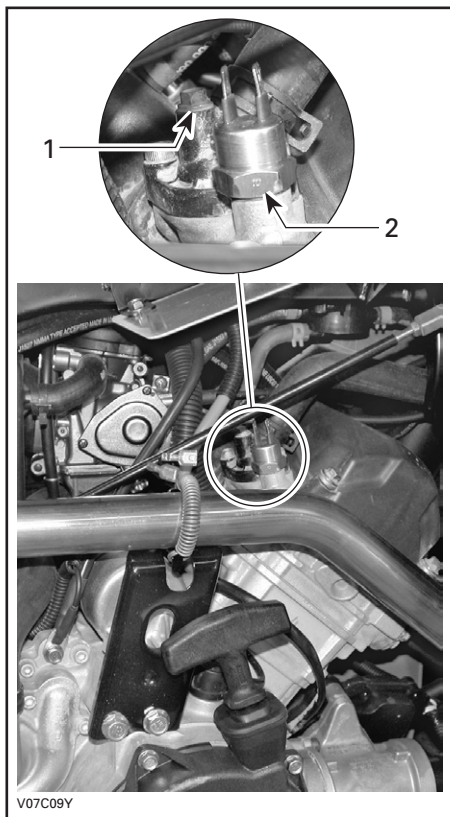
冷却液ドレンプラグをゆるめて、冷却液を適切な容器に排出させます。



1. 冷却液ドレンプラグ

注記: 冷却液ドレンプラグはゆるめて完全に取り外してはなりません。

エンジン温度センサーのコネクターを外して、サーモスタットハウジングの上部エア抜きスクリューをゆるめます。

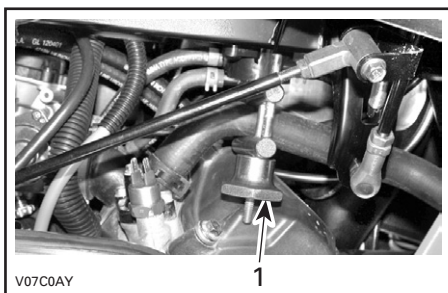


1. エアー抜きスクリュー
2. エンジン温度センサー

冷却システムから冷却液を完全に排出させ、冷却液ドレンプラグを取り付けます。

大型のホースピンチャ（P/N 529 032 500）が同等品を使用してください。

注意: ホースを挟むのにバイスグリッププライヤーを使用してはなりません。



1. ホースピンチャ

サーモスタットハウジング穴から冷却液が出てくるまで、ラジエーターに冷却液を補充します。エア抜きスクリューを取り付けて、ホースピンチャを取り外します。

ラジエーターに冷却液を完全に補充します。

クーラントリザーバーでレベルをチェックし、必要により再度補充します。

ラジエーターキャップを外した状態で、エンジンをアイドルで運転します。必要に応じて、冷却液をラジエーターに徐々に追加してください。

この時点で、エンジンが通常の運転温度に達するまで待機してください。

2、3 回ソフトルレバーを押下げて、必要に応じて冷却液を追加します。

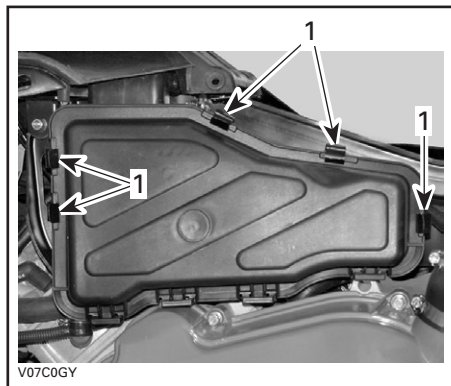
ラジエーターキャップを取り付けます。漏れがないかすべての接続部を点検し、リザーバーの冷却液レベルをチェックします。

エアフィルター

取り外し

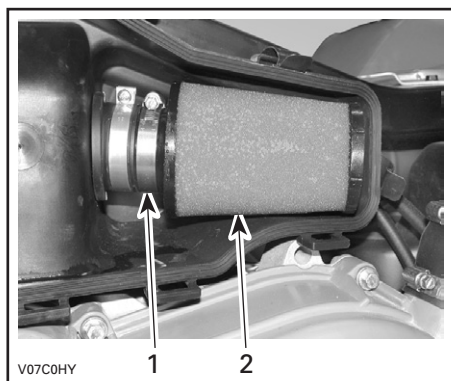
注意: エアボックス内の部品の取り外し、あるいは改造を行ってはなりません。取り外し、あるいは改造を行うと、エンジン性能が低下したり、エンジンが損傷する可能性があります。エンジンは、これらの部品により厳密に動作するように調整されています。

シートを取り外します。
クランプをゆるめて、エアーフィルターハウジングカバーを取り外します。



1. クランプを解放します

クランプをゆるめて、エアーフィルターを取り外します。



1. クランプ
2. エアーフィルター

清掃

クリーニング剤(P/N 219 700 341) または同等品をバケツに入れます。フィルターをバケツの中に浸します。

フィルターを浸している間に、エアボックスの内側を清掃します。

洗浄液が完全にとれるまで、フィルターを温水ですすぎます。

次に、フィルターを完全に乾かします。

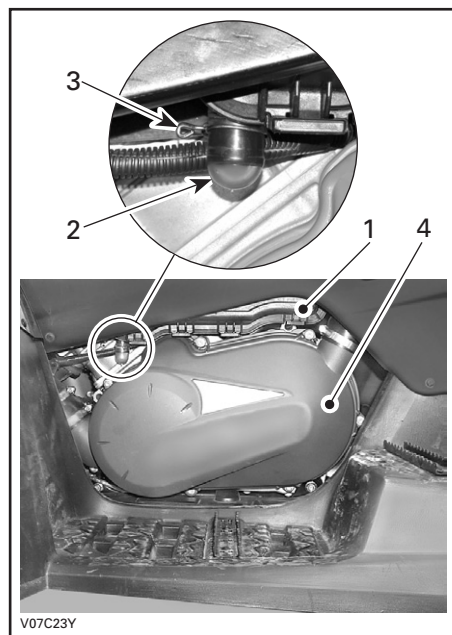
フィルターが乾いたとき、エアーフィルターオイル(P/N 219 700 340) が同等品を使用してください。

取り付け

取り外した部品を、取り外しの手順とは逆の順序で取り付けます。

エアボックスドレン

エアボックスドレンチューブに液体や堆積物がないことを定期的に点検してください。



代表的な例

1. エアボックス
2. ドレンチューブ
3. クランプ
4. CVTカバー

注記: ほこりのある場所でATVを使用する場合、メンテナンスチャートの指示より頻繁に点検してください。

液体/堆積物が見付かった場合、クランプを握って外しますドレンチューブを引き出して、内部を除去します。

注意: ドレンチューブに液体/堆積物が見付かった場合、エンジンを始動しないでください。

液体/堆積物が見付かった場合、状態に応じてエアフィルターを点検/乾燥/交換します。

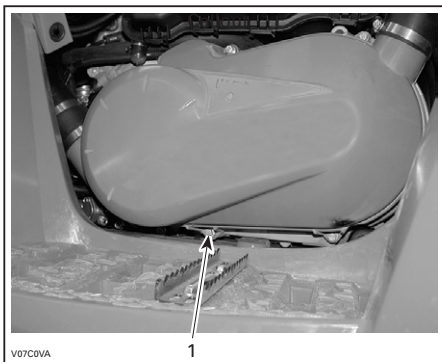
前述のように、エアフィルターを取り外します。

ドライブベルト

ドライブベルトの幅とコンデイションの点検については、Can-Am 正規ディーラーにご相談ください。

CVT カバードレンスクリュー

CVT カバーに水が入ったと思われるときは、ドレンスクリューを取り外して CVT ハウジングから排出してください。



LH 側
1. ドレンスクリュー

バルブの調整

バルブの調整に関しては、Can-Am 正規ディーラーにお問い合わせください。

清掃が不十分なら、パワー不足やバルブの損傷を引き起こすおそれがあります。清掃のやり過ぎは、雑音につながります。

スパークアレスター

マフラー内に堆積しているカーボン定期的に取り除いてください。

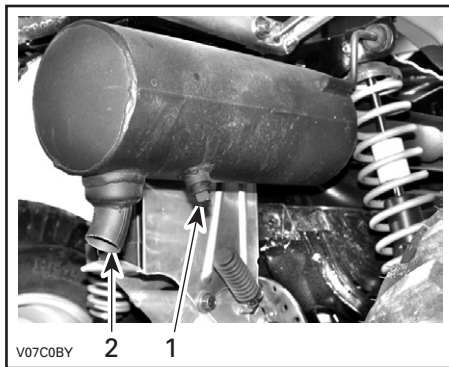
警告

密閉された場所でエンジンを運転させてはなりません。走行の直後、エキゾーストシステムは高温になっています。十分に冷却させてから作業を開始してください。作業場所に可燃物がないことを確認してください。保護ゴーグルとグローブを着用してください。排気システムをパージしているときは、車両の後部に立ってはなりません。適用される法律および規制を遵守してください。

十分に換気された場所を選択し、マフラーが冷めていることを確認してください。

トランスミッションレバーを PARK 位置にします。

マフラーのクリーンアウトプラグを取り外します。



1. クリーンアウトプラグ
2. マフラー

マフラーの端部をウエスで塞ぎ、エンジンを始動します。

エンジン回転数を数回瞬間的に上昇させて、堆積していたカーボンをマフラーから排出させます。

エンジンを停止し、マフラーを冷まします。

クリーンアウトプラグを取り付けます。

ラジエーター

定期的なラジエーター部分が清浄であることをチェックしてください。



vmo2006-016-007_a

代表的な例

1. ラジエーター

ラジエーターフィンが汚れていないかを点検します。ラジエーターフィンは、つねに清潔に保ち、泥、ほこり、枯葉などの異物が堆積することのないようにします。異物はラジエーターの冷却性能を低下させます。

ラジエーターに堆積している異物を、手でいねいに取り除きます。可能であれば、ラジエーターフィンを水洗いしてください。

ガーデンホースでフィンに水をあけると効率良く洗浄できます。

注意: ラジエーターフィンを清掃するときは、フィンに損傷を与えないように注意してください。清掃の際にはフィンを傷つけるような道具を使用してはなりません。ラジエーターのフィンは、冷却性能を向上させるために薄く作られているので、非常にデリケートです。ホースで水をかける場合は、水圧を低く保つようにしてください。

冷却システムの性能点検については、Can-Am 正規ディーラーにご相談ください。

警告

ラジエーターが熱いとき、手で清掃してはなりません。清掃する前に十分に冷却させてください。

キャブレタ

年毎の燃料システムの点検と清掃については、Can-Am 正規ディーラーにご相談ください。

燃料システム

スロットルケーブルの潤滑

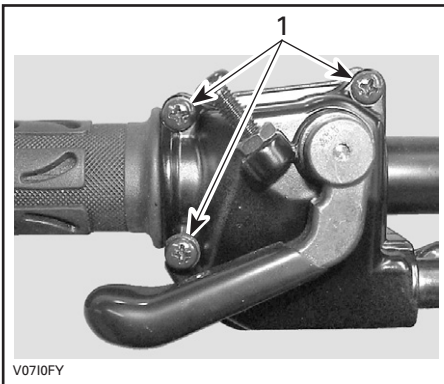
潤滑

スロットルケーブルは、ケーブル潤滑剤(P/N 293 600 041)が同等品を使用してください。

⚠ 警告

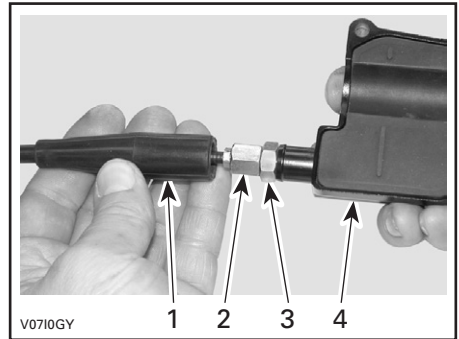
必ずシリコンベースの潤滑剤を使用してください。別の潤滑剤（水性の潤滑剤など）を使用すると、スロットルレバー/ケーブルが固着したり、硬直する可能性があります。

スロットルレバーハウジングを開けます。



1. 各スクリューを取り外します

ハウジングを分離します。ラバープロテクターをスライドさせて戻し、スロットルケーブルアジャスターを露出させます。

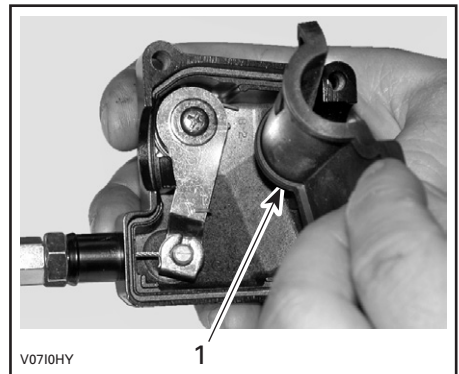


1. ケーブルプロテクター
2. スロットルケーブルアジャスター
3. ロックナット
4. スロットルレバーハウジング

スロットルケーブルアジャスターにねじ込みます。

取り外し:

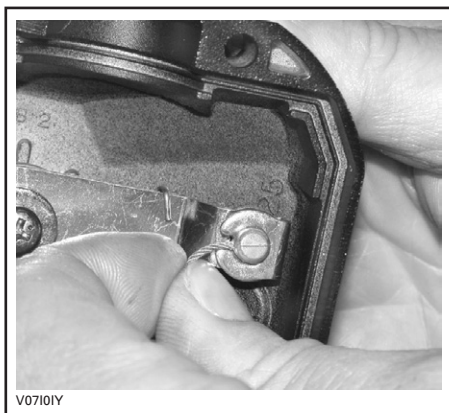
- インナーハウジングプロテクターを取り外します



1. インナーハウジングプロテクター

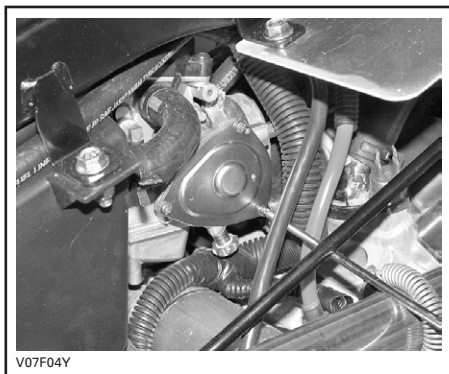
- スロットルレバーハウジングからケーブルを取り外します。

注記: クリップの溝のケーブルをスライドさせ、クリップからケーブルの端を取り外します。



V07101Y

キャブレタサイドカバーを取り外します。



V07F04Y

潤滑剤の缶の管をスロットルケーブルアジャスターの端部に挿入します。

警告

ケーブルを潤滑するときに、必ず保護ゴーグルとグローブを着用してください。



V0710JY

注記: スロットルケーブルアジャスターの周囲をウエスで覆い、潤滑剤が飛ばないようにしてください。

スロットルケーブルのキャブレタ側の端から潤滑剤が出てくるまで、潤滑剤を追加します。

ケーブルを取り付けて調整します。

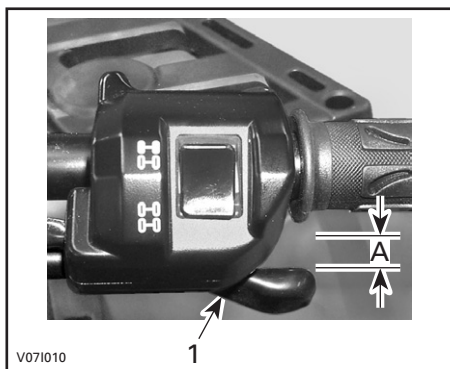
スロットルレバーの調整

ラバープロテクターをスライドさせて戻し、スロットルケーブルアジャスターを露出させます。

ロックナットをゆるめてアジャスターを回し、スロットルレバーの遊びを正しく調整してください。

注記: スロットルの遊びは、スロットルレバーの先端で測定してください。

ロックナットを締め付けて、プロテクターを取り付けてください。



1. スロットルレバー

A. 3 ~ 6 mm (1/8 ~ 7/32 in)

トランスミッションレバーを PARK 位置にして、エンジンを始動します。ハンドルバーを左右にいっぱいまで回転させ、スロットルケーブルが正しく調整されているかどうかを確認してください。エンジン回転数が高くなった場合は、スロットルレバーの遊びをもう一度調整してください。

電気システム

⚠ 警告

特に指示がない限り、電気システムのメンテナンスまたは修理を行う前に、必ずイグニッションスイッチをOFF位置に回してください。

スパークプラグ

取り外し

スパークプラグケーブルを取り外します。

スパークプラグを1回転だけゆるめます。

可能な場合は、スパークプラグとシリンダーヘッドを圧縮空気を使って清掃してください。

⚠ 警告

圧縮空気を使用するときは、必ず保護ゴーグルを着用してください。

スパークプラグを完全にゆるめて取り外します。

取り付け

エアフィルタースパークプラグを取り付ける前に、シリンダーヘッドとスパークプラグの接触面に汚れがないことを確認してください。

フィラーゲージを使って、スパークプラグのギャップを0.7から0.8 mm (0.028 から 0.032 in) に設定してください。

スパークプラグのねじに固着防止潤滑剤を塗布して、焼き付きを防止してください。

スパークプラグをシリンダーヘッドに手でねじ込み、トルクレンチと適切なソケットを使って締め付けます。

スパークプラグを20 N・m (15 lbf・ft) のトルクで締め付けます。

バッテリー

⚠ 警告

車両に取り付けた状態でバッテリーを充電してはなりません。

取り外し

黒の (-) ケーブルを最初に外し、次に赤の (+) ケーブルを外します。

⚠ 警告

バッテリーケーブルを取り外す場合は、必ずこの順序を守ってください。黒 (-) ケーブルを必ず先に取り外します。

固定ストラップを取り外し、バッテリーをフレームから取り出します。



代表的な例

1. バッテリー
2. 固定ストラップ

清掃

重曹の水溶液を使って、バッテリー、バッテリーケーシング、バッテリーポストを清掃します。

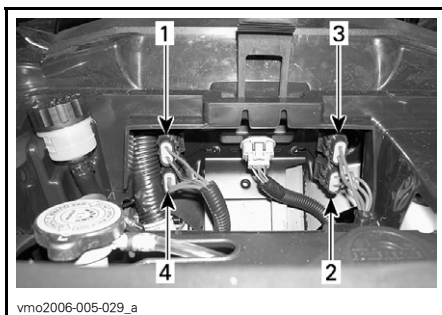
硬いワイヤブラシを使って、バッテリーケーブルターミナルとバッテリーポストから腐食を取り除きます。バッテリーケーシングは、軟らかいブラシと重曹の水溶液で清掃する必要があります。

取り付け

バッテリーを車両に取り付けます。

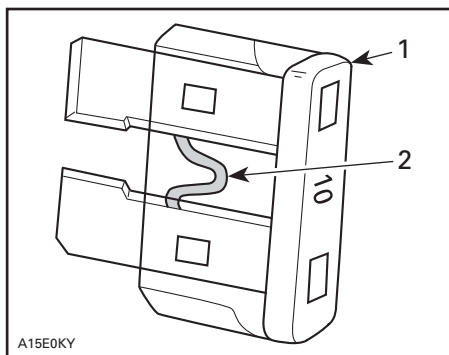
⚠ 警告

赤の (+) ケーブルを最初に接続し、次に黒の (-) ケーブルを接続します。必ず赤の (+) ケーブルを最初に接続してください。



1. アクセサリ (15 A) (電源アウトレットと補助装置)
2. ファン (20 A)
3. メイン (30 A)
4. 充電システム (20 A)

ホルダーからヒューズを取り外すには、ヒューズホルダーカバーを取り外して、ヒューズを取り出します。ヒューズのフィラメントが溶けていないかどうかをチェックしてください。



代表的な例

1. ヒューズ
2. 溶けていないかどうかをチェックしてください

バルブの交換

⚠ 警告

切れたバルブを交換する前に、必ずイグニッションスイッチを OFF 位置にしてください。

バルブを交換したあとは、必ずライトが点灯するかを確認してください。

ヒューズ

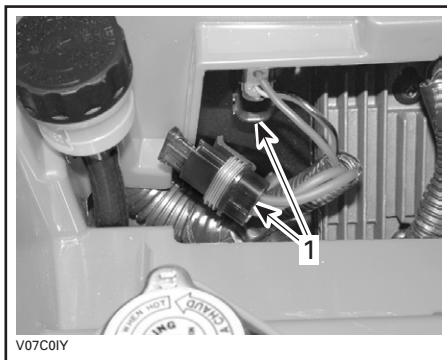
⚠ 警告

切れたヒューズを交換する前に、必ずイグニッションスイッチを OFF 位置にしてください。

ヒューズが損傷した場合は、同じ定格のものに交換してください。

注意: 規定よりも高い定格のヒューズを使用してはなりません。重大な損傷を招く可能性があります。

ヒューズはサービスコンパートメント内にあります。



代表的な例

1. ヒューズホルダー

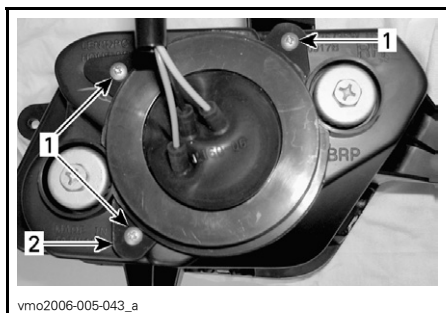
ヘッドランプ

注意: ハロゲンバルブのガラス部分に素手で直接触ってはいけません。バルブの寿命が短くなります。万一触ってしまった場合は、イソプロピルアルコールで拭いてください。イソプロピルアルコールは完全に蒸発するので、バルブの表面に薄膜を残しません。

次の手順で、ヘッドランプバルブを交換してください。

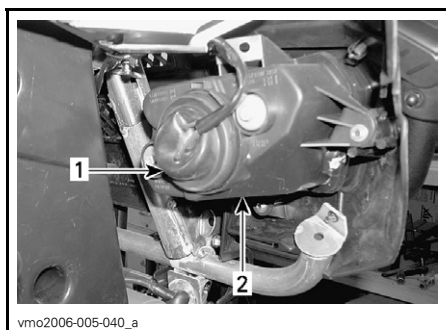
注記: 次の図では、わかりやすくするためヘッドランプが取り外されています。

ラバーホルダースクリーンを取り外します。



1. スクリュー
2. ホルダー

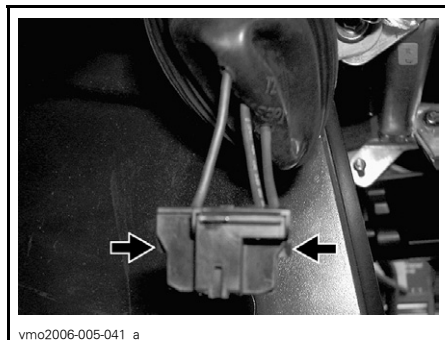
ヘッドランプハウジング上のラバープロテクターを外します。



1. ラバープロテクター
2. ヘッドランプハウジング

ヘッドランプからコネクタのプラグを抜きます。

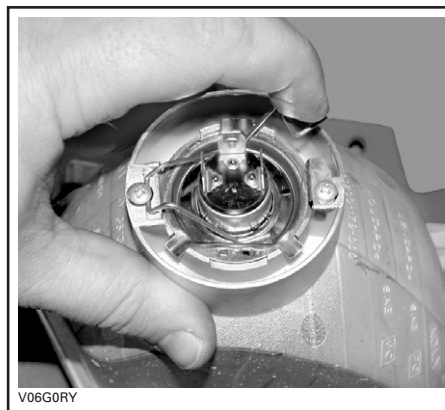
注記: 小さなロッキングタブを使用してコネクタをロック解除してから、コネクタを引きます。



ロッキングタブを押してコネクタをロック解除する

注記: 次の図では、わかりやすくするためフロントのダッシュボードが取り外されています。

スピンドルを押して、サイドを押して、ヘッドランプバルブをロック解除します。



代表的な例

スピンドルを持ち上げてから、バルブを外します。



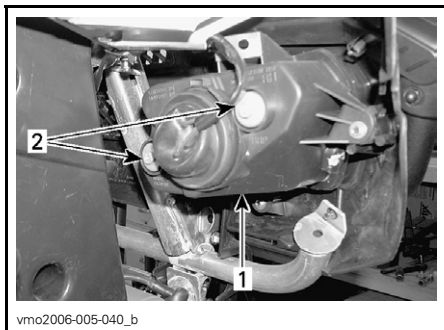
代表的な例

取り外した部品を、取り外しの手順とは逆の順序で取り付けます。

光軸調整

以下の手順に従って、光軸を調整してください。

ノブを回して、光軸高さと同方向の向きをお好みの位置に調整してください。両方のヘッドランプを均等に調整してください。



1. ヘッドランプカバー
2. 調整用スクリュー

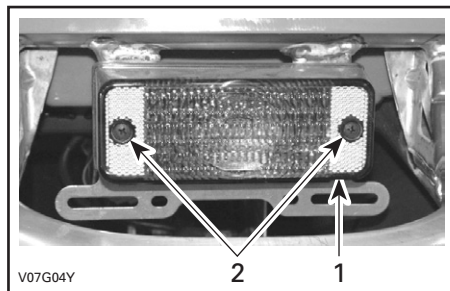
この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください



指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

テールランプ

スクリューをゆるめてレンズを外し、バルブを露出させてください。



1. レンズ
2. スクリュー

バルブを押し込んでそのまま反時計方向に回して、外してください。

新しいバルブを押し込み、次に時計方向に回して取り付けてください。

スピードメーター

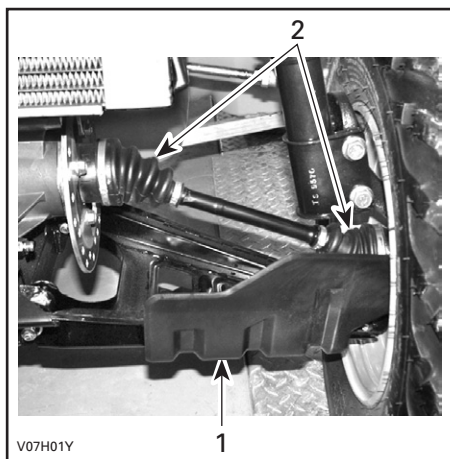
スピードメーターはLEDで点灯されます。LEDの1つが切れた場合は、スピードメーターを交換してください。LEDは個別に入手することはできません。

ドライブトレイン

ドライブシャフトブーツ / プロテクター

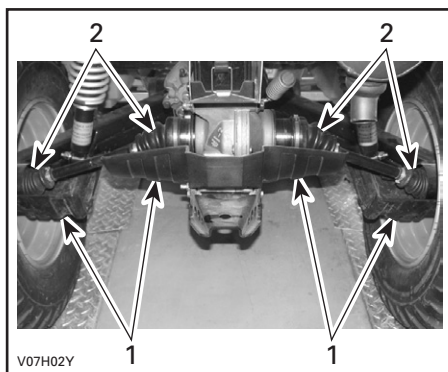
点検

ドライブシャフトプロテクターとブーツのコンディションを目視で点検してください。プロテクターが損傷していないかまたはシャフトと接触していないかをチェックしてください。ブーツの亀裂、破れ、グリス漏れがないかどうかをチェックしてください。必要に応じて、損傷した部品を交換してください。



車両のフロント側

1. ドライブシャフトプロテクター
2. ドライブシャフトブーツ



車両のリア側

1. ドライブシャフトプロテクター
2. ドライブシャフトブーツ

ホイール

ホイールナットは、時々取り外して固着防止潤滑剤を塗布し、将来取り外しやすいようにする必要があります。これは、車両を塩水環境やぬかるみで使用する場合に特に重要です。一度に1つのナットを取り外し、潤滑剤を塗布してから締め付けてください。

ホイールベアリングのコンディション

ホイールの上端を持って押したり引いたりして、遊びがないかを確認してください。遊びが認められる場合は、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

タイヤ圧力

警告

タイヤ空気圧は、車両のハンドリングおよび安定性に大きく影響します。低すぎると、タイヤが張力を失い、ホイールの上で回ってしまう可能性があります。また、高すぎると、タイヤがバーストしてしまう可能性があります。つねに推奨空気圧を維持してください。このタイヤは低圧タイヤなので、空気をいれるときには手動ポンプを使用してください。

タイヤ空気圧のチェックは、車両に乗る前のタイヤ温度が“上昇していない”ときに行ってください。タイヤ空気圧は、気温あるいは標高に応じて変化します。これらのコンディションの1つでも変化したら、再チェックしてください。

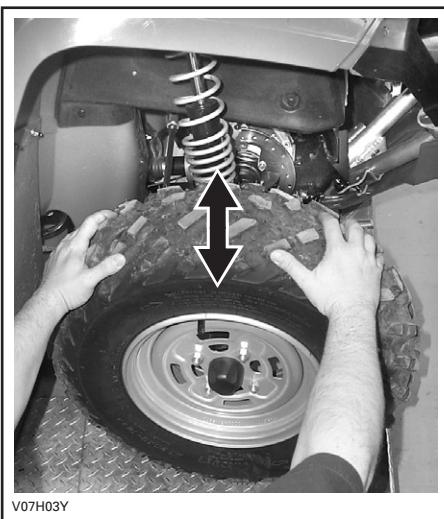
ツールボックスに空気圧ゲージが入っています。

タイヤ圧力

		フロント	リア
最大 235 kg (517 lb)	最大	34 kPa (5 PSI)	34 kPa (5 PSI)
	最小	31 kPa (4.5 PSI)	31 kPa (4.5 PSI)

このタイヤはオフロード専用に設計されたものですが、それでもパンクは起こり得ます。タイヤポンプとパンク修理キットを携帯されることをお奨めします。

タイヤ / ホイールのコンディション
タイヤに損傷あるいは磨耗が認められないかをチェックします。必要に応じて交換してください。



V07H03Y

タイヤ / ホイール

警告

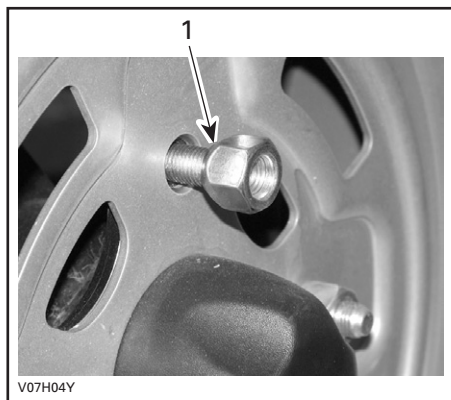
タイヤを交換する場合は、ラジアルタイヤと一緒にバイアスタイヤを取り付けはなりません。このような組み合わせでは、ハンドリングまたは安定性あるいはその両方で問題が発生する可能性があります。サイズやデザインが異なるタイヤを同じアクスルで組み合わせて使うはなりません。フロントタイヤとリアタイヤのペアは同じモデルとメーカーでなければなりません。一方向トレッドパターンの場合、タイヤが正しい回転方向で取り付けられていることを確認してください。ラジアルタイヤは、完全なセットで取り付けなければなりません。これらの注意が守られていないと、重大なケガや死亡事故の原因になることがあります。

タイヤのローテーションを行ってはなりません。フロントとリアとではサイズが異なっています。タイヤには回転方向が指定されており、これを守らない場合は、操縦性が損なわれます。

ホイールの取り外し

まずナットをゆるめ、それから車両をリフトしてください。車両の下にサポートを置きます。ナットを外し、ホイールを取り外してください。

ホイールを取り付けるときには、ねじに固着防止潤滑剤を塗布することをお奨めします。ナットは対角線状の順番に徐々に締め込んでいき、最終的には70 N•m (52 lbf•ft)のトルクで締め付けます。



代表的な例

1. ナットのテーバー側

注意: 必ず推奨ホイールナット (P/N 250 100 039) を使用してください。別のナットを使用すると、リムが損傷する可能性があります。

サスペンション

潤滑

フロント A アームを潤滑してください。サスペンション用化学合成グリース(P/N 293 550 033)が同等品を使用してください。各 A アームに 2 個のグリースフィッティングがあります。

点検

フロントサスペンション

マクファーソンストラットを点検し、オイル漏れやねじ類の締め具合を確認してください。ねじ類がしっかりと締まっていることをチェックしてください。必要に応じて、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

リアサスペンション

ショックアブソーバーを点検して、オイル漏れやねじ類の締め具合を確認してください。ねじ類がしっかりと締まっていることをチェックしてください。必要に応じて、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

トレーリングアーム

トレーリングアームの変形、亀裂、曲がりがないことを確認してください。問題が見つかった場合は、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

A-アーム

A アームの亀裂、曲がり、損傷がないことを確認してください。必要に応じて、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

調整

リアショック

警告

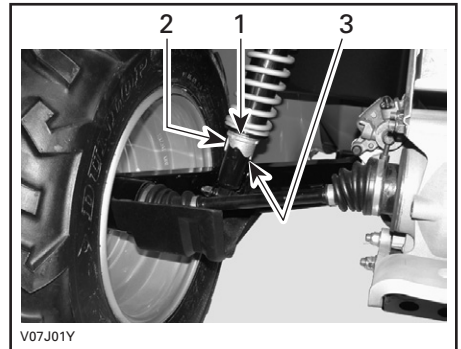
左右の調整カムが必ず同じ位置に設定されていなければなりません。片方のカムだけを調整してはなりません。調整が均一でないと、ハンドリングが悪化して安定性が失われ、事故が発生する危険性が増大します。

プリロードの調整

ATV のツールボックスにある調整レンチを使って、調整カムを状況に合わせて回転させ、プリロードを調整します。

乗り心地が固めにする場合やラフロード向きの場合、荷物を運搬したり、トレーラーを牽引する場合は、調整カムを時計方向に回します。

軽荷重の場合や路面がスムーズな場合は、調整カムを反時計方向に回します。



1. 調整カム
2. スムーズ調整
3. 固めの調整

ブレーキ

フロントおよびリアブレーキ

フロントブレーキ、リアブレーキ共に、油圧式ディスクブレーキです。このブレーキはセルフアジャストタイプなので、調整は不要です。

ブレーキレバーとブレーキペダルは調整する必要がありません。

次の点をチェックして、ブレーキを良好な状態に維持してください。

- ブレーキシステムからのオイル漏れ
- ブレーキの効き具合があまい感じがする
- ブレーキディスクの磨耗と表面の状態
- ブレーキパッドの磨耗、損傷、ゆるみ

使用限界値	
ブレーキパッドの厚み	1 mm (.040 in)
フロントディスクの厚み	3.5 mm (.138 in)
リアディスクの厚み	4.3 mm (.170 in)
ディスクの反りの最大値	0.2 mm (.010 in)

ブレーキシステムで問題が見つかった場合は、Can-Am 正規ディーラーにご相談ください。

ブレーキオイルの交換



警告

ブレーキオイルの交換やブレーキシステムの修理は、Can-Am 正規ディーラーにご依頼ください。

ボディ / フレーム

エンジン周辺

エンジン周辺に損傷あるいは漏れがないかをチェックしてください。ホースのクランプがすべてしっかりと締まっているか、ホースに亀裂、折れ、損傷がないかを確認してください。

マフラー、バッテリー、リザーバーなどの固定具を点検してください。

電気部品の接続部に腐食あるいはゆるみがないかをチェックしてください。

損傷が認められるパーツは、交換あるいは修理してください。

ヒッチ / トレーラーボールのコンディション

トレーラーボールの固定具の締め付け具合やトレーラーボールのゆるみがないこと / コンディションを確認してください。必要に応じてボールをしっかり締め付け、ボールが磨耗している場合は交換してください。

シャーシのねじ類

車両のねじ類の状態と締め付け具合をチェックしてください。必要に応じて、締め付けてください。

シートファスナー

シートまたストレージボックスを取り外し、ラッチ機構とピンに磨耗がないことをチェックしてください。パーツが損傷している場合は、交換について、Can-Am 正規ディーラーにお問い合わせください。

車両の清掃と保護

ATV を洗浄するときに、高圧洗浄機を使用してはなりません。水圧を低めて使用してください（散水用ホースのように）。高圧の水は電気や機械系統の損傷につながる可能性があります。

塗装パーツに損傷がある場合は、錆を防ぐために適切な再塗装が必要です。

必要に応じて、ボディを湯と石鹸で洗浄してください（必ず中性洗剤を使用してください）。研磨材を含有していないワックスを使用してください。

注意: プラスチックパーツを、強力な洗剤、脱脂剤、シンナー、アセトンなどで洗浄してはなりません。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください



警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

保管、シーズン前の準備

警告

「メンテナンスチャート」で指定されているように、Can-Am 正規ディーラーで燃料システムが正しく機能しているかどうかの点検を受けてください。

1 カ月以上運転しない場合は、適切な保管手順を取ることが必要です。

適切な手順については、最寄りの Can-Am 正規ディストリビューター / デイラーにお問い合わせください。

保管の后再使用するときには、準備が必要です。適切な手順については、最寄りの Can-Am 正規ディストリビューター / デイラーにお問い合わせください。

保証

BRP 北米限定保証:2007 CAN-AM™ ATV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (“BRP”) は、2007 Can-Am ATV の材料あるいは製造上の欠陥について以下の期間および条件により保証します。

これ以降で定義されているCan-Am 正規ディストリビューター / デイラーによって取り付けられたすべての Can-Am ATV 純正部品とアクセサリーは、2007 Can-Am ATV が納入される際にCan-Am ATV の保証と同じ保証が適用されます。

2007 Outlander™ 400 XT、Outlander 400 XT Max、Outlander 500 XT、Outlander 500 XT Max、Outlander 650 HO EFI XT、Outlander 650 HO EFI XT Max、Outlander 800 XT、Outlander 800 XT Max Can-Am ATV に Carlisle[†] タイヤを初めに装備している場合、タイヤはタイヤ製造業者によって独自に保証を受けます。そのようなタイヤが Can-Am ATV に取り付けられている場合、保証適用情報と援助について製造業者に相談するか、Can-Am 正規ディーラーにお尋ねください。

Carlisle Tire & Wheel Company (特定の 2007 Outlander 400 XT、Outlander 400 XT Max、Outlander 500 XT、Outlander 500 XT Max、Outlander 650 HO EFI XT、Outlander 650 HO EFI XT Max、Outlander 800 XT、Outlander 800 XT Max Can-Am ATV)、

23 Windham Boulevard,
Aiken, SC 29805.

保証情報:

米国 1 800 260-7959

カナダ 1 800 265-6155

ケベック 1 (877) 997-4999

2007 Outlander 400 XT、Outlander 400 XT Max、Outlander 500 XT、Outlander 500 XT Max、Outlander 650 HO EFI XT、Outlander 650 HO EFI XT Max、Outlander 800 XT、Outlander 800 XT Max Can-Am ATV に別のメーカーのタイヤが初めに装備されている場合、タイヤはタイヤ製造業者ではなく、BRP によって直接保証を受けます。

この製品を一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合は、以前の所有者による行為である場合も含めて、この保証は無効になります。

2) 保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です：

個人使用または業務用の使用者に対して 6 カ月間。

下のチャートに含まれる、米国で登録された EPA 認定の Can-Am ATV' に取り付けられた排出ガス制御を操作する排出ガス関連コンポーネント（下記のリストを参照）は、連続する 30 ヶ月間適用されます。

EPA 認定 Can-Am ATV' は、次を装備しています:400 (Outlander)、500 (Outlander)、650 HO EFI (Outlander)、800 (Outlander) エンジン:

排出ガス関連コンポーネント	400	500/650 HO EFI/800
キャブレタ	X	
キャブレタエアインテークアダプター-N	X	
エンジンエアインテークアダプター	X	
燃料ポンプ	X	
イグニッションコイル	X	
TPS (スロットルポジションセンサー)		X
TMAPS (気温およびマニホールド気圧センサー)		X
燃圧レギュレータ		X
燃料インジェクター		X
ECM (エンジン制御モジュール)		X
クランクケースベンチレーションシステム		X
シリンダーヘッドガスケット		X
インテークランナーシール		X

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

3) 保証対象を維持するための条件

この保証対象は、販売された国にある Can-Am ATV 製品を販売することを許可された Can-Am デイラー (“Can-Am ATV デイラー”) から最初の所有者により新品かつ未使用として購入され、BRP が指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成した 2007 Can-Am ATV だけに適用されます。保証対象は、Can-Am 正規ディーラーによって製品が正しく登録された場合のみご利用可能になります。さらに、この保証対象は、購入者が居住する国で Can-Am ATV が購入された場合のみご利用できます。BRP は、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRP が製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

保証対象を維持するには、『オペレーター・ガイド』で説明されている定期メンテナンスを適時に実施する必要があります。BRP は、適切なメンテナンスの証明を保証対象の条件とする権利を保有します。

4) 保証を受けるには

お客様は欠陥の発現から2日以内に、整備を行う Can-Am ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、保証修理を行うためには、Can-Am ディーラーに製品の購入証明を提示し、修理開始前に修理 / 作業注文書にサインしなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべて BRP の所有となります。

5) BRP が実施する保証

この保証の下での BRP の義務は、Can-Am 正規ディーラーにて、BRP 自身の判断により、通常の使用、メンテナンス、サービス中に見つかった部品の修理、あるいは新品の Can-Am ATV 純正パーツへの交換を部品代および工賃を無償で行うことに限定されます。

BRP は、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

6) 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

以下は保証対象ではありません:

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整;
- 『オペレーター・ガイド』に示されている適正なメンテナンス / 保管を怠ったために発生した損害;
- 不適切な修理、改造、純正でない部品の使用、Can-Am 正規ディーラー以外の業者による修理によって発生した損害;
- 誤用、乱用、過失、または Can-Am ATV 『オペレーター・ガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害;
- 事故、火災、盗難、破損行為、その他の災害によって発生した損害;
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転 (『オペレーター・ガイド』を参照);
- 水または雪の吸い込み;
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それらのみに限定されないその種の損害。

7) 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含めながら、それらのみには限定されない明示的または黙示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらはあなたには適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

Can-Am デイラー、またはその他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にも BRP に対する強制力はありません。

BRP は、この保証をいつでも変更できる権利を有します。しかしながら、変更があった場合でも、この保証の適用期間中に販売された Bombardier ATV に適用される保証条件が変わることはありません。

8) 譲渡

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、以下のような方法で所有権の移転が BRP に通知されることを条件に、残りの保証期間の間も有効となります：

- a) 旧所有者が BRP (下記の電話番号) または正規 Can-Am デイラーへ連絡し、新しい所有者の連絡先を知らせる；
- b) BRP または正規 Can-Am デイラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領する。

9) 消費者支援

- a) 本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。正規ディーラーのサービスマネージャーあるいは店主と話し合われるようお願い申し上げます。
- b) さらに支援が必要な場合は、問題の解決を図るためディストリビューターのサービス部門と連絡を取ってください。

カナダ

BOMBARDIER RECREATIONAL
PRODUCTS INC.
CAN-AM ATV
CONSUMER SERVICES GROUP
VALCOURT QC J0E 2L0
電話: (819) 566-3366

米国

BRP US Inc.
CAN-AM ATV
CONSUMER SERVICES GROUP
7575 BOMBARDIER COURT
WAUSAU WI 54401
電話: (715) 848-4957

* 米国内では、製品の流通とサービスは BRP US Inc が行います。

© 2006 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

® Bombardier Recreational Products Inc および子会社の登録商標および™ 登録商標です。

† Carlisle は Carlisle Tire & Wheel Company の商標です。

BRP 国際限定保証:2007 CAN-AM™ ATV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (“BRP”) は、2007 Can-Am ATV の材料あるいは製造上の欠陥について以下の期間および条件により保証します。

これ以降で定義されている Can-Am 正規ディストリビューター / ディーラーによって取り付けられたすべての Can-Am ATV 純正部品とアクセサリーは、2007 Can-Am ATV が納入される際に Can-Am ATV の保証と同じ保証が適用されます。

BRP は、特定の 2007 Can-Am ATV に GPS レシーバーを標準装備として提供します。GPS レシーバーには、GPS レシーバー製造業者の限定保証が適用され、本限定保証は適用されません。

レースや他の競技用製品をいずれかの時点で装着した場合は、前の所有者が装着した場合でも、保証が無効になります。

2) 保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です：

個人使用または業務用の使用者に対して 6 カ月間。有効な保証期間は、適用される現行の国または地域の法律によって異なることに留意してください。¹ 保証期間の詳細については、ディストリビューターかディーラーにお尋ねください。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

3) 保証対象を維持するための条件

この保証対象は、販売された国にある Can-Am ATV 製品を販売することを許可された Can-Am ディストリビューター / ディーラー (“Can-Am ディストリビューター / ディーラー”) から最初の所有者により新品かつ未使用として購入され、BRP が指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成した 2007 Can-Am ATV だけに適用されます。保証対象は、Can-Am 正規ディストリビューター / ディーラーによって製品が正しく登録された場合のみご利用可能になります。さらに、この保証対象は、購入者が居住する国で Can-Am ATV が購入された場合のみご利用できます。BRP は、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRP が製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

保証対象を維持するには、『オペレーター・ガイド』で説明されている定期メンテナンスを適時に実施する必要があります。BRP は、適切なメンテナンスの証明を保証対象の条件とする権利を保有します。

¹ EU 加盟国では保証期間は車両の納入日から 24 ヶ月であり、欠陥通知期間は 2 ヶ月です；保証の他の条件は、消費財の販売に適用される関連する法令に従います。

4) 保証を受けるには

お客様は、欠陥の出現から 2 日以内にサービスを行う Can-Am ディストリビューター / デイラーに知らせて、¹ 製品に対する妥当なアクセスと修理のための妥当な機会を提供しなければなりません。また、保証修理を行うためには、Can-Am ディストリビューター / デイラーに製品の購入証明を提示し、修理開始前に修理 / 作業注文書にサインしなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべて BRP の所有となります。

5) BRP が実施する保証

この保証の下での BRP の義務は、Can-Am 正規ディストリビューター / デイラーにて、BRP 自身の判断により、通常の使用、メンテナンス、サービス中に見つかった部品の修理、あるいは新品の Can-Am ATV 純正パーツへの交換を部品代および工賃を無償で行うことに限定されます。

BRP は、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

6) 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

以下は保証対象ではありません:

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整;
- 『オペレーター・ガイド』に示されている適正なメンテナンス / 保管を怠ったために発生した損害;
- 不適切な修理、改造、純正でない部品の使用、Can-Am 正規ディストリビューター / デイラー以外の業者による修理によって発生した損害;
- 誤用、乱用、過失、または 『オペレーター・ガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害;
- 事故、火災、盗難、破損行為、その他の災害によって発生した損害;
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転 (『オペレーター・ガイド』を参照);
- 水または雪の吸い込み;
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それらだけに限定されないその種の損害。

¹ EU 加盟国では保証期間は車両の納入日から 24 ヶ月であり、欠陥通知期間は 2 ヶ月です; 保証の他の条件は、消費財の販売に適用される関連する法令に従います。

7) 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含めながら、それらのみには限定されない明示的または黙示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それがあなたにも適用される可能性があります。この保証は、お客様に特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、BRP 正規ディーラー、そしていかなる個人も、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を、BRP あるいはその他の個人に対して行ってはならず、万一行った場合、それらの内容は BRP に対して強制できるものではありません。

BRP は、この保証をいつでも変更できる権利を有します。しかしながら、変更があった場合でも、この保証の適用期間中に販売された Bombardier ATV に適用される保証条件が変わることはありません。

8) 譲渡

保証期間中に製品が譲渡される場合は、本保証も譲渡されるものとし、新しい所有者の連絡先情報に加えて所有権移転の証明書を BRP または Can-Am ディストリビューター / ディーラーが受領することを条件として、保証の残りの期間が有効になります。

9) 消費者支援

- a) 本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。正規ディーラーのサービスマネージャーあるいは店主と話し合われるようお願い申し上げます。
- b) さらに支援が必要な場合は、ディストリビューターのサービス部門にご相談ください。ディストリビューターの連絡先を www.brp.com でご覧になれます。
- c) それでも解決できない場合は、問題の内容を書面にして、下記に提出してください。

ヨーロッパ、中東、アフリカ、ロシアおよび CIS の方々は、ヨーロッパオフィスまでご連絡ください:

BRP Europe N.V.
Consumer Service Center
Skaldenstraat 125
9042 Gent
Belgium
Tel: +32 9 218 26 00

北欧諸国の方々は、フィンランドオフィスまでご連絡ください:

BRP Finland Oy
Service Department
Ahjotie 30
FIN-96320 Rovaniemi
Finland
Tel: +358163208111

上記以外の国の方々は、北米オフィスまでご連絡ください:

Bombardier Recreational Products Inc.
Consumer Services Group
Valcourt QC J0E 2L0
Tel : +1-819-566-3366

プライバシーに関する情報

あなたのご連絡先情報は安全性の確保と保証のために使わせていただきます。お客様のご連絡先情報を利用して、当社製品のご案内やご提供情報を送らせていただくことがあります。このような当社製品、サービス、ご提供に関する情報を希望されない場合は、下記まで書面にてお知らせください。

また、厳選された信頼できる企業に対して、品質の高い製品とサービスの販売促進に役立てるため、お客様のご連絡先情報の利用を許可することがあります。あなたのお名前やご住所の開示を拒否される場合は、下記まで書面にてお知らせください。

カナダ:

Bombardier Recreational Products Inc.
Warranty Department
75 J.A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
Fax Number: (819) 566-3590

米国:

BRP US Inc.
Warranty Department
7575 Bombardier Court
Wausau WI 54401
Tel : (715) 848-4957

ヨーロッパ、中東、アフリカ、ロシアおよび CIS の方々は、ヨーロッパオフィスまでご連絡ください:

BRP European Distribution
After Sales Service Department
Chemin de Messidor 5-7
1006 Lausanne Switzerland
Fax Number: +41213187801

北欧諸国の方々は、フィンランドオフィスまでご連絡ください:

BRP Finland Oy
Service Department
Ahjotie 30
FIN-96320 Rovaniemi
Finland
Tel: +358163208111

上記以外の国の方々は、**A)** または **B)** までご連絡ください。

A) あなたのディストリビューター (連絡先は、www.brp.com で入手できます)

B) 北米オフィス:

Bombardier Recreational Products Inc.
75 J.A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
Fax Number: (819) 566-3590

住所と所有権の変更

お客様が住所を変更された場合または ATV の新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法で BRP に通知してください。

- 以下の宛先にカードを郵送する；
- 北米のみ:(715) 848-4957 (米国) または (819) 566-3366 (カナダ) へ電話する；
- Can-Am 正規ディーラーに通知する。

北米:

Bombardier Recreational Products Inc.
Warranty Department
75 J.A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
Canada

ヨーロッパ、中東、アフリカ、ロシアおよび CIS の方々は、ヨーロッパオフィスまでご連絡ください:

BRP European Distribution
After Sales Service Department
Chemin de Messidor 5-7
1006 Lausanne Switzerland
Fax Number: +41213187801

北欧諸国の方々は、フィンランドオフィスまでご連絡ください:

BRP Finland Oy
Service Department
Ahjotie 30
FIN-96320 Rovaniemi
Finland
Tel: +358163208111

上記以外の国の方々は、**A)** または **B)** までご連絡ください。

A) あなたのディストリビューター (連絡先は、www.brp.com で入手できます)

B) 北米オフィス:

Bombardier Recreational Products Inc.
75 J.A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
Fax Number: (819) 566-3590

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRP が必要に応じて ATV の所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後でも、BRP に通知することが重要です。BRP に通知するのは、所有者の責任です。

盗難に遭った場合: 万一お客様の ATV が盗難に遭ったときは、BRP または Can-Am 正規ディーラーにご連絡ください。お客様のお名前、ご住所、電話番号、車両登録番号、そして盗難の日付をお知らせください。



住所の変更

所有権の移転

車両登録番号

Grid for vehicle registration number input

モデル番号

車両登録番号 (V.I.N.)

旧住所または旧所有者

名前

No.

番地

アパート名

区市町村

州/県

ZIP/郵便番号

国

新住所または新所有者

名前

No.

番地

アパート名

区市町村

州/県

ZIP/郵便番号

国

V00A2F

ATV モデル No. _____

車両登録番号 (V.I.N.) _____

エンジン識別番号 (E.I.N.) _____

所有者: _____

氏名

No. _____ 番地 _____ アパート名 _____

区市町村 _____ 州/県 _____ ZIP/郵便番号 _____

購入日 _____

年 月 日

保証有効期限 _____

年 月 日

販売日にディーラーが記入します。

ディーラー押印欄

車両が BRP に登録されていることをディーラーに確認してください。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください



指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

警告

この車両の運転には危険が伴います。適切な注意を怠ると、方向転換や起伏のある場所での運転、または障害物の乗り越えなどのごく普通の運転でも、衝突や急激な横転の原因になることがあります。

次のような取扱い上の注意が守られていないと、重大なケガや死亡事故の原因になることがあります：

- ATVを運転する前にこの『オペレーター・ガイド』とおよび製品の全警告ラベルをよくお読みください。
- 適切な指導を受けずに、このATVを運転しないでください。初心者には、トレーニングコースを最後まで受けてください。
- 2人以上の同乗者を乗せないでください。2人以上の同乗者を乗せると、コントロールを失う危険が高まります。
- 舗道でこのATVを運転しないでください。舗道でこのATVを運転すると、コントロールを失う危険が高まります。
- 一般道路でこのATVを運転しないでください。一般道路でこのATVを運転すると、他の車両と衝突する可能性があります。
- 運転者と同乗者は、必ず認定されたモーターサイクル用ヘルメット、目を保護するゴーグル、保護能力の高い衣服を着用してください。
- ATVを運転する前、または運転中に、アルコールや薬物を服用しないでください。
- このATVを運転するときは、速度を出しすぎないでください。その場の地形、視界、そしてあなたの経験に合わない速すぎる速度でこのATVを運転するならば、コントロールを失う危険が高まります。
- ウィリー、ジャンプなどの曲乗りは絶対に行わないでください。

オペレーターズガイド

OUTLANDER MAX 400

2007